議 会 年 報

令和６年議会活動状況

町 田 市 議 会 事 務 局

目　次

１．議会の構成 …… 5
（１）組織 …… 5
（２）委員の構成 …… 6
イ．常任委員会 …… 6
ロ．議会運営委員会 …… 6
ハ．特別委員会 …… 7
二．法外委員会 …… 7
（３）議員 …… 8
２．議会費 …… 9
３．会議の概要 …… 11
（１）令和６年本会議開催状況 …… 11
（２）審議の結果 …… 12
（３）市長提出議案 …… 13
（４）議員提出議案 …… 19
（５）可決した意見書・決議 …… 21
（６）請願 …… 52
（７）陳情 …… 54
（８）質疑の通告内容 …… 55
（９）一般質問の内容 …… 84
４．委員会の概要 …… 96
（１）各委員会の開催状況 …… 96
５．その他の会議の概要 …… 96
（１）全員協議会・法外委員会の開催状況 …… 96
６．会議の傍聴者 …… 97
（１）令和６年傍聴者数 …… 97
７．視察受入団体一覧 …… 98
８．会期外の主な動き …… 100
９．資料 …… 113
（１）歴代の正・副議長 …… 113
（２）歴代の正・副常任委員長 …… 115

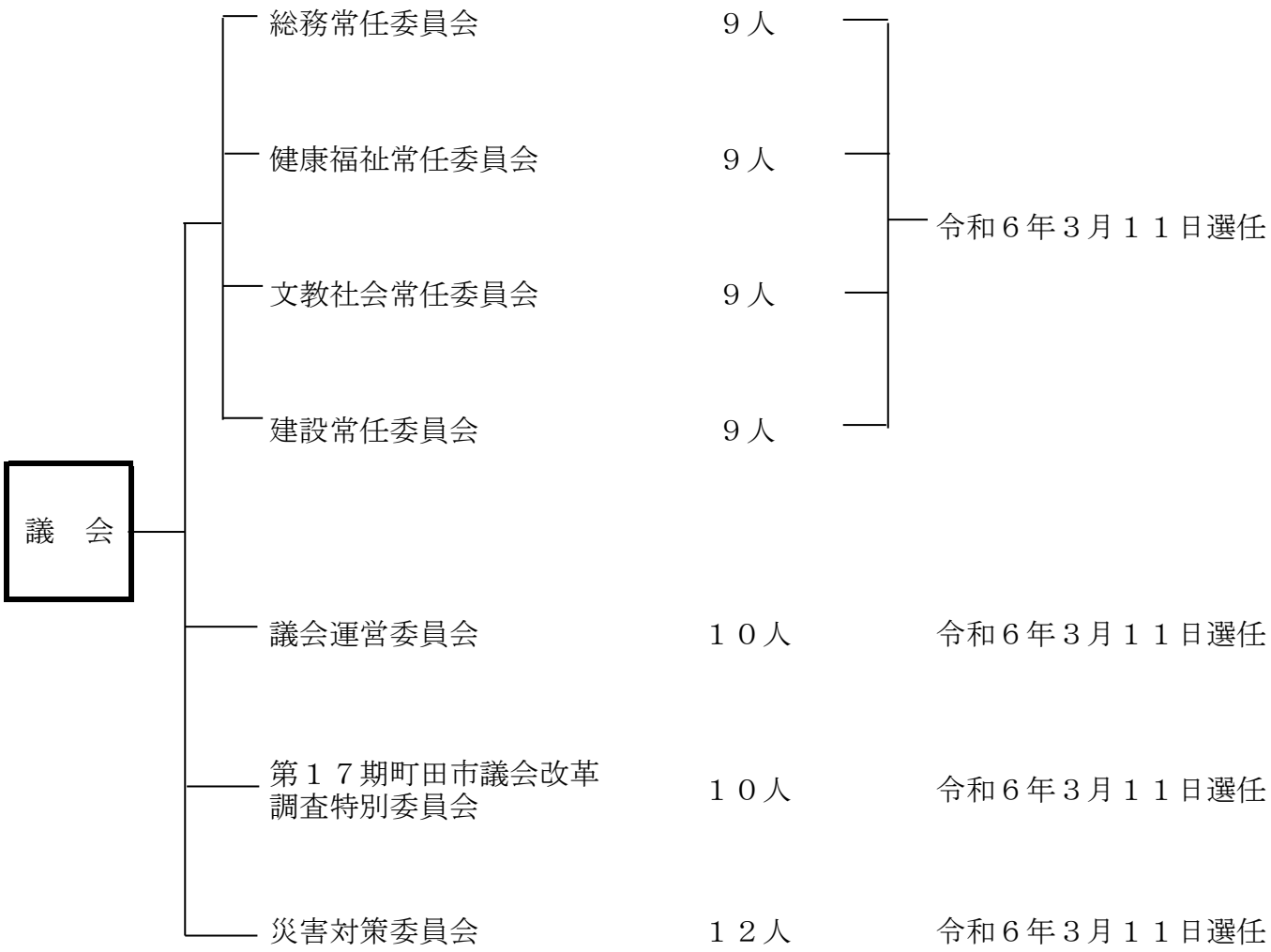
（３）歴代の正・副議会運営委員長 …… 118
（４）歴代の正・副特別委員長 …… 119
（５）歴代の正・副法外委員長 …… 125
（６）議員・市長等の報酬等月額一覧 …… 127
（７）議員の期末手当率一覧 …… 128
（８）議会事務局組織 …… 129

１．議会の構成

（１）　組　織

議　長　木　目　田　英　男
令和６年２月２２日選出

副議長　山　下　て　つ　や
令和６年２月２２日選出



（2）委員の構成

令和６年１２月３１日現在

イ．常任委員会

◎委員長　　○副委員長

区　　分	委　員　構　成	一部委員の辞任及び就任
総務 定数　９人	◎ 村松としたか　○ 中川幸太郎 小野りゅうじ　矢口まゆ 石川好忠　いわせ和子 今村るか　吉田つとむ 山下てつや	
健康福祉 定数　９人	◎ 松岡みゆき　○ 笹倉みどり 木目田英男　佐藤和彦 松葉ひろみ　田中美穂 熊沢あやり　藤田学	渡辺厳太郎　委員辞任（24.5.28）
文教社会 定数　９人	◎ 佐々木智子　○ 渡辺さとし 秋田しづか　小野寺まなぶ 戸塚正人　おく栄一 若林章喜　細野龍子 佐藤伸一郎	
建設 定数　９人	◎ 森本せいや　○ 新井よしなお 加藤真彦　東友美 おんじょう由久　白川哲也 おぜき重太郎　三遊亭らん丈 殿村健一	

ロ．議会運営委員会

◎委員長　　○副委員長

区　　分	委　員　構　成	一部委員の辞任及び就任
議会運営 定数　１０人	◎ 東友美　○ 加藤真彦 村松としたか　白川哲也 笹倉みどり　田中美穂 三遊亭らん丈　戸塚正人 新井よしなお　おく栄一	いわせ和子　委員辞任（24.5.30） 笹倉みどり　委員就任（24.5.31）

ハ．特別委員会

◎委員長　　○副委員長

区　　分	委　員　構　成		一部委員の辞任及び就任
第１７期町田市議会改革調査	◎ 佐藤和彦	○ 小野寺まなぶ	若林章喜　委員辞任（24.5.30）
	小野りゅうじ	加藤真彦	戸塚正人　委員就任（24.5.31）
	石川好忠	松葉ひろみ	
	白川哲也	田中美穂	
定数　１０人	新井よしなお	戸塚正人	

令和４年６月３０日設置

ニ．法外委員会

◎委員長　　○副委員長

区　　分	委　員　構　成		一部委員の辞任及び就任
災害対策	◎ 藤田学	○ 小野寺まなぶ	渡辺厳太郎　委員辞任（24.5.28）
	小野りゅうじ	村松としたか	若林章喜　　委員就任（24.5.29）
	木目田英男	森本せいや	
	松岡みゆき	佐々木智子	
	吉田つとむ	山下てつや	
定数　１２人	若林章喜	細野龍子	

（３）議　員（令和４年２月２０日選挙　定数３６人）

◎委員長　○副委員長　△委員　　令和６年１２月３１日現在

議席番号	氏　名	所属会派	常任委員会				議会運営	特別委員会	災害対策	年齢	議員歴
			総務	健康福祉	文教社会	建設		議会改革調査第17期町田市			
1	秋田　しづか	諸派			△					44	1
2	渡辺　さとし	まちだ市民クラブ			○					45	1
3	小野　りゅうじ	まちだ市民クラブ	△					△	△	47	1
4	笹倉　みどり	まちだ市民クラブ		○			△			51	1
5	小野寺　まなぶ	公明党			△			○	○	54	1
6	村松　としたか	公明党	◎				△		△	46	2
7	木目田　英男	選ばれる町田をつくる会		△					△	50	3
9	中川　幸太郎	諸派	○							33	1
10	矢口　まゆ	諸派	△							35	2
11	加藤　真彦	自由民主党				△	○	△		37	1
12	石川　好忠	自由民主党	△					△		70	3
13	佐藤　和彦	まちだ市民クラブ		△				◎		52	4
14	森本　せいや	まちだ市民クラブ				◎			△	43	4
15	東　友美	まちだ市民クラブ				△	◎			40	2
16	松岡　みゆき	無所属		◎					△	63	4
17	おんじょう　由久	公明党				△				62	2
18	松葉　ひろみ	公明党		△				△		58	3
19	白川　哲也	選ばれる町田をつくる会				△	△	△		43	4
20	いわせ　和子	選ばれる町田をつくる会	△							61	5
21	田中　美穂	日本共産党		△			△	△		42	2
22	佐々木　智子	日本共産党			◎				△	69	6
23	おぜき　重太郎	諸派				△				48	3
24	三遊亭　らん丈	自由民主党				△	△			65	5
25	戸塚　正人	まちだ市民クラブ			△		△	△		44	5
26	今村　るか	まちだ市民クラブ	△							56	5
27	新井　よしなお	無所属				○	△	△		50	6
28	吉田　つとむ	無所属	△						△	76	8
29	山下　てつや	公明党	△						△	59	5
30	おく　栄一	公明党			△		△			70	5
31	若林　章喜	選ばれる町田をつくる会			△				△	50	6
32	熊沢　あやり	諸派		△						53	6
33	細野　龍子	日本共産党			△				△	69	7
34	殿村　健一	日本共産党				△				70	9
35	藤田　学	自由民主党		△					◎	55	6
36	佐藤　伸一郎	自由民主党			△					68	6

２．議会費

令和６年度（２０２４年度）　会計別予算構成表

（単位：千円）

区分			２０２４年度 予算額	２０２４年度 構成比（％）	２０２３年度 予算額	２０２３年度 構成比（％）	比較 増減額	比較 増減率（％）
一般会計			179,282,426	57.3	168,426,481	56.1	10,855,945	6.4
特別会計	国民健康保険事業会計		40,830,084	13.1	42,246,889	14.0	△ 1416805.0	△ 3.4
	介護保険事業会計		39,757,155	12.7	38,756,050	12.9	1,001,105	2.6
	後期高齢者医療事業会計		14,136,848	4.5	13,418,061	4.5	718,787	5.4
	鶴川駅南土地区画整理事業会計		685,447	0.2	434,064	0.1	251,383	57.9
	下水道事業会計		20,494,550	6.5	19,284,474	6.4	1,210,076	6.3
		収益的	12,099,008	3.8	12,084,916	4.0	14,092	0.1
		資本的	8,395,542	2.7	7,199,558	2.4	1,195,984	16.6
	病院事業会計		17,648,667	5.7	17,850,132	6.0	△ 201,465	△ 1.1
		収益的	15,812,233	5.1	16,174,706	5.4	△ 362,473	△ 2.2
		資本的	1,836,434	0.6	1,675,426	0.6	161,008	9.6
	小計		133,552,751	42.7	131,989,670	43.9	1,563,081	1.2
合計			312,835,177	100.0	300,416,151	100.0	12,419,026	4.1

令和６年度（２０２４年度）一般会計歳出予算目的別内訳書

款	2024年度予算額	2023年度予算額	比較	構成比（％）
1. 議会費	651,715	652,524	△809	0.3
2. 総務費	19,505,002	17,871,095	1,633,907	10.8
3. 民生費	92,880,475	89,047,736	3,832,739	51.8
4. 衛生費	15,260,300	15,566,474	△306,174	8.5
5. 労働費	45,156	37,810	7346	0.0
6. 農林費	296,287	348,473	△52,186	0.2
7. 商工費	1,185,775	1,179,730	6045	0.7
8. 土木費	17,425,845	15,722,196	1,703,649	9.7
9. 消防費	4,974,463	4,909,618	64,845	2.8
10. 教育費	18,746,597	15,223,936	3,522,661	10.5
11. 災害復旧費	6	6	0	0.0
12. 公債費	8,210,805	7,766,883	443,922	4.6
13. 予備費	100,000	100,000	0	0.1
歳出合計	179,282,426	168,426,481	10,855,945	100.0

３．会議の概要

（１）令和６年本会議開催状況

区　　分			第１回 定例会	第２回 定例会	第３回 定例会	第4回 定例会	計
開会月日			2月22日	6月4日	8月27日	11月28日	
閉会月日			3月27日	6月28日	9月30日	12月23日	
会期			35日	25日	35日	26日	121日
会議日数			10日	8日	8日	8日	34日
議案	予　算		14	1	8	4	27
	条例	市　長	24	10	7	10	51
		委員会	0	0	0	0	0
		議　員	0	0	0	3	3
	議決案		11	0	20	13	44
	承　認		4	5	1	1	11
	認　定		0	0	3	0	3
	同　意		5	0	0	1	6
	諮　問		0	0	0	0	0
	会議規則		0	0	0	0	0
	意見書	委員会	0	0	0	0	0
		議　員	8	13	5	6	32
	決議	委員会	0	0	0	0	0
		議　員	2	0	0	0	2
請　　願			8	5	5	6	24
陳　　情			3	1	1	2	7

（２）審議の結果

議決の内容		第１回定例会	第２回定例会	第３回定例会	第４回定例会	計
市長提出	可　　決	58	16	39	29	142
	修正可決	0	0	0	0	0
	否　　決	0	0	0	0	0
	撤　　回	0	0	0	0	0
	継続審査	0	0	0	0	0
	異議のない旨答申	0	0	0	0	0
議員提出	可　　決	6	10	3	3	22
	修正可決	0	0	0	0	0
	否　　決	4	3	2	6	15
	撤　　回	0	0	0	0	0
	継続審査	0	0	0	0	0
委員会提出	可　　決	0	0	0	0	0
	修正可決	0	0	0	0	0
	否　　決	0	0	0	0	0
	撤　　回	0	0	0	0	0
	継続審査	0	0	0	0	0
請願	採　　択	2	2	1	1	6
	一部採択	0	0	0	0	0
	不 採 択	5	3	3	3	14
	継続審査	1	0	1	2	4
	取り下げ	0	0	0	0	0
陳情	採　　択	0	0	0	0	0
	一部採択	0	0	0	0	0
	不 採 択	0	0	0	0	0
	継続審査	0	0	0	0	0
	取り下げ	0	0	0	0	0
	参考送付	3	1	1	2	7

（３）　市長提出議案

議案番号	件　　名	付託月日	付託委員会	議決月日	結　果
1	令和５年度（２０２３年度）町田市一般会計補正予算（第１０号）	省略	省略	2月22日	原案可決
2	令和５年度（２０２３年度）町田市国民健康保険事業会計補正予算（第３号）	省略	省略	2月22日	原案可決
3	令和５年度（２０２３年度）町田市介護保険事業会計補正予算（第３号）	省略	省略	2月22日	原案可決
4	令和５年度（２０２３年度）町田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第３号）	省略	省略	2月22日	原案可決
5	令和５年度（２０２３年度）町田市鶴川駅南土地区画整理事業会計補正予算（第２号）	省略	省略	2月22日	原案可決
6	令和５年度（２０２３年度）町田市下水道事業会計補正予算（第２号）	省略	省略	2月22日	原案可決
7	令和５年度（２０２３年度）町田市病院事業会計補正予算（第１号）	省略	省略	2月22日	原案可決
8	令和６年度（２０２４年度）町田市一般会計予算	3月15日	総務 健康福祉 文教社会 建設	3月27日	原案可決
	令和６年度（２０２４年度）町田市一般会計予算に対する修正案	省略	省略	3月27日	否決
9	令和６年度（２０２４年度）町田市国民健康保険事業会計予算	3月12日	健康福祉	3月27日	原案可決
10	令和６年度（２０２４年度）町田市介護保険事業会計予算	3月13日	健康福祉	3月27日	原案可決
11	令和６年度（２０２４年度）町田市後期高齢者医療事業会計予算	3月14日	健康福祉	3月27日	原案可決
12	令和６年度（２０２４年度）町田市鶴川駅南土地区画整理事業会計予算	3月15日	建設	3月27日	原案可決
13	令和６年度（２０２４年度）町田市下水道事業会計予算	3月15日	建設	3月27日	原案可決
14	令和６年度（２０２４年度）町田市病院事業会計予算	3月12日	健康福祉	3月27日	原案可決
15	町田市非常勤職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び町田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	3月12日	総務	3月27日	原案可決
16	町田市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例	3月12日	総務	3月27日	原案可決
17	町田市個人番号及び特定個人情報の利用等に関する条例の一部を改正する条例	3月12日	総務	3月27日	原案可決
18	町田市手数料条例の一部を改正する条例	省略	省略	2月22日	原案可決
19	町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例	3月12日	健康福祉	3月27日	原案可決
20	町田市国民健康保険条例の一部を改正する条例	3月12日	健康福祉	3月27日	原案可決
21	町田市介護保険条例の一部を改正する条例	3月12日	健康福祉	3月27日	原案可決
22	町田市介護保険給付費準備基金条例の一部を改正する条例	3月12日	健康福祉	3月27日	原案可決
23	町田市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例	3月12日	健康福祉	3月27日	原案可決
24	町田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例	3月12日	健康福祉	3月27日	原案可決

議案番号	件　　名	付託月日	付託委員会	議決月日	結　果
25	町田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例	3月12日	健康福祉	3月27日	原案可決
26	町田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例	3月12日	健康福祉	3月27日	原案可決
27	町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	3月15日	文教社会	3月27日	原案可決
28	町田市屋外広告物条例	3月14日	建設	3月27日	原案可決
29	町田市景観条例の一部を改正する条例	3月14日	建設	3月27日	原案可決
30	町田市街づくり景観審議会条例	3月14日	建設	3月27日	原案可決
31	町田市住みよい街づくり条例の一部を改正する条例	3月14日	建設	3月27日	原案可決
32	町田市立公園条例の一部を改正する条例	3月14日	建設	3月27日	原案可決
33	町田市緑地保全基金条例の一部を改正する条例	3月14日	建設	3月27日	原案可決
34	町田市立学校設置条例の一部を改正する条例	3月14日	文教社会	3月27日	原案可決
35	町田市学童保育クラブ設置条例の一部を改正する条例	3月15日	文教社会	3月27日	原案可決
36	町田市立小学校等の学校給食費に関する条例の一部を改正する条例	3月14日	文教社会	3月27日	原案可決
37	町田市生涯学習審議会条例の一部を改正する条例	3月15日	文教社会	3月27日	原案可決
38	東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約	省略	省略	2月28日	原案可決
39	忠生７３２号線（尾根緑道）道路改良工事（その４）請負契約	3月14日	建設	3月27日	原案可決
40	鶴川駅北口広場デッキ整備工事請負契約	3月14日	建設	3月27日	原案可決
41	町田都市計画事業鶴川駅南土地区画整理事業に関する業務委託変更契約	3月14日	建設	3月27日	原案可決
42	市道路線の認定について	3月14日	建設	3月27日	原案可決
43	市道路線の廃止について	3月14日	建設	3月27日	原案可決
44	町田市と川崎市が重複して路線を認定する道路の管理の協議について	3月14日	建設	3月27日	原案可決
45	包括外部監査契約の締結について	3月12日	総務	3月27日	原案可決
46	権利の放棄について	省略	省略	2月22日	原案可決
47	町田市表彰条例に基づく一般表彰の同意方について	3月12日	総務	3月27日	原案可決
48	町田市市税条例の一部を改正する条例	3月12日	総務	3月27日	原案可決
49	小山田蓮田緑地整備工事請負契約の変更契約	3月14日	建設	3月27日	原案可決
50	町田市副市長の選任につき同意方について	省略	省略	3月27日	原案可決
51	町田市監査委員の選任につき同意方について	省略	省略	3月27日	原案可決

議案番号	件　　名	付託月日	付託委員会	議決月日	結　果
52	町田市教育委員会教育長の任命につき同意方について	省略	省略	3月27日	原案可決
53	町田市教育委員会委員の任命につき同意方について	省略	省略	3月27日	原案可決
54	人権擁護委員候補者の推薦につき同意方について	省略	省略	3月27日	原案可決
55	令和６年度（２０２４年度）町田市一般会計補正予算（第１号）	6月19日	総務 健康福祉 文教社会 建設	6月28日	原案可決
56	町田市手数料条例の一部を改正する条例	6月19日	総務	6月28日	原案可決
57	町田市市税条例の一部を改正する条例	6月19日	総務	6月28日	原案可決
58	町田市地域包括支援センターの人員及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	6月19日	健康福祉	6月28日	原案可決
59	町田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例	6月19日	健康福祉	6月28日	原案可決
60	町田市立保育園設置条例の一部を改正する条例	6月18日	文教社会	6月28日	原案可決
61	町田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	6月18日	文教社会	6月28日	原案可決
62	町田市住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例	6月18日	建設	6月28日	原案可決
63	町田市宅地開発事業に関する条例の一部を改正する条例	6月18日	建設	6月28日	原案可決
64	町田市地区計画の区域内における建築物の制限等に関する条例の一部を改正する条例	6月18日	建設	6月28日	原案可決
65	町田市民病院使用条例の一部を改正する条例	6月19日	健康福祉	6月28日	原案可決
66	令和６年度（２０２４年度）町田市一般会計補正予算（第２号）	8月27日	文教社会	8月27日	原案可決
67	令和６年度（２０２４年度）町田市一般会計補正予算（第３号）	9月12日	総務 健康福祉 文教社会 建設	9月30日	原案可決
68	令和６年度（２０２４年度）町田市国民健康保険事業会計補正予算（第１号）	9月10日	健康福祉	9月30日	原案可決
69	令和６年度（２０２４年度）町田市介護保険事業会計補正予算（第１号）	9月10日	健康福祉	9月30日	原案可決
70	令和６年度（２０２４年度）町田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第１号）	9月10日	健康福祉	9月30日	原案可決
71	令和６年度（２０２４年度）町田市鶴川駅南土地区画整理事業会計補正予算（第１号）	9月11日	建設	9月30日	原案可決
72	令和６年度（２０２４年度）町田市下水道事業会計補正予算（第１号）	9月11日	建設	9月30日	原案可決
73	令和６年度（２０２４年度）町田市病院事業会計補正予算（第１号）	9月9日	健康福祉	9月30日	原案可決
74	町田市個人番号及び特定個人情報の利用等に関する条例の一部を改正する条例	9月10日	総務	9月30日	原案可決
75	町田市高校生等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	9月11日	文教社会	9月30日	原案可決
76	町田市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例	9月11日	建設	9月30日	原案可決

議案番号	件　　名	付託月日	付託委員会	議決月日	結　果
77	町田市下水道条例の一部を改正する条例	9月11日	建設	9月30日	原案可決
78	町田市中学校給食センター条例	9月11日	文教社会	9月30日	原案可決
79	町田市立図書館条例の一部を改正する条例	9月12日	文教社会	9月30日	原案可決
80	相模原市と町田市との間における証明書の交付等の事務委託の廃止に関する協議について	9月12日	文教社会	9月30日	原案可決
81	消防ポンプ自動車購入	省略	省略	8月27日	原案可決
82	児童生徒用タブレット端末購入	省略	省略	8月27日	原案可決
83	学校用ノート型パソコン購入	省略	省略	8月27日	原案可決
84	鶴川中学校中規模改修機械設備工事　Ｉ期請負契約	9月11日	文教社会	9月30日	原案可決
85	生涯学習センター機械設備改修工事請負契約	9月9日	総務	9月30日	原案可決
86	町田第一中学校体育館・プール棟給排水衛生設備改修工事請負契約	9月11日	文教社会	9月30日	原案可決
87	土地の買入れについて	省略	省略	8月27日	原案可決
88	市道路線の認定について	9月12日	建設	9月30日	原案可決
89	市道路線の廃止について	9月12日	建設	9月30日	原案可決
90	町田市美術工芸館の指定管理者の指定について	9月9日	健康福祉	9月30日	原案可決
91	三輪子どもクラブの指定管理者の指定について	9月11日	文教社会	9月30日	原案可決
92	木曽学童保育クラブ外１１施設の指定管理者の指定について	9月11日	文教社会	9月30日	原案可決
93	大戸のびっ子学童保育クラブの指定管理者の指定について	9月11日	文教社会	9月30日	原案可決
94	小山中央学童保育クラブの指定管理者の指定について	9月11日	文教社会	9月30日	原案可決
95	南つくし野学童保育クラブの指定管理者の指定について	9月11日	文教社会	9月30日	原案可決
96	山崎学童保育クラブの指定管理者の指定について	9月11日	文教社会	9月30日	原案可決
97	町田市国民健康保険条例の一部を改正する条例	9月10日	健康福祉	9月30日	原案可決
98	堺市民センター改修工事請負契約	9月9日	総務	9月30日	原案可決
99	（仮称）町田市中学校給食センター整備・運営事業契約の変更契約	9月11日	文教社会	9月30日	原案可決
100	本町田地区・南成瀬地区小学校整備等ＰＦＩ事業契約	9月30日	文教社会	9月30日	原案可決
101	令和６年度（２０２４年度）町田市一般会計補正予算（第４号）	12月13日	総務 健康福祉 文教社会 建設	12月23日	原案可決
102	令和６年度（２０２４年度）町田市国民健康保険事業会計補正予算（第２号）	12月12日	健康福祉	12月23日	原案可決
103	令和６年度（２０２４年度）町田市介護保険事業会計補正予算（第２号）	12月12日	健康福祉	12月23日	原案可決

議案番号	件　　名	付託月日	付託委員会	議決月日	結　果
104	令和６年度（２０２４年度）町田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第２号）	12月12日	健康福祉	12月23日	原案可決
105	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	12月12日	総務	12月23日	原案可決
106	町田市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例	12月12日	総務	12月23日	原案可決
107	公益的法人等への町田市職員の派遣に関する条例の一部を改正する条例	12月12日	総務	12月23日	原案可決
108	町田市印鑑条例の一部を改正する条例	12月13日	文教社会	12月23日	原案可決
109	町田市体育施設条例の一部を改正する条例	12月11日	文教社会	12月23日	原案可決
110	町田市生活資金貸付条例を廃止する条例	12月12日	健康福祉	12月23日	原案可決
111	町田市立公園条例等の一部を改正する条例	12月11日	建設	12月23日	原案可決
112	学校用大型提示装置（電子黒板）購入	省略	省略	11月28日	原案可決
113	町田市一般廃棄物指定収集袋購入（単価契約）	省略	省略	11月28日	原案可決
114	（仮称）町田市立国際工芸美術館整備工事請負契約	12月11日	文教社会	12月23日	原案可決
115	（仮称）町田市立国際工芸美術館整備空気調和設備工事請負契約	12月11日	文教社会	12月23日	原案可決
116	（仮称）町田市立国際工芸美術館整備電気設備工事請負契約	12月11日	文教社会	12月23日	原案可決
117	忠生７３２号線（尾根緑道）道路改良工事（その４）請負契約の変更契約	12月11日	建設	12月23日	原案可決
118	鶴川駅北口広場デッキ整備工事請負契約の変更契約	12月11日	建設	12月23日	原案可決
119	小山田子どもクラブの指定管理者の指定について	12月13日	文教社会	12月23日	原案可決
120	玉川学園子どもクラブころころ児童館及びころころ学童保育クラブの指定管理者の指定について	12月13日	文教社会	12月23日	原案可決
121	鶴川第二学童保育クラブの指定管理者の指定について	12月13日	文教社会	12月23日	原案可決
122	町田市小野路宿里山交流館の指定管理者の指定について	12月12日	総務	12月23日	原案可決
123	薬師池西公園、薬師池公園駐車場の指定管理者の指定について	12月11日	建設	12月23日	原案可決
124	町田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	12月12日	総務	12月23日	原案可決
125	町田市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	12月12日	総務	12月23日	原案可決
126	町田市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	12月12日	総務	12月23日	原案可決
127	成瀬子どもクラブ新築工事請負契約	12月23日	文教社会	12月23日	原案可決
128	人権擁護委員候補者の推薦につき同意方について	省略	省略	12月23日	同意

報告１	令和５年度（２０２３年度）町田市下水道事業会計補正予算の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	2月22日	承認
報告２	野津田暖沢前ふるさとの森における物損事故に係る損害賠償額の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	2月22日	承認

議案番号	件　　名	付託月日	付託委員会	議決月日	結　果
報告３	薬師池北ふるさとの森における物損事故に係る損害賠償額の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	2月22日	承認
報告４	成瀬うさぎ谷戸公園における物損事故に係る損害賠償額の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	2月22日	承認
報告５	令和５年度（２０２３年度）町田市一般会計補正予算（専決第２号）の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	6月4日	承認
報告６	町田市市税条例の一部を改正する条例に関する専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	6月4日	承認
報告７	町田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	6月4日	承認
報告８	ごみ収集車両による物損事故に係る損害賠償額の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	6月4日	承認
報告９	道路維持作業における事故に係る損害賠償額の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	6月5日	承認
報告１０	令和６年度（２０２４年度）町田市一般会計補正予算（専決第１号）の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	8月27日	承認
報告１１	令和６年度（２０２４年度）町田市一般会計補正予算（専決第２号）の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	11月28日	承認

認定１	令和５年度（２０２３年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について	9月12日	総務 健康福祉 文教社会 建設	9月30日	認定
認定２	令和５年度（２０２３年度）町田市下水道事業会計決算認定について	9月11日	建設	9月30日	認定
認定３	令和５年度（２０２３年度）町田市病院事業会計決算認定について	9月9日	健康福祉	9月30日	認定

（４）議員提出議案

議案番号	件　　名	議決月日	結　果
1	地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー（循環経済）の一層の推進を求める意見書	3月27日	原案可決
2	若者のオーバードーズ（薬物の過剰摂取）防止対策の強化を求める意見書	3月27日	原案可決
3	学校給食費の無償化に全額補助を求める意見書	3月27日	原案可決
4	食料自給率向上を政府に求める意見書	3月27日	否決
5	自民党派閥による政治資金パーティーをめぐる裏金問題の真相解明を求める意見書	3月27日	原案可決
6	訪問介護の基本報酬の引き下げ中止を求める意見書	3月27日	否決
7	離婚後共同親権の導入に関し慎重な議論を求める意見書	3月27日	否決
8	再審法の改正の促進を国に求める意見書	3月27日	原案可決
9	「町田市新たな学校づくり基本計画」における通学環境改善のためのスクールバス導入を求める決議	3月27日	原案可決
10	第８号議案に対する附帯決議	3月27日	否決
11	日本版DBS法の着実な実施とさらなる充実を求める意見書	6月28日	原案可決
12	香害による健康被害の解決等を求める意見書	6月28日	原案可決
13	災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書	6月28日	原案可決
14	聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書	6月28日	原案可決
15	下水道の維持管理・更新におけるウォーターPPP導入に向けての丁寧な対応を求める意見書	6月28日	原案可決
16	地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求める意見書	6月28日	原案可決
17	生活保護の夏季加算の制度化を早急に求める意見書	6月28日	否決
18	水俣病問題の解決を求める意見書	6月28日	原案可決
19	婚姻の平等の早期実現を求める意見書	6月28日	原案可決
20	令和６年度障害福祉サービス等報酬改定の見直し等を求める意見書	6月28日	否決
21	訪問介護の基本報酬引き下げの撤回等を求める意見書	6月28日	否決
22	選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書	6月28日	原案可決
23	選挙の適正な実施に資するための公職選挙法改正を求める意見書	6月28日	原案可決
24	在日米軍人・軍属による性的暴行事件の再発防止、及び関係自治体への迅速な情報の周知徹底を求める意見書	9月30日	原案可決

議案番号	件　　名	議決月日	結 果
25	公立小中学校で使用されるタブレット端末の整備・更新における市区町村の財政的・事務的負担の軽減を求める意見書	9月30日	否決
26	「校内別室指導支援員配置事業」の補助金の継続・拡充を求める意見書	9月30日	原案可決
27	米不足と価格高騰への緊急対策を求める意見書	9月30日	否決
28	（欠番）	―	―
29	自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書	9月30日	原案可決
30	町田市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	12月23日	原案可決
31	町田市市税条例の一部を改正する条例（都市計画税率を、令和７年度から令和９年度まで０．２４％に軽減）	12月23日	否決
32	町田市市税条例の一部を改正する条例（都市計画税率を、令和７年度及び令和８年度は０．２７％に軽減）	12月23日	原案可決
33	リニア中央新幹線トンネル工事現場付近での湧水、気泡発生の原因究明の徹底を求める意見書	12月23日	否決
34	水道におけるPFOS及びPFOAの暫定目標値を早期に国の責任において一層安全な値へと改めることなどを求める意見書	12月23日	否決
35	性教育の充実を求める意見書	12月23日	否決
36	大学学費の値上げ回避のための緊急助成を求める意見書	12月23日	否決
37	企業・団体献金の禁止を求める意見書	12月23日	否決
38	国に対し、町田市内の湧水と気泡の発生について速やかな原因究明と住民への説明会実施を、JR東海に指導することを求める意見書	12月23日	原案可決

（５）可決した意見書・決議

●議員提出議案

地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー（循環経済）の一層の推進を求める意見書

循環型社会形成推進基本法は、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減する「循環型社会」の形成に関する施策を総合的かつ計画的に進めるために、２０００年に制定された。我が国では本法律に基づいて、循環型社会の形成に関する施策の推進に２０年以上取り組んできた。

我が国が循環型社会の形成を通じて目指すべき社会は、「環境への負荷の少ない健全な経済の発展を図りながら、持続的に発展することができる社会」であり、地域におけるサーキュラーエコノミーの推進は、循環型社会を形成する上で重要なツールであるとともに、地方創生・地域活性化の実現に大きく貢献し得るものである。

実際に、地域でのサーキュラーエコノミーの実現を目指し、先進的な取組を進める自治体が現れ始めており、地域特性や産業を活かした脱炭素ビジネスの推進、地域由来の資源を活用してのエネルギーの自給率向上や、地域住民の理解醸成を通じた効果的な資源循環ビジネスの構築など、自治体主導によるサーキュラーエコノミーの推進により、地域に新たな付加価値や雇用が創出されている。

このように、地域のサーキュラーエコノミーを推進することは、地域課題解決とともに、地域に新たなビジネスや価値を生み出すことによる地方創生の実現に資するものである。以上の観点から政府に対して、地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー（循環経済）の一層の推進のために、下記の事項についての特段の取組を求める。

記

１　地域経済の活性化を図るため、プラスチック、金属資源、生ごみ、家畜ふん尿、下水汚泥、紙おむつ等の、地域の循環資源や木質バイオマス等の再生可能資源の活用など、地方自治体と民間企業の連携による資源循環ビジネスの創出への支援を強化すること。

１　地域における廃棄物処理の広域化、廃棄物処理施設の集約化、エネルギー回収の高度化等を推進するとともに、自治体と住民、民間企業等の協働により、地域に適したごみ処理方式や分別区分の選定等による、脱炭素かつ持続可能な適正処理に資する資源循環の体制強化に対する支援を拡充すること。

１　製品の長期メンテナンスやリユース製品の積極的な利用といったライフスタイルに係る地域住民・消費者の意識変革や行動変容を促す、携帯アプリ等を活用した新たなサービスの創出等、自治体と民間団体の連携によるリユース製品の循環環境の整備を支援すること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）３月２７日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

衆議院議長　額　賀　福志郎　様
参議院議長　尾　辻　秀　久　様
内閣総理大臣　岸　田　文　雄　様
経済産業大臣　齋　藤　　健　様
環　境　大　臣　伊　藤　信太郎　様
総　務　大　臣　松　本　剛　明　様

若者のオーバードーズ（薬物の過剰摂取）防止対策の強化を求める意見書

近年、処方箋がなくても薬局やドラッグストアで購入できる市販薬の濫用・依存や急性中毒が、重大な社会問題となりつつある。実際、市販薬のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)による救急搬送が、２０１８年から２０２０年にかけて２．３倍に増加したという報告や、精神科医療施設を受診する患者において、市販薬を主たる薬物とする薬物依存患者が、２０１２年から２０２０年にかけて約６倍に増加したといった報告がある。

国立精神・神経医療研究センターの２０２０年調査によると、全国の精神科医療施設で薬物依存症の治療を受けた１０代の患者の主な薬物において、市販薬が全体の５６．４％を占めているとのことである。また、２０２１年調査では、過去１年以内に市販薬の濫用経験がある高校生の割合は「６０人に１人」と深刻な状況にあることも明らかになった。

不安や葛藤、憂鬱な気分を和らげたいなど、現実逃避や精神的苦痛の緩和のために、若者がオーバードーズに陥るケースが多く、実際、市販薬を過剰に摂取することで、疲労感や不快感が一時的に解消される場合があり、同じ効果を期待してより過剰な摂取を繰り返すことで、肝機能障害、重篤な意識障害や呼吸不全などを引き起こしたり、心肺停止で死亡する事例も発生している。

市販薬は違法薬物とは違い、所持することで罪にはならないことから、濫用が発見されにくいという現実があると同時に、オーバードーズによる健康被害は、違法薬物よりも深刻になる場合もある。よって政府において、このような薬物依存による健康被害から一人でも多くの若者を守るために、下記の特段の取組を求める。

記

１、現在、濫用等の恐れがある医薬品の６成分を含む市販薬を販売する際、購入者が子ども（高校生・中学生等）である場合は、その氏名や年齢、使用状況等を確認することになっているが、その際、副作用などの説明を必須とすること。

１、若者への薬剤の販売において、その含有成分に応じて販売する容量を適切に制限すると同時に、対面かオンライン通話での販売を義務づけ、副作用などの説明と合わせて、必要に応じて適切な相談窓口等を紹介できる体制を整えること。

１、濫用の恐れがある薬の指定を的確に進めると同時に、身分証による本人確認のほか、繰り返しの購入による過剰摂取を防止するために、販売記録等が確認できる環境の整備を検討すること。

１、若者のオーバードーズには、社会的孤立や生きづらさが背景にあるため、オーバードーズを孤独・孤立の問題として位置づけ、若者の居場所づくり等の施策を推進すること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）３月２７日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

衆議院議長　額　賀　福志郎　様
参議院議長　尾　辻　秀　久　様
内閣総理大臣　岸　田　文　雄　様
厚生労働大臣　武　見　敬　三　様
総　務　大　臣　松　本　剛　明　様

学校給食費の無償化に全額補助を求める意見書

東京都は２０２４年度から学校給食費の負担軽減事業を実施しようとしている。これを受けて本市でも２０２４年度予算に、公立小中学校の学校給食費について第２子以降の無償化、物価高騰分の保護者負担軽減に関する予算が計上されている。東京都ではこの間、２３区での完全無償化が進む中、多摩２６市では財政面から無償化を見送らざるを得ない自治体が多数残されていた。

東京都市長会は２０２３年７月３１日、来年度予算編成に対する最重点要望に学校給食費無償化へ向けた補助制度の創設を盛り込み、「自治体の財政的な事情等により、対応にばらつきがある。児童・生徒及び保護者が居住する自治体によって大きな教育格差を感じることがないよう、給食費の全額補助を、市町村の財源負担なく実施するように国に働きかけるとともに、この実現までの間は、都において財政支援策を講じられたい」と求めた。その後、都知事が２分の１の補助を行う負担軽減事業を表明した後も２０２３年１２月２５日に「学校給食費負担軽減に関する緊急要望について」を提出し、負担軽減事業を評価する一方、多摩２６市全てが学校給食費の負担軽減に取り組むことができる制度設計を行うよう要望している。

学校給食費に係る財政的な負担は、本市の他の施策に影響を及ぼしかねない厳しい状況にあり、事業継続には市の財政負担なく無償化を行える制度設計がどうしても必要である。

よって、町田市議会は、東京都に対して以下の内容を要望する。

１　国に対して学校給食費の全面補助を市の財源負担なく実施するよう働きかけること。

２　国が全額公費負担を実施するまでの間、多摩２６市全てが学校給食費の無償化に取り組める制度設計を行うこと。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）３月２７日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

東京都知事　小　池　百合子　様

総　務　大　臣　松　本　剛　明　様

自民党派閥による政治資金パーティーをめぐる
裏金問題の真相解明を求める意見書

２月２９日に行われた衆議院の政治倫理審査会には、岸田文雄首相と二階派の武田良太氏が出席した。翌日は、安倍派（清和政策研究会）事務総長を務めた西村康稔前経済産業相や松野博一前官房長官ら５人が出席し、自民党派閥による政治資金パーティーをめぐる裏金問題についての質疑が行われた。ところが、岸田首相の答弁は、２月１５日に行われた本件に関する自民党議員への「聴き取り調査」の報告書の内容をなぞったもので、自らが率先して真相解明に取り組む姿勢は見られなかった。また、その他の国会議員の答弁においても、会計に対する自らの関与を否定するなど真相解明に背を向けた。

そして、参議院の予算委員会では、さらに解明が必要ないくつかの問題点が明らかになった。一つに、２月１３日の自民党全議員対象の「アンケート調査結果」は「裏金」について、「一部の派閥が還付金を収支報告書に記載しないよう所属議員等事務所に指導していた」と述べている。これは、政治資金規正法についての総務省の答弁に照らしても、派閥が記載しないよう指導したことは政治資金規正法違反の行為を指導したことが疑われる問題である。

また、自民党議員への「聴き取り調査」の報告書では、還付金（裏金）を議員本人が管理していたのは１２人としている。国税庁の答弁に照らすと、所得隠しによる悪質な所得税法違反が疑われる。

さらに、「アンケート調査結果」では、「裏金」が参院選挙の年だけ増大している議員が多数いることである。総務省の答弁に照らすと、「裏金」が選挙運動に使われていれば、公職選挙法違反の疑いが生じることになる。

以上のように、自民党の組織的違法行為が疑われる問題を指摘した質疑に対して、岸田首相は、組織的違法行為であるとの認識を示さないなど「裏金問題」に対する反省の姿勢はなく、真相はなお解明されていない。引き続き、公開での政治倫理審査会の開催や予算委員会での徹底審議、証人喚問の実施が不可欠である。

よって町田市議会は、自民党派閥による政治資金パーティーをめぐる裏金問題の真相解明を強く求める。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）３月２７日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

衆議院議長　額　賀　福志郎　様
参議院議長　尾　辻　秀　久　様
内閣総理大臣　岸　田　文　雄　様
財　務　大　臣　鈴　木　俊　一　様
法　務　大　臣　小　泉　龍　司　様
総　務　大　臣　松　本　剛　明　様

再審法の改正の促進を国に求める意見書

２０２３年１０月２７日、静岡地方裁判所で確定死刑囚袴田巖さん（８８歳）の再審裁判が始まったことが大きく報道され、市民の注目を受けている。

袴田さんは１９６６年に強盗殺人・放火事件の犯人として逮捕・起訴され、当初は無実を訴えたが、逮捕から１９日後の取り調べでいったん自白し、裁判では再び無実を主張して争うも死刑判決が確定。２０１４年、静岡地方裁判所が捜査機関の「証拠ねつ造」を指摘し、再審開始決定を出したが、検察の不服申し立てにより、９年もの歳月が流れた後にようやく罪を晴らす裁判にたどりつくことができた。

袴田さんは、４７年間の拘禁生活で精神を病み、意思疎通が難しい状態になっている。

えん罪は国家による最大の人権侵害である。罪を犯していない人を有罪としてしまった間違った裁判はやり直し、何としても正さなければならない。

現在の再審法の規定は大正時代に作られたもので、戦後、日本国憲法第３９条を受けて不利益再審の規定を削除した以外、改正されていない。

袴田事件をはじめとする、えん罪事件の犠牲となったえん罪被害者を早期に救済するためにも、時代に遅れた再審法の改正を求める声が強まっている。袴田事件の再審開始決定が出た時にマスコミ各社は、再審制度の不備を指摘した。地方議会でも、再審制度の見直しを求める意見書が２０９自治体（２０２４年１月末時点、市民団体集計）で採択されている。町田市議会においても、以下のような改正の骨子を示した「再審法改正を求める意見提出を求める請願」が提出され、町田市議会は採択した。

１　検察官は無実を立証するために有効な証拠もすべて開示することが義務化されるべきである。

２　これまで再審手続きが極めて長期化しているのは、再審決定に対し検察官が不服申し立てができるからである。再審開始決定に対する検察官の不服申し立てを禁止し、直ちにやり直しの裁判を行い、裁判で検察官が有罪の主張・立証を行うようにすることが必要である。

３　現行の再審法の規定はあまりに古いままで、再審申し立てに関与した裁判官も法改正して手続きを整備すべきだとの意見を述べている。

よって、町田市議会は、再審法の改正の促進を国に求める。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）３月２７日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

衆議院議長　額賀福志郎　様
参議院議長　尾辻秀久　様
内閣総理大臣　岸田文雄　様
法務大臣　小泉龍司　様
総務大臣　松本剛明　様

「町田市新たな学校づくり基本計画」における通学環境改善のための スクールバス導入を求める決議

町田市では、将来的な財政状況や今後の公共施設の維持管理費を鑑み、「町田市公共施設等総合管理計画」を策定した。特に施設の老朽化が懸念されている小学校・中学校の再編においては、「町田市新たな学校づくり基本計画」を策定し、現在、地域に説明会等を開催しながら進めている。この計画では、築年数が 40 年を超える学校施設を中心に小学校 42 校から 26 校、中学校を 20 校から 15 校へと再編するとしている。

学校施設を再編することは、少子化や財政的な面で理解はするものの、児童・生徒・保護者にとっては重要な問題であり、市民に寄り添い慎重に進めるべき課題であると考える。こうした状況において、町田市が行ったアンケート調査では、「通学環境についての不安」が大多数を占めており、町田市議会は「町田市新たな学校づくり基本計画」において、児童・生徒・保護者に寄り添い、以下について求める。

1　児童・生徒・保護者から不安視されている通学環境の改善のため、スクールバスを導入すること。

以上、決議する。

日本版DBS法の着実な実施とさらなる充実を求める意見書

「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」日本版 DBS 法が２０２４年５月２３日衆議院本会議で可決、参議院に送付され、６月１９日参議院本会議にて可決・成立した。

本制度は学校や保育所などが、親などの目が届かない状況で児童らを預かる子どもと接する仕事に就労を希望する者の前科確認を学校設置者などに義務付けるものである。

学校設置者や保育所事業者は「特定性犯罪」の確認が義務付けられる一方、学習塾、スポーツクラブ、放課後児童クラブなどは認定制とされており、義務化施設の適用拡大を求める声もある。

日本版DBS法が参考にしたとされる、イギリスのDBS制度（Disclosure and Barring Service）は、DBSという公的機関が性犯罪歴を管理し、事業者からの照会を受けて、DBSが就業希望者に「無犯罪証明書」を送付し、就業希望者がこれを事業者に提出する仕組みである。

一方、日本版DBS法では、学校設置者等に前科確認義務を課し、その前科を照会させ、その通知を対象事業者に交付し、前科がある場合には、あらかじめ就業希望者本人に通知する。前歴の通知を受けた事業者等には守秘義務が課されるが、イギリスの制度と比較しても、情報漏えいのリスクとともに、事業者による手続き作業・金銭的負担も懸念されている。

よって、町田市議会は、政府に対して以下の実現を求める。

１　まずは義務を課されている学校設置者などにおいて着実な実施を求めるとともに、今後広く保護者などの意見を聞き、義務化の範囲を拡大するための検討を行うこと。

２　情報漏洩のリスクを低減させるとともに、学校設置者等の作業負担低減を図ることを実現させるため、国が管轄する機関が犯罪の有無を確認する書類を発行し、就業希望者が対象事業者に提出する方式に改める検討を行うこと。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）６月２８日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

衆議院議長　額　賀　福志郎　様
参議院議長　尾　辻　秀　久　様
内閣総理大臣　岸　田　文　雄　様
文部科学大臣　盛　山　正　仁　様
厚生労働大臣　武　見　敬　三　様
総　務　大　臣　松　本　剛　明　様

香害による健康被害の解決等を求める意見書

近年、家庭で使用する柔軟仕上げ剤を始めとした合成洗剤、消臭剤等に含まれる揮発性有機化合物によって、頭痛、めまい、胃腸症状、呼吸障害等の体調不良を訴える人が増加している。

「香害」の言葉でも表現される「新たな環境汚染」として、毎月第１土曜日に「＃香害は公害」ＳＮＳデモも行われ、２０２１年８月には消費者庁、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、環境省が５省庁連名で香害に関するポスターを作成するなど、少しずつ取組は進んでいるが、健康被害を訴える人は減る気配がない。２０２２年８月には香害をなくす議員の会も発足し、２０２４年１月には香害をなくす議員の会、香害をなくす連絡会、カナリア・ネットワーク全国の連名で、業界団体や企業に対してマイクロカプセル香料の長続き製法の見直しを求める８，８８９名の署名が提出された。

この問題の根幹は、付加価値として香りや抗菌を時間差で揮発させ長続きさせる合成洗剤等が販売されていながら，揮発性有機化合物が与える健康被害の実態解明が進んでいない部分にある。日用品である合成洗剤等の使用が自らの健康被害につながり、他者の健康を害することについて、企業の社会的責任の観点から揮発時の安全性調査は必要である。

よって、政府においては、消費者の健康で安心な暮らしに資するよう、香料等成分の安全性や香料による健康被害について、企業、被害者を交えて実態調査を行うこと、理解促進に関わる取組の継続や相談窓口の設置、安全性調査の補助等、さらなる実効性のある施策を実施するよう要望する。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）６月２８日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

衆議院議長　額　賀　福志郎　様
参議院議長　尾　辻　秀　久　様
内閣総理大臣　岸　田　文　雄　様
文部科学大臣　盛　山　正　仁　様
厚生労働大臣　武　見　敬　三　様
経済産業大臣　齋　藤　　健　様
環境大臣　伊　藤　信太郎　様
総務大臣　松　本　剛　明　様

災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書

現在、情報通信技術の進歩と、それに伴う様々なサービスの拡大により、私たちはいつでもどこでも、情報を入手したり、発信したりすることができるようになっている。そのため、インターネット上には膨大な情報やデータが流通しているが、その中には、事実とは異なる、偽情報や誤情報が流されることもあり、適切な対処が必要である。

特に、災害発生時における情報は、多くの人々の命に直結する重要なモノであり、現在、必死の復旧と復興を進めている能登半島地震においても、多くの偽情報が発信され、現場は大変に混乱したとされ、具体的には、救援を求める情報を受けて現場に行っても、誰もいなかったというケースも多々あったと聞いている。また、被災地の状況を知らせる画像情報においても、現場の実態とは全く違う合成されたと思われる画像も拡散されていた。

いつどこで発生するかわからない災害に対して、特に発災直後は情報が大変に混乱する中で、被災者の命を救うために、１分１秒も無駄にはできない。その活動を大きく阻害する偽情報の拡散防止は喫緊の課題である。

よって、政府に対して、災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築に向けて下記の支援の積極的な推進を求める。

記

１　情報発信者や情報発信機器の事前登録等により、情報の信頼性を担保し、現場からの正確な情報を収集し活用する情報連携環境を整備すること。

１　IoT センサーやドローンを活用して、リアルタイムでの国と地方自治体の災害情報共有体制を整備すると同時に、適切な情報分析と迅速な対策を促す気象防災アドバイザーの自治体への配置を支援すること。

１　正確な情報を発信する公的情報サイトや政府認定のアプリケーション等、国民への普及を強力に推進すること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）６月２８日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

衆議院議長　額　賀　福志郎　様
参議院議長　尾　辻　秀　久　様
内閣総理大臣　岸　田　文　雄　様
国土交通大臣　斉　藤　鉄　夫　様
デジタル大臣　河　野　太　郎　様
総　務　大　臣　松　本　剛　明　様

聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書

今日、社会の高齢化に比例して、難聴の方も年々増加している。難聴は認知症の危険因子の１つと言われており、また難聴になると人や社会とのコミュニケーションを避けがちになり、その後、社会的に孤立する可能性も懸念される。

この難聴対策として補聴器が知られているが、一般的に「補聴器」と呼ばれているものは、収集した音を増幅して外耳道に送る「気導補聴器」である。一方で様々な原因で外耳道が閉鎖している方には、骨導聴力を活用する「骨導補聴器」が用いられてきた。

近年、これらの２種類の補聴器に加えて、耳の軟骨を振動させて音を伝える「軟骨伝導」等の新しい技術を用いたイヤホンが開発された。この聴覚補助機器は、従来の気導・骨導補聴器では十分な補聴効果が得られない方や、装用そのものが難しい方に対しての新たな選択肢となった。

このように、様々な難聴者に適用できる聴覚補助機器等の選択肢が整った今、政府に対して、我が国のさらなる高齢化の進展を踏まえて、認知症の予防と共に、高齢者の積極的な社会参画を実現するために、下記のとおり聴覚補助機器等の積極的な活用を促進する取組を強く求める。

記

１　難聴に悩む高齢者が、医師や専門家の助言のもとで、自分に合った補聴器を積極的に活用する環境を整えること。

１　耳が聞こえにくい高齢者や難聴者と円滑にコミュニケーションを取れる社会の構築を目指し、行政等の公的窓口などに、合理的配慮の一環として聴覚補助機器等の配備を推進すること。

１　地域の社会福祉協議会や福祉施設との連携のもと、聴覚補助機器等を必要とする人々への情報提供の機会や場の創設等、補聴器を普及させる社会環境を整えること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）６月２８日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

衆議院議長　額　賀　福志郎　様

参議院議長　尾　辻　秀　久　様

内閣総理大臣　岸　田　文　雄　様

厚生労働大臣　武　見　敬　三　様

総　務　大　臣　松　本　剛　明　様

下水道の維持管理・更新におけるウォーターPPP導入に向けての丁寧な対応を求める意見書

公共インフラの適切な維持管理や更新は、地域住民の日常生活の安全と安心のために大変に重要な課題である。地方公共団体が整備や維持管理を進めてきた下水道は、１９９０年代に建設されたものが多く、下水道管の耐用年数をおよそ３５年と仮定すると２０２５年頃から大量に更新時期を迎えることが予想される。

この地方公共団体の下水道事業においては、この施設の老朽化に加えて、人口減少による使用料収入の大幅な減少、職員数の減少による管理や運営状況の悪化に対し、広域化やＤＸをはじめとする効果的・効率的な取組が求められている。

政府は、更新時期を迎える公共インフラの適切な維持管理や更新のために、ＰＰＰ/ＰＦＩ推進アクションプラン（令和５年改定版）を策定し公共施設等運営事業へ移行する方針を示した。下水道においては、公共施設等運営事業への段階的な移行を目指して、官民連携方式として、長期契約で管理と更新を一体的にマネジメントする方式（ウォーターＰＰＰ）を導入することとした。

さらに政府は、社会資本整備総合交付金等の交付要件について、「汚水管の改築に係る国費支援に関して、緊急輸送道路等の下に埋設されている汚水管の耐震化を除き、ウォーターＰＰＰ導入を決定済みであることを令和９年度以降に要件化する」とした。

この下水道事業では、ＰＰＰ/ＰＦＩの導入が、政令指定都市をはじめ、人口２０万人以上の大規模地方公共団体で進んでいるが、中小規模の地方公共団体では進んでいないのが現実である。その原因の一つに、ＰＰＰ/ＰＦＩ手法は、仕組みが複雑で検討も多岐にわたるため、中小規模の地方公共団体にはノウハウが少なく、施設等の規模も小さく事業規模が大きくなりにくいこと等がある。

よって、政府に対して、地方公共団体が民間との連携のもとで、安定的かつ持続的に下水道施設を機能させることができるよう、公共施設等運営事業への段階的な移行を目指してのウォーターＰＰＰの導入について、下記の事項について特段の配慮を求める。

記

１　地方公共団体への導入支援において、職員向けのガイドラインだけではなく、中小規模の地方公共団体に寄り添う形で、相談窓口の開設や、専門家の派遣等の伴走型の支援体制を整えること。

１　社会資本整備総合交付金の交付について、「汚水管の改築に係る国費支援に関して、緊急輸送道路等の下に埋設されている汚水管の耐震化を除き、ウォーターＰＰＰ導入を決定済みであることを令和９年度以降に要件化する」　との政府の方針について、地方公共団体の取組状況に応じて弾力的な対応を検討すること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）６月２８日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

衆議院議長　額　賀　福志郎　様
参議院議長　尾　辻　秀　久　様
内閣総理大臣　岸　田　文　雄　様
国土交通大臣　斉　藤　鉄　夫　様
総　務　大　臣　松　本　剛　明　様

地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求める意見書

「こども誰でも通園制度」は、子育て家庭の多くが「孤立した育児」の中で不安や悩みを抱えており、支援の強化を求める意見がある中、全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に向けて、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付制度である。

具体的な制度設計に当たっては、基盤整備を進めつつ、地域における提供体制の状況も見極めながら、令和７年度には法制度化し、令和８年度には法律に基づく新たな給付制度として全自治体で実施すべく、令和５年度から各地で試行的な事業が行われている。

地域の実情に合わせた速やかな制度の導入に加え、育児と多様な働き方やライフスタイルの両立の推進のために、政府に対して、下記の事項についての特段の取組を求める。

記

１　実施事業所が不足する地域では、十分な受入れ先を確保するための施策を講じること

試行的事業の職員配置や設備基準は、認可保育所並みの水準となっているが、認可保育所等の実施事業所が不足している地域においては、制度の導入推進を図るためにも職員配置や設備基準を満たすための財政的措置を含む支援策を講じること。

１　自治体によって１人当たりの利用時間の上限を増やせるようにすること

試行的事業では、補助基準上の１人当たり利用時間の上限は１０時間としているが、それぞれの自治体における乳幼児数や地理的特性によって、利用時間のニーズにバラつきが生じることが想定される。こうした中、全国の市町村で実施する給付制度とすることを前提としながら、自治体によって地域差が生じることについてどのように考えるのか、といった論点も含め、利用時間の在り方について検討すること。

１　障害児や医療的ケア児を受入れられるようにすること

障害児や医療的ケア児とその家族を支援する観点や保護者の事情により通園ができない乳幼児についても家庭とは異なる経験や家族以外と関わる機会を創出する観点から、こども誰でも通園制度においても障害児や医療的ケア児の受入れを認めること。

１　重層的な見守り機能が発揮されるような制度設計とすること

こども誰でも通園制度を地域資源の１つとして整備し、こども誰でも通園制度

と合わせ、地域に多様な子育て支援サービスを整え、潜在的待機児童の解消も視野に入れた重層的な見守り機能が発揮されるような制度設計とすること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）６月２８日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

衆議院議長　額　賀　福志郎　様
参議院議長　尾　辻　秀　久　様
内閣総理大臣　岸　田　文　雄　様
財　務　大　臣　鈴　木　俊　一　様
厚生労働大臣　武　見　敬　三　様
総　務　大　臣　松　本　剛　明　様

水俣病問題の解決を求める意見書

２０２４年５月1日、環境省は水俣病被害者と環境大臣との懇談会の場で、長年水俣病で苦しんで来られ、全面解決を求めておられる方々の声を十分に聞くことなく、発言の制止を行った。環境省の前身である環境庁設置の原点でもある水俣病問題への対応として、あまりにも不誠実であり、苦しみを抱える方々の心を深く傷つけたことは看過できない。

こういった国の対応の一方で、熊本県の木村敬知事は、６月１２日に懇談に参加した団体と熊本県で独自で懇談することを表明した。

２０２３年９月には、水俣病と認定されず、水俣病特措法の救済対象外であった原告の全員を水俣病と認める判決を大阪地裁が出した。この判決は、２００９年の特措法では救済されなかった被害者の訴えが司法の場で認められた画期的判決である。

現在、政府はＭＲＩを使用した調査研究を進めているが、特措法でも明記され、現地で必要とされているのは疫学を含む健康調査であり、早急に実施する必要があると考える。

よって、町田市議会は、水俣病被害者に寄り添い、対話を重ね、共に水俣病の解決を目指す場であるべき環境大臣と水俣病被害者との懇談会を早期に実施し、半世紀以上にわたって困難な状況にある当事者の支援及び救済を実施することを求める。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）６月２８日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

衆議院議長　額　賀　福志郎　様
参議院議長　尾　辻　秀　久　様
内閣総理大臣　岸　田　文　雄　様
環　境　大　臣　伊　藤　信太郎　様
総　務　大　臣　松　本　剛　明　様

婚姻の平等の早期実現を求める意見書

日本はG７で唯一同性カップルに法的保障を与えておらず、同性カップルは相続や医療・福祉、在留資格、勤務先での福利厚生等、様々な場面で不利益を被っている。

他方で、同性カップルに法的保障を与えていない現在の法律が憲法違反である、という司法判断が積み重なっている。これまで、地裁レベルでは、６件の訴訟のうち、５件で現行制度が違憲／違憲状態と判断されてきた。２０２４年３月、初の控訴審判決となった札幌高裁判決は、憲法上、同性カップルの婚姻の自由も異性カップルの婚姻と同じ程度に保障されている等と指摘し、同性間の婚姻を許さない現在の法律が憲法に違反するとの判断を示した。

２０２３年に日本経済新聞社が行った世論調査では、同性婚を法的に認めることへの賛否について、「賛成」という回答が６５％に上った。司法も市民社会も、婚姻の自由を全ての人が享受できるための立法を求めていると考える。

よって、町田市議会は、国会と政府に対し、婚姻の平等を早期に実現するための措置を求める。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）６月２８日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

衆議院議長　額　賀　福志郎　様
参議院議長　尾　辻　秀　久　様
内閣総理大臣　岸　田　文　雄　様
総　務　大　臣　松　本　剛　明　様

選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書

日本では、婚姻における夫婦別姓が認められないために、望まない改姓、事実婚、通称使用などによる不利益・不都合を強いられる人が多く存在している。法務省によると、夫婦同姓を法律で定めている国は日本以外になく、内閣府のデータでは、婚姻の際、約９５％（２０２２年時点）が夫の姓になっており、間接的な女性差別だとの指摘もある。

通称使用では、「旧姓併記」「旧姓使用」での法的根拠がないために、「名前が違う」などと怪しまれたり、様々な事務手続の煩雑さなどを招いている。働く女性たちにとっては、改姓によって「キャリアが中断される」という声も切実で、結婚や出産を躊躇する要因の１つにもなっている。

１９９６年、法務大臣の諮問機関である法制審議会が、選択的夫婦別姓導入などを含む民法改正案要綱を答申して、すでに４半世紀以上が経過している。２０２１年６月、最高裁判所は、現行の夫婦同姓を違憲ではないと判決を出したが、同時に、複数の反対意見が付され、制度の在り方を国会で議論すべきとされ、２０１５年１２月判決でも同様の指摘がされている。

選択的夫婦別姓制度は、あくまでも「選択」によるもので、引き続き夫婦同姓で結婚でき、改姓を望まない場合は夫婦別姓を選択できるというもので、誰も強制されることのない仕組みである。

世論調査では、選択的夫婦別姓制度に約６割が賛成しており、若年層ほど賛成割合が高く、６０歳代以下では約７割が賛成となっている。地方議会での意見書採択も広がっている。国会において、早期に選択的夫婦別姓制度の導入についての検討を行うべきである。

よって、町田市議会は、選択的夫婦別姓制度の導入のための民法その他の法令改正について、国会において早期に審議することを求めるものである。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）７月３日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

衆議院議長　額　賀　福志郎　様
参議院議長　尾　辻　秀　久　様
内閣総理大臣　岸　田　文　雄　様
法　務　大　臣　小　泉　龍　司　様
総　務　大　臣　松　本　剛　明　様

選挙の適正な実施に資するための公職選挙法改正を求める意見書

2024年6月20日に告示された東京都知事選挙においては、市民から「公営掲示板にみだらな画像が貼ってある報道を見た。実在するのであれば即刻撤去すべき。」といった苦情や「1つの掲示板に同じポスターが何枚も貼られているのはなぜか」といった問い合わせが町田市選挙管理委員会に寄せられている状況にある。

本来、選挙運動用ポスターは、公職選挙法により掲示が認められる文書図画の1つであり、公営掲示板は、候補者の選挙運動用ポスターを掲示するために設置をされるものであり、選挙運動用ポスターは、候補者以外が使用するべきものではなく、ポスターの掲示権利を売買する行為など言語道断である。

また、憲法21条では表現の自由及び検閲の禁止が明記されているが、同12条においては、その権利の濫用の禁止も同時に明記されていることも忘れてはならない。

選挙目的ではないと可能性のあるポスターの掲示は、民主主義の根幹をなす選挙において、市民の一層の政治不信を募らせ、民主主義の意義に影響を及ぼしかねないと考える。

よって、町田市議会は、国会に対して、選挙の適正な実施に資するための公職選挙法改正を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）６月２８日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

衆議院議長　額　賀　福志郎　様
参議院議長　尾　辻　秀　久　様
内閣総理大臣　岸　田　文　雄　様
総　務　大　臣　松　本　剛　明　様

在日米軍人・軍属による性的暴行事件の再発防止、及び関係自治体への迅速な情報の周知徹底を求める意見書

２０２３年１２月、米軍嘉手納基地所属の空軍兵が、県内に住む１６歳未満の少女に性的暴行を加えたとして、今年３月にわいせつ目的誘拐と不同意性交等の罪で那覇地方検察庁が起訴していたことが、今年６月末の報道により発覚した。

外務省及び在日米軍は、１９９７年に日米合意した在日米軍に係る事件・事故発生時における通報手続の定めに基づき、外務省は在日米軍に関する事件・事故の情報を把握した場合、防衛省及び防衛省を経由し関係自治体へ速やかに通報すべきところ、外務省は事件発生後まもなく情報を把握したにもかかわらず、防衛省や沖縄県に通報せず、在日米軍も同様に沖縄防衛当局に通報を行わなかった。

また、当該事件の報道に合わせ、２０２３年1月から２０２４年5月末までの間で、沖縄県での在日米軍構成員等による性的暴行事件は合計５件発生していたことが報道で明らかになった。過去に沖縄県外でも、青森、神奈川、山口、福岡、長崎、東京で在日米軍構成員等による性犯罪が関係自治体に情報共有がされていなかったことも報道で明らかになった。

沖縄県では、在日米軍人・軍属による性犯罪が繰り返されており、１９９５年には、１２歳の少女への性的暴行事件をきっかけに、怒りの県民大会が開催されている。

また、今年１０月１７日には、ジュネーブで女性差別撤廃委員会による日本報告審査が行われる予定である。女性・平和・安全保障に関する国連安保理決議１３２５号を採択し、第３次行動計画を策定している日本において、在日米軍構成員等による性犯罪がなくならないことには、怒りを禁じえない。

外務省は、捜査当局が事案を非公表としたことを踏まえ、防衛省や防衛省を経由し関係自治体に通報をしなかったとしているが、非公表の事件であっても、プライバシーに配慮した上で、関係自治体や地元防衛局は、犯罪予防・再発防止、被害者救済・補償など住民の安全、被害者の尊厳を守るため、迅速に通報を受ける必要がある。

よって、本議会は政府に対して、以下の徹底した対応を求める。

１　犯罪被害者への補償、丁寧な精神的ケアについて責任をもってあたること
２　１９９７年の日米合意に則り、在日米軍から遅滞なく、日本側関係者に通報が行われるよう方策を日米合同委員会で協議すること
３　在日米軍構成員等の綱紀粛正の徹底及び夜間外出の規制など、抜本的かつ具体的で実効性のある再発防止策を取るようにアメリカ側に求めること
４　在日米軍構成員等による犯罪事案については、被害者のプライバシーを守ることを第一としつつ、政府内での性犯罪などの非公表事案の情報共有の在り方の検討、改善を行い、政府内での適切な情報共有、関係自治体への迅速な通報を行うこと

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）９月３０日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

衆議院議長　額　賀　福志郎　様
参議院議長　尾　辻　秀　久　様
内閣総理大臣　石　破　　茂　　様
外　務　大　臣　岩　屋　　毅　　様
防　衛　大　臣　中　谷　　元　　様
総　務　大　臣　村　上　誠一郎　様

「校内別室指導支援員配置事業」の補助金の継続・拡充を求める意見書

学校に通えない不登校の児童生徒が、増え続けていることが全国的な課題になっている。町田市においても、例外ではなく２０２３年度は３０日以上欠席をした児童生徒が１３７８人（前年度比約２６％増）となっている。不登校の児童生徒の居場所や教育保障の場所を提供することが国と自治体に求められている。

東京都教育委員会が、各学校の校内の別室であれば登校できる児童・生徒に対して、安心し、自己存在感や充実感を感じられる場所を、校内に設置して対応できるよう、支援員の配置にかかる費用の補助を２３年度から２年間の事業として行った。「校内別室指導支援員配置事業」である。

町田市は、この補助金を活用して「校内教育支援センター」を立ち上げ、これまで空き教室などを活用して、登校するが教室には入れない生徒の居場所を作っている中学校４校に対して、１校当たり、指導員１人（週４日）、スクールソーシャルワーカー１人（週１日）を配置した。学習の場、相談の場として専門家が配置され、「校内教育支援センター」になって、利用者が増えている。また、教室に戻ることも比較的容易であり、不登校の未然防止としても効果的であることが確認されている。子どもたちや保護者、学校現場にも好評で、継続を望む声が寄せられている。

東京都の「校内別室指導支援員配置事業」の補助金は、２４年度までで終了することになっているが、不登校の未然防止策として大変有効であることを鑑み、事業を継続すべきである。

よって、町田市議会は東京都に対して、「校内別室指導支援員配置事業」の補助金の継続と拡充を求めるものである。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）９月３０日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

東京都知事　小　池　百合子　様

総　務　大　臣　村　上　誠一郎　様

自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書

高齢化社会が進んでいる現在、高齢者の運転による交通事故が社会問題となっている。２０２３（令和５）年の高齢ドライバーによる交通事故発生件数は４，８１９件、事故全体に占める高齢運転者の事故割合は１５．４％となっており、２０１９（令和元）年の１８．１％からは減少しているものの、依然として多発している状況である。

７５歳以上・８０歳以上の運転免許保有者数の推移をみると、２０１９年の７５歳以上・８０歳以上の免許保有者数（７５歳以上５８３万人・８０歳以上２２９万人）は、２００９年の数値（７５歳以上３２４万人・８０歳以上１１９万人）と比較して、７５歳以上は約１．８倍、８０歳以上は約１．９倍となっており、今後ますます高齢ドライバーが増えていくと想定される。

地方公共団体では、加齢に伴う身体機能や認知機能の低下により運転に不安を感じている高齢運転者や、交通事故を心配する家族等周辺の方々から相談を寄せられていた等の経緯から、運転免許の自主返納の取組が進められる中で、免許返納後の移動の足の確保が大きな課題となっている。政府では、高齢運転者による交通死亡事故の深刻な社会問題化を背景に、免許返納者への公共交通割引施策を新規で実施する地方公共団体への支援を検討しているが、公共交通の空白地域には課題が残る。

よって、政府に対して、すべての地方公共団体が高齢運転者の免許返納を安心して推進することができるよう、自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備に向け、十分な予算措置や自動運転車両の利活用への環境整備等、下記の事項について特段の取組を求める。

記

１　　高齢者の免許返納の促進に伴う自動運転移動サービスの導入において、過疎地域を包含する地方公共団体に寄り添う形で、国の相談窓口の開設や、専門家の派遣等の伴走型の支援体制を整えること。

１　　自動運転技術の開発があらゆるメーカーで進められている中で、自動運転システムが主体となって車の操縦・制御等を行うレベル４以上の車両の開発促進とともに、遠隔操作システムの導入を含めた行政における利活用の仕組みの検討など、自動運転車両の実用化に向けた環境整備を加速すること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）９月３０日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

衆議院議長　額　賀　福志郎　様
参議院議長　尾　辻　秀　久　様
内閣総理大臣　石　破　　茂　　様
経済産業大臣　武　藤　容　治　様
国土交通大臣　斉　藤　鉄　夫　様
総　務　大　臣　村　上　誠一郎　様

国に対し、町田市内の湧水と気泡の発生について速やかな原因究明と住民への説明会実施を、JR 東海に指導することを求める意見書

２０２４年１０月２２日に、JR 東海の行うリニア中央新幹線のトンネル掘進ルート上の民家（東京都町田市小野路）の庭において、突然、湧水と気泡が発生した。JR 東海が、掘進工事を一旦中断した後に、湧水と気泡の発生は止まったが、住民の方は、リニア中央新幹線の工事と同じシールド工法で行われた外環道工事によって、調布市での陥没事故を想起し、同じように自宅の庭が陥没するのではないかと、心配で夜も眠れなかったということだった。

当時、JR 東海のホームページでは、シールドマシンの位置が古い情報のままであり正確な情報を住民が得られなかった。また、発生した気泡自体の採取、検査が行われていないこと、１１月１３日に「周辺の地下の空洞調査の結果、空洞は確認されませんでした」と公表されているが、その調査は地下１．５メートルの深さという詳細は周知されていないなど、住民不安に応える対応は不十分である。

地域住民は不安を抱えた状態で２ヶ月近く過ごしており、本事象の早期の原因究明が求められる。また、地域住民への丁寧な説明、説明会の実施など、地域の納得が得られなければ、工事再開が許されないことは言うまでもない。

よって、町田市議会は、国に対して、町田市内の湧水と気泡の発生について速やかな原因究明と住民への説明会実施を、JR 東海に指導することを求めるものである。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年（２０２４年）１２月２３日

町田市議会議長　木目田　英　男

提　出　先

衆議院議長　額　賀　福志郎　様
参議院議長　関　口　昌　一　様
内閣総理大臣　石　破　　茂　　様
国土交通大臣　中　野　洋　昌　様
環　境　大　臣　浅　尾　慶一郎　様
総　務　大　臣　村　上　誠一郎　様

（６）　請　願

請願番号	件　　名	受理月日	議決月日	結　果
1	南成瀬地区小学校の統廃合計画を一旦止めて、地方自治の本来の姿として、学校のある地域に丁寧な説明をし、当事者の声を大切にし、地域の了解をえながら、一緒に進めることを求める請願	R6.2.20	3月27日	不採択
2	国際工芸美術館（仮称）に関し、ＣＭ方式による事業予算額が明確にされていないのに３月議会において、予算増額案を成立させないことを求める請願	R6.2.21	3月27日	不採択
3	本町田東小学校および本町田小学校の廃止と「本町田ひなた小学校」の開校に反対を求める請願	R6.2.22	3月27日	不採択
4	まちだの新たな学校づくり鶴川地区小中学校計画の開かれた議論を求める請願	R6.2.22	6月28日	不採択
5	まちだの新たな学校づくり推進計画において、子どもの意見表明の実施を求める請願	R6.2.22	3月27日	採択
6	第９期介護保険料の値上げを行わないことを求める請願	R6.2.22	3月27日	不採択
7	国民健康保険税の値上げを行わないことを求める請願	R6.2.22	3月27日	不採択
8	「再審法の改正の促進を国に求める意見書」の提出を求める請願	R6.2.22	3月11日	採択
9	（欠番）	－	－	－
10	本町田地区のＰＦＩ契約前に避難施設の安全性を明確にすることを求める請願	R6.5.28	6月28日	不採択
11	選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書の提出についての請願	R6.6.3	6月17日	採択
12	加齢性難聴者の補聴器購入の助成を求める請願	R6.6.4	6月28日	不採択
13	避難所と通学路の安全が明確になるまで南成瀬小と南第二小の統廃合計画の延期を求める請願	R6.6.4	6月28日	採択
14	心身障がい者に対するタクシー運賃補助を町田市の事業とする請願	R6.8.22	9月30日	採択
15	本町田地区・南成瀬地区小学校の統廃合計画の「要求水準書」において心身の発達を大切にして校舎面積と同様に「運動場の面積」も「小学校設置基準」（文部科学省令）を充たす努力を求める請願	R6.8.27	9月30日	不採択
16	国に対し『健康保険の資格確認書の交付を「当分の間」との制限をせず、今後も継続し、申請しなくても発行を求める意見書』の提出を求める請願	R6.8.27	9月6日	不採択
17	加齢性難聴者の補聴器購入の助成を早期に求める請願	R6.8.27	12月23日	継続審査
18	子どもたちが学校統廃合に臨めるようになるまでＰＦＩ契約の延期を求める請願	R6.8.27	9月30日	不採択

請願番号	件　　名	受理月日	議決月日	結　果
19	（仮称）国際工芸美術館に関し、１２月議会において、第１１４号～１１６号議案を成立させないことを求める請願	R6.11.27	12月23日	継続審査
20	２～３年完成が遅れても、１５億円以上の予算を節約可能でさらに現在の建設計画の多くの問題を解決可能な、（仮称）国際工芸美術館関連の建設計画の変更見直しを求める請願	R6.11.27	12月23日	不採択
21	子ども達や保護者を振り回している統廃合計画を白紙撤回し国の適正規模に基づいて、子ども達も安全に安心して近くの学校に通学し、子ども達に目の行き届いた各学校の建替え・設置を求める請願	R6.11.27	12月23日	不採択
22	６月請願採択に則り、町田市の第一期統廃合計画の延期と見直しを求める請願	R6.11.28	12月23日	不採択
23	「新たな学校づくり」＝「地域活用型学校」についての策定、契約、教育に関わる情報を市民にわかるように公表、説明することを求める請願	R6.11.28	12月23日	採択

（7）　陳　情

陳情番号	件　　名	受理月日	付託月日	議決月日	結　　果
1	消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的法改正を求める意見書を政府等に提出することを求めることに関する陳情	R6.1.24	－	－	全議員参考送付
2	パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に係る情報開示を求める陳情	R6.2.22	－	－	全議員参考送付
3	対外的情報省と横田基地について意見書提出に関する陳情	R6.3.13	－	－	全議員参考送付
4	（欠番）	－	－	－	－
5	要望書	R6.6.24	－	－	全議員参考送付
6	対外的情報省を設立し、食料危機に対応することを求める意見書の提出についての陳情	R6.8.7	－	－	全議員参考送付
7	集合住宅での組織的嫌がらせ行為（集団ストーカー犯罪）解明と予防策を求める陳情	R6.10.22	－	－	総務常任委員会参考送付
8	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	R6.11.5	－	－	全議員参考送付

（８）質疑の通告内容
第１回定例会

まちだ市民クラブ（６５分）

発言順位	1	議席番号	２５	議員名	戸　塚　正　人（代表質疑）

議案番号等	要　　旨
施政方針 (P.7)	（１）「限りある財源の中でも、社会状況の変化や未来のニーズを的確に捉え、利用者目線に即した公共空間の新しいカタチ・新しい価値を生み出していく必要がある」とあるが、今回の予算編成にあたり、どの様な反映がなされているのか。
(P.9)	（２）児童相談所について、2025年度の市内設置が決定し、４月には新たに「子ども家庭センター」を設置する。子ども達やその家庭が抱える問題に対し、迅速な対応や的確な支援を行うために、町田市独自としての工夫は考えているか。
(P.10)	（３）「まちだの新たな学校づくり」について、今後計画通りに進めるにあたり、財政課題が非常に懸念される。財源確保についての考え方はどの様になっているのか。
(P.11) 予算概要説明書 (P.48)	（４）町田駅周辺の中心市街地の再整備・再開発について、「エンターテインメントの要素を取り入れたまちづくり」が必要であるとの事だが、都市間競争の中で差別化を図るため、どの様な取り組みをイメージしているのか。また、今回リーディングエリアを森野住宅周辺地区にした根拠はなにか。

発言順位	1	議席番号	２５	議員名	戸　塚　正　人 （代表質疑）

議案番号等	要　　旨
施政方針 （P.12） 予算概要説明書 （P.62）	（５）（仮称）国際工芸美術館整備計画について、昨年より実施しているＣＭ（コンストラクションマネジメント）が終わらない段階である今議会で増額の予算計上をする理由はなにか。また、2024年度に策定予定の「（仮称）町田市文化芸術のまちづくり基本計画」とはどの様なものか。
（P.13）	（６）ＦＣ町田ゼルビアのＪ１昇格に伴い、来場者数がこれまで以上に増加する見込みだが、経済効果の部分でまだまだ課題があると考える。特に中心市街地への来場者誘導については、今後どの様な考え方か。また、２月24日に開幕戦が行われたが、どの様な感想を持ったか。
（P.15）	（７）今回の令和６年能登半島地震においては復旧活動が非常に困難を極めている。これまで能登半島地震に対し、どの様な支援を行ってきたか。また、何を教訓とし、首都直下地震に備えどの様な防災対策が必要と考えるか。学校再編にあたり、学校跡地などを含め基本的には地域の防災拠点として避難施設機能を確保するべきと考えるがどうか。
（P.17）	（８）民間事業者の自由な発想による創意工夫や、ノウハウ等を活かした、 新たな課題解決の手法として、いわゆる「民間提案」を推進していくとあるが、市内経済の活性化のためには、市内事業者の参画を促進していくことが必要であると考える。市内事業者の参画を促進するための対策は。また、市内事業者にＰＦＩ手法の町田市の考え方が浸透していないと感じるが、その対応は考えているか。

発言順位	1	議席番号	２５	議員名	戸　塚　正　人 （代表質疑）

議案番号等	要　　旨
施政方針 （P.20） 予算概要説明書 （P.32）	（９）「(仮称)子ども・子育てサポート等複合施設」整備について、民間の創意工夫、アイデア、ノウハウ等を最大限に活用するとあるが、事業者公募をするにあたり、市としてはどの様な民間サービスを求めているのか。また、施設内の機能について、各関係団体との協議についての進捗はどうか。
第８号 予算概要説明書 （P.8） （P.9） （P.44）	（１）「2022年度から2026年度までの「財政見通し」では、５年間で74億円の収支不足が見込まれ、大変厳しい財政状況となっている」とある。経常事業費等の縮減及び歳入増へ向けた取り組みについての考え方は。 （２）価格高騰、人件費の上昇が益々懸念される中で、学校再編計画や町田駅周辺の再整備計画などに多額の財政投資が見込まれる。どの様な財政運営を行っていくか、その将来的な財政的戦略はどう考えているか。 （３）学校給食費の第２子無償化において、東京都の「東京都学校給食費保護者負担軽減事業補助金」を活用するとのことだが、この東京都の事業について、町田市としては、どのように考えているのか。

発言順位	2	議席番号	4	議員名	笹倉みどり（個人質疑）
議案番号	区分	事業名（ﾍﾟｰｼﾞ）	要旨		
第８号	歳出	１.野津田公園スポーツの森整備事業（予算概要説明書 P.58）	（１）パークセンターゾーン（スケートパーク）基本設計委託料（その２）が計上された経緯を問う。 （２）南側入口転回広場について、民地活用の状況に応じて大型バスの待機台数についても柔軟に検討するとのことであったが、検討結果は基本・実施設計にどのように反映されるのか。		

公明党（５５分）

発言順位	3	議席番号	１７	議員名	おんじょう由久 （代表質疑）

議案番号等	要　　旨
第８号 予算概要説明書 （P.8、9）	（１）物価高騰、人件費高騰が続いていくことが想定される中でも、にぎわいの創出や未来への投資と合わせて、福祉や教育における市民サービスの向上が必要と考えるが、どのような考えで2024年度の予算編成を行なったか。
施政方針 （P.9）	（１）新たに「子ども家庭センター」を設置することで、児童相談所との連携も含めて、どのように子どもたちや子育て世帯を支える機能を強化し、地域に根差した支援を充実させていく考えか。
（P.10、11）	（２）中学校給食センター整備にあたって、日常の中に非日常を作る（フェーズフリー）の考え方に基づき、防災拠点としての機能を高めていくべきと考えるが、どうか。
（P.11）	（３）学校給食無償化を進めていくにあたっての取り組みや課題、今後の展開について考えを問う。
（P.11、12）	（４）エンターテインメントの要素を取り入れたまちづくりとはどのようなものか。
（P.12、13）	（５）「（仮称）町田市文化芸術のまちづくり基本計画」を策定し、今後10年間の文化芸術の方向性を示していくとのことだが、この計画はどのようなものになるのか。
（P.13、14）	（６）ＦＣ町田ゼルビアがＪ１を舞台に戦うことでの市への波及効果をどのように見込み、課題である渋滞対策に取り組む考えか。また野津田公園の整備をどのような考えで進めていくのか。

発言順位	3	議席番号	１７	議員名	おんじょう由久 （代表質疑）

議案番号等	要　　旨
施政方針 （P.14、15）	（７）町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例の制定によってどのようなまち、どのような社会を目指し、どのように事業者、市民に条例の理念を浸透させていく考えか。
（P.15）	（８）地域福祉コーディネーターの拡充にあたって、先行地域の実績を活かし、地域で活動する団体との連携を強化しながら支援の裾野を拡げて進めていく必要があると考えるが、課題と今後の取り組みは。
（P.17、18）	（９）民間提案制度を構築するにいたった背景や目的、期待する効果は何か。また、民間提案制度における既存の外郭団体との連携についてどのように考えているか。
（P.18、19）	（10）ＤＸの推進による効果をどのように捉えているか。また、ＤＸ推進の方向性、デジタルデバイド対策に関する考えは。

発言順位	4	議席番号	１８	議員名	松葉ひろみ （個人質疑）

議案番号	区分	事業名（ﾍﾟｰｼﾞ）	要　　旨
第８号	歳出	１.未就園児預かり推進事業（予算概要説明書 P.43）	（１）「未就園児預かり推進事業」の導入経過、及び現在の調整状況は。 （２）「未就園児預かり推進事業」の位置づけや今後の保育所等での展開は。
		２.認可外保育施設利用者補助事業費（予算書 P.104）	（１）多子世帯支援補助金の内容は。

自由民主党（５０分）

発言順位	5	議席番号	１２	議員名	石 川 好 忠 （代表質疑）

議案番号等	要　　旨
第８号	（１）令和６年度当初予算について ①令和６年度の予算編成の考え方は。５カ年計画について令和６年度にどう反映したか、また、今後の財政見通しは。
施政方針 （P.5）	（１）市政運営の視点について ①地球温暖化への対応について 一自治体としての環境施策を推進していくことへの市長の考えと、今後の展望は。
（P.8）	（２）ここでの成長がカタチになるまちをつくる取り組みについて ①「子どもにやさしいまち」について 「子どもにやさしいまち条例」を制定することで、町田市は更にどのように変わっていくのか、条例への市長の思いは。また、「まちだ若者大作戦」は子どもにやさしいまちづくりにどうつながっていくのか。
（P.9）	②子どもの居場所について 子どもクラブのような子どもの居場所をつくり続けていることへの市長の考えは。
（P.10）	③学校に通うことが難しい子どもたちへの支援について 町田市はどのような考え方を持って、不登校問題に対応し、支援していくのか。
（P.11）	④中学校給食センターについて 中学校給食センターは、どのようなセンターを目指しているのか、特長は。

発言順位	5	議席番号	１２	議員名	石 川 好 忠 （代表質疑）

議案番号等	要　　旨
施政方針 (p.12) (P.13) (P.15) (P.16) (P.19) (P.20)	（３）わたしの“ココチよさ”がかなうまちをつくる取り組みについて ①町田駅周辺のまちづくりについて 町田駅周辺の中心市街地の再整備・再開発にあたって中心市街地の将来の姿をどう思い描いているのか。また、今後どのような方向性で整備を進めていくのか。 ②多摩都市モノレールの町田方面延伸について 「モノレール沿線まちづくり構想」は、どのような思いが込められているのか。また、町田市の沿線まちづくりの今後の方向性や動きは。 （４）誰もがホッとできるまちをつくる取り組みについて ①「地域福祉コーディネーター」について 地域における地域福祉コーディネーターの必要性は。 ②要支援者の避難支援体制について 市の要支援者の避難支援体制は、どのように強化していくのか。 （５）みんなの“なりたい”がかなうまちをつくる取り組みについて ①次期「町田市職員人材育成基本方針」について 市長の職員育成に対する市長の考えは。次期、「町田市職員人材育成基本方針」の方向性は。 ②「(仮称)子ども・子育てサポート等複合施設」について 施設の目指す姿は。市民サービスはどのように向上するのか。あわせて、財政的な効果は。

選ばれる町田をつくる会（５０分）

発言順位	6	議席番号	8	議員名	渡 辺 厳 太 郎 （代表質疑）

議案番号等	要　　旨
施政方針	
(P.7)	（１）次世代につながるまちづくりについて、市長の思いは。
(P.9)	（２）「子ども家庭センター」について、町田市は、今後どのような体制で、子育て世帯や子どもを支援していくのか。
(P.9)	（３）“生涯にわたる学び”について、子どもだけでなく、大人も含めた“生涯を通じた学び”に対しての市長の考えは。
(P.10)	（４）「まちだの新たな学校づくり」について、「まちだの新たな学校づくり」を進めた先に、子どもたちの環境はどのように変わっていくのか。
(P.11)	（５）中心市街地の賑わい創出について、賑わい創出における取り組みは。また、今後についての市長の考えは。
(P.12)	（６）「芹ヶ谷公園“芸術の杜”プロジェクト」について、“芸術の杜”「パークミュージアム」プロジェクトを進めていく意義と市長の考えは。
(P.14)	（７）「(仮称) 町田木曽山崎パラアリーナ」整備について、その特長と、どのような使われ方を想定しているのか。
(P.15)	（８）「町田市いきいき長寿プラン24－26」について、理念と特長とは。
(P.16)	（９）発災時の避難について、町田市における災害時の避難の基本的な考え方は。また、発災時には、どのように市が避難状況を把握していくのか。

発言順位	6	議席番号	8	議員名	渡辺厳太郎（代表質疑）

議案番号等	要　　旨
施政方針 （P.17） （P.18） （P.19）	（10）地域コミュニティの希薄化対策について、今後の地域コミュニティのあり方を、市としてどのように検討していくのか。 （11）「（仮称）町田市民間提案制度」の創設に至った背景や制度の特長は。 （12）“行政サービス改革、イコール、ＤＸ”について、今後のＤＸへの市長の意気込みは。

日本共産党（４５分）

発言順位	7	議席番号	３３	議員名	細　野　龍　子 （代表質疑）

議案番号等	要　　旨
施政方針 （P.6、7）	（１）市政運営の視点について ①限りある財源の中でも、社会状況の変化や未来のニーズを的確にとらえ、利用者目線に即した公共空間の新しいカタチ・新しい価値を生み出すと述べているが、その内容は何か。 ②年金や実質賃金が上がらない中、物価の高騰により市民生活が大変になっている。そのような中、市民の生活の質を向上させるために、どのような考え方で予算編成を行ったのか。
（P.8～10）	（２）「子どもにやさしいまち」について ５月５日から「町田市子どもにやさしいまち条例」がスタートする、子どもは健やかかつ豊かに成長する権利、自分に関わることについて、意見や考えを表明するとともに意見が尊重される権利が定められている。子どもたちが通う、あるいはこれから通う学校の存廃は、子どもに関わる重要な問題であり、意見を聞くべきだが、見解を問う。
（P.11）	（３）「まちだの新たな学校づくり」について 市内で３分の１の学校を減らす「新たな学校づくり」について見直しを求め、あるいは丁寧な説明を求める請願が統廃合の対象地域の住民から、市議会に 14 件、教育委員会に 11 件提出されている。市民の理解や合意が得られていないと考えるが、市長の見解を問う。

発言順位	7	議席番号	３３	議員名	細　野　龍　子 （代表質疑）

議案番号等	要　　旨
施政方針 （P.11）	（４）給食費の無償化について どのような思いで2024年度からの第２子以降の給食費無償化を行うことにしたのか、市長の見解を問う。 また、市として都の補助金の拡充を求めるとともに、全児童生徒に対象を広げるべきだがどうか。
（P.12）	（５）町田駅周辺の再開発について ①町田駅周辺の再開発はＡＢＣＤの地区で検討されているが、それぞれの事業の目的、内容、スケジュール、予測される総事業費について問う。 ②エンターテインメントの要素を取り入れたまちづくりとは、どこでどのようなものを想定しているのか。
（P.12）	（６）（仮称）国際工芸美術館について （仮称）国際工芸美術館の整備は、新たに多額な財政投入をすることになり、いまだに市民合意は得られていない。整備計画の見直しを行うべきだがどうか。
（P.13）	（７）「モノレール沿線まちづくり構想」について 「モノレール沿線まちづくり構想」の内容、モノレール延伸のスケジュール、総事業費及び事業性の見通しについて見解を問う。
（P.14）	（８）野津田公園スポーツの森スケートパークについて 野津田公園スポーツの森パークセンターゾーンに計画されているスケートパーク基本設計その２を行う理由は何か。また、スケートボードやインラインスケートができるスケートパーク計画では必要な面積はどの程度を想定しているのか。 また、湿生植物園の自然環境へ影響を与えると思うが、見解を問う。

発言順位	7	議席番号	３３	議員名	細　野　龍　子 （代表質疑）

議案番号等	要　　旨
施政方針 （P.15）	（９）災害時の避難場所について 能登半島地震において、避難場所の不足が被災者の避難生活を困難にしている。市長は、いつ起きるかわからない災害に対し、より一層備えを強化するとしながら、防災マップにおいて避難施設として指定されている小中学校を 23 カ所も廃止する計画を進めている。ただでさえ不足している町田市の避難施設対策に大きな影響を与えると考えるが、見解を問う。
（P.18）	（10）「（仮称）町田市民間提案制度」について 公民連携の一層の推進と自由な発想の提案を求めるとして「町田市民間提案制度」を創設するとのことだが、どのような内容を想定しているのか。町田市が公務として取り扱っている業務なども対象となるのか。
（P.19）	（11）職員の人材育成について 新たな「町田市職員人材育成基本方針」によって、公務員として、市民に寄り添い困難を解決する対応力や職務に応じた専門的知識や技能をもった職員を育成することを想定しているのか。

発言順位	8	議席番号	２２	議員名	佐々木智子（個人質疑）

議案番号	要　　旨
第２０号	（１）改正の目的、内容、算出根拠は。 （２）赤字額の状況と、その対応はどうか。 （３）被保険者への影響はどうか。
第２１号	（１）改正の目的、内容、算出方法を問う。 （２）介護保険給付費準備基金の活用状況と軽減効果は。 （３）所得区分を増やしたことによる影響は。

無所属（４０分）

発言順位	9	議席番号	１６	議員名	松岡みゆき（代表質疑）

議案番号等	要　　旨
施政方針 (P.6)	（１）国や東京都に先駆けて実践してきた“子ども視点のまちづくり”が評価され重点をおいてきたが、20代の若者の施策は、どのように考えているのか。
(P.9)	（２）児童相談所は2025年度に市内への設置が決まったが、スケジュールや場所を改めて確認したい。又、市との連携をどのように進めていくのか。
(P.11)	（３）市立小・中学校に通う第２子以降の児童・生徒の給食費を無償化し子育て世帯への支援を充実させるが今後の展開は。
(P.12)	（４）町田駅周辺の再開発を推進するにあたり、リーディングエリアとなる森野住宅周辺地区のまちづくりの検討を重ねるとあるが、内容は。
(P.15)	（５）「まちだ健康づくり推進プラン24-31」と「町田市いきいき長寿プラン24-26」の２つの計画がスタートするが、それぞれの計画の基本的な考え方は。
(P.15)	（６）地域における支え合いは、災害時にこそ大きな力になると考えているとあるが、初動体制など地域の役割をどのように考えているか。
(P.18)	（７）民間提案制度の目的と活用状況について
(P.19)	（８）ワークライフバランスの重視といったように働く環境や、働くことへの価値観が大きく変化しているが、市の取り組みは。

発言順位	１０	議席番号	２７	議員名	新井よしなお（個人質疑）
議案番号	区分	事業名（ﾍﾟｰｼﾞ）	要旨		
第８号	歳出	１.小学校維持費（予算書P.148）	（１）横断旗の設置について予算の計上がなされているが、横断旗を入れる箱の設置については含まれていない。その理由は何か。		

諸派（１０分）

発言順位	１１	議席番号	１０	議員名	矢口まゆ（個人質疑）

議案番号等	要旨
施政方針 (P.9)	（１）子ども家庭センターに期待される役割として、妊娠期から子育て期までの切れ目のない子育てサポート体制を整え、安全･安心の基盤を一層強化する事、児童相談所との連携で子どもたちやその家庭が抱える問題への迅速な対応や的確な支援につなげていくとあるが、つなげる事ができる支援体制、サービスが存在しなくては実際に救う事ができない。どのような支援が必要とされ、そのニーズに対してどのようなサービスが提供できるのかが今後の課題となるのではないか。現状、市で把握している課題と今後の方向性は。
第１４号 保育室運営費 (P.6) 施政方針 (P.9)	（１）院内保育室の運営状況と新年度の運営方針を問う。 ①院内保育室の利用者数と定員は。 ②定員に満たない場合には、産後ケア利用者の子どもの預かりや、外来利用者の子どもの預かり等、病院利用者に保育を提供できないか。

発言順位	１１	議席番号	１０	議員名	矢口まゆ（個人質疑）

議案番号等	要旨
第８号 予算概要説明書 (P.34) 出産･子育て応援事業 施政方針 (P.9)	（１）出産・子育てしっかりサポート事業にて配布される出産･子育て応援商品券（こども商品券）について ①この商品券は、町田市で行う一時保育サービス、ショートステイ、トワイライトステイ、ファミリーサポートセンター事業、産後ケア事業、育児支援ヘルパー等には利用できるか。 ②商品券の利用実績（利用状況）について、市で確認できているのか。 （２）乳幼児健診および歯科検診について ①検討を進めてきた南地区での実施について、引き続き取り組まれるのか。 （３）産後ケア事業の実施施設においても、安心安全に利用できる環境を整えていく必要がある。 ①各施設における乳児の突然死予防のための取り組み状況は。ベビーセンサー等の導入状況は。

諸派（１５分）※他の諸派議員（秋田しづか議員及び中川幸太郎議員）より譲り受けた１０分含む

発言順位	１２	議席番号	３２	議員名	熊沢あやり（個人質疑）

議案番号等	要旨
施政方針 (P.8、9)	（１）「子どもにやさしいまち」の実現に向けた子ども・子育て支援について ①妊娠期から子育て期までの切れ目のないサポートについて ②子どもたちが日々楽しく過ごす居場所を充実させることについて
第８号	（１）令和６年度予算編成の子ども・子育てに関する特徴は。

第２回定例会

◎条例・その他

発言順位	１	議席番号	２８	議員名	吉田つとむ
議案番号	要　　旨				
第６５号	（１）条例改正の趣旨。 （２）町田市における条例改正の効用は、先発医薬品の利用者からの収入増を図ることか、それとも後発医薬品の利用をより拡大することか。 （３）公費負担の対象者については、（２）はどのような扱いになるか。				

◎予　　算

発言順位	1	議席番号	２１	議員名	田　中　美　穂
議案番号	区分	事業名(ﾍﾟｰｼﾞ)	要　　旨		
第５５号	歳出	１.自転車用ヘルメット購入費補助事業（第２弾） (概要 P.10)	（１）自転車用ヘルメット補助件数の内訳と高校生枠を設定した理由について問う。 （２）補助制度の利用促進のための広報をどのように行うのか。		

発言順位	2	議席番号	３４	議員名	殿　村　健　一
議案番号	区分	事業名(ﾍﾟｰｼﾞ)	要　　旨		
第５５号	歳出	１.町田ターミナルプラザ費 (P.17)	（１）目的、内容、算出根拠を問う。		

発言順位	3	議席番号	１７	議員名	おんじょう由久
議案番号	区分	事業名(ﾍﾟｰｼﾞ)	要　　旨		
第５５号	歳出	１.未就園児預かり推進事業 (P.16) (概要 P.８)	（１）実施予定３園とした経緯、募集要件は。 （２）利用期間２ヶ月、１週間あたり最大２回とした根拠は。 （３）今後の実施園数の拡充予定は。		

発言順位	4	議席番号	１０	議員名	矢　口　ま　ゆ
議案番号	区分	事業名(ﾍﾟｰｼﾞ)	要　　旨		
第５５号	歳出	１．未就園児預かり推進事業 (P.16) （概要 P.８）	（１）実施主体は区市町村が適切と認めた者というのが東京都の実施要綱にあるが、どのような点で適切と判断し実施園を選定したか。 （２）支援計画や保護者への面談については、各園で同様の書式を活用する等、効果検証がしやすい仕組みになっているのか。 （３）利用料金については、収入や家庭の状況等に応じた軽減などは実施されるのか。 （４）要支援家庭をはじめ、支援が必要な家庭に対して各機関と連携の上、本事業を個別に案内していく仕組みはあるのか。		

発言順位	5	議席番号	１５	議員名	東　　友　美
議案番号	区分	事業名(ﾍﾟｰｼﾞ)	要　　旨		
第５５号	歳出	１．未就園児預かり推進事業 (P.16) （概要 P.８）	（１）予算計上に至った経緯は。 （２）国の「こども誰でも通園制度（仮称）試行的事業費補助金」と都の「多様な他者との関わりの機会の創出事業費補助金」を併用する理由は。 （３）利用者の募集と選定方法は。 （４）事業の周知方法は。		

第３回定例会

◎条例・その他

発言順位	1	議席番号	３２	議員名	熊沢あやり
議案番号	要　　旨				
第７５号	（１）目的は。 （２）対象となる人数は。				

発言順位	2	議席番号	１５	議員名	東　　友美
議案番号	要　　旨				
第７９号	（１）図書コミュニティ施設とはどのようなものか。 （２）図書館と図書コミュニティ施設の違いは何か。 （３）図書コミュニティ施設ではレファレンス機能をどのように提供するのか。 （４）本議案の提案を当初の予定より１年早めた理由は何か。 （５）本議案の提案を当初の予定より１年早めたことについての市民への周知状況は。 （６）鶴川図書館に勤務している職員への今後の対応は。				

発言順位	3	議席番号	２８	議員名	吉田つとむ
議案番号	要　　旨				
第７６号	（１）袋の量（10L、20L、40L）による家庭の使い分けの見込みは。 （２）この 10L 袋の使用を含めた容器包装プラの分別の広報の状況とこれからの予定。 （３）現行、南地区が容器包装プラの分別を行っているが、10L 袋の先行使用はあるか。				

発言順位	4	議席番号	１６	議員名	松 岡 み ゆ き
議案番号	要　　旨				
第８５号	（１） 目的は何か。 （２） 内容は、どのようなものか。 （３） 生涯学習センター改修工事に伴う休館期間と、その期間の施設利用について				

発言順位	5	議席番号	２１	議員名	田　中　美　穂
議案番号	要　　旨				
第７９号	（１）条例改正の目的、内容について問う。				
第９２号	（１）成瀬学童保育クラブ、本町田ひなた学童保育クラブの指定管理者選考の過程（応募の状況、選考の基準）について問う。				

第４回定例会

◎条例・その他

発言順位	1	議席番号	３３	議員名	細　野　龍　子
議案番号	要　　旨				
第１０６号	（１）条例改定の理由、内容は何か。 （２）想定される対象者数及び影響について問う。				

発言順位	2	議席番号	２５	議員名	戸　塚　正　人
議案番号	要　　旨				
第１１１号	（１）今回の施設の様に「受益者負担の適正化に関する基本的方針」に基づくと受益者負担100％であるのに、そうはなっていない状況の施設はどの程度あるのか。また、その中でなぜ今回この時期で４施設のみ改正するのか。 （２）今回条例改正をするにあたり、スポーツ関係諸団体などへの周知はいつ、どの様に行ったのか。関係者からはどの様な意見が出たのか。 （３）今回の料金改定により、相当な利用料金値上げとなるが、町田市が後援や協力などを行っている市民大会や青少年健全育成に資する大会などに対し、減免措置等の検討は行われたのか。 （４）今回の料金改定により、市民サービスとしてどの様な向上が見込まれるのか。 （５）入場料を徴収する場合の料金設定は開催者側であると考えるが、今回の入場料を徴収する場合の利用料金の設定根拠は何か。				

発言順位	3	議席番号	２７	議員名	新井よしなお
議案番号	要　　旨				
第１０９号	別表第４（第16条関係）の１、施設利用料金について （１）値上げの検討を始めたのはいつか。 （２）起案日はいつか。 （３）決裁されたのはいつか。 （４）一般財団法人町田市スポーツ協会に利用料金改定を知らせたのはいつか。 （５）町田市スポーツ協会に知らせた後に協議した事項があればその内容。 （６）当該施設を利用し、市民大会を開催している団体の年間増額分はそれぞれの団体でだいたいどの程度になるか。 （７）平日や冬場の利用率はそれぞれどの程度か。 （８）利用が多くない曜日や時期に利用率を高める努力はしたか。したとすればどのような内容か。				

発言順位	4	議席番号	２２	議員名	佐々木智子
議案番号	要　　旨				
第１１１号	（１）当該４施設の利用料金を引き上げる理由と算出根拠を問う。 （２）参考とした近隣自治体の類似施設はどこか。				

発言順位	5	議席番号	３４	議員名	殿村健一
議案番号	要　　旨				
第１１０号	（１）廃止条例の目的と理由を問う。 （２）本条例の目的と役割、実績を問う。				

発言順位	6	議席番号	２１	議員名	田　中　美　穂
議案番号	要　　旨				
第１１４号	（１）（仮称）国際工芸美術館整備工事に関する契約についてこれまでの経緯と入札の経緯について問う。 （２）今後のスケジュールについて問う。				
第１１５号	（１）（仮称）国際工芸美術館整備工事に関する契約についてこれまでの経緯と入札の経緯について問う。 （２）今後のスケジュールについて問う。				
第１１６号	（１）（仮称）国際工芸美術館整備工事に関する契約についてこれまでの経緯と入札の経緯について問う。 （２）今後のスケジュールについて問う。				

発言順位	7	議席番号	１５	議員名	東　　友　美
議案番号	要　　旨				
第１１０号	（１）廃止条例を上程する理由は何か。 （２）生活福祉資金貸付制度と生活資金貸付制度の違いは何か。 （３）同様の事業における隣接する市の状況は。				
第１１４号	（１）本契約における整備工事の範囲はどこか。 （２）入札はどのような条件で行ったのか。 （３）契約金額の内訳は。 （４）契約相手方の詳細は。				

◎予　　算

発言順位	1	議席番号	２８	議員名	吉田つとむ
議案番号	区分	事業名(ﾍﾟｰｼﾞ)	要　　旨		
第１０１号	歳出	１．道路維持費 (P.30)	（１）被害の件数、被害の名称と、その額が大きな順番。		

発言順位	2	議席番号	１６	議員名	松岡みゆき
議案番号	区分	事業名(ﾍﾟｰｼﾞ)	要　　旨		
第１０１号	歳出	１．小中学校給食費無償化事業 （概要P.８）	（１）2024年４月に第２子以降の給食費を無償化したが、どのような効果があったのか。 （２）学校給食代替費補助金の目的は何か。 （３）調理業務委託料の目的は何か。 （４）保護者への通知はどのような方法でされたのか。 （５）給食費無償化は、2025年１月から開始される。しかし、町田忠生小山エリア給食センターは2025年４月から、南エリア給食センターは2025年９月から運用開始となるため、それまで全員給食が提供できない状況である。このことについて保護者への説明はどの様にされたのか。		

発言順位	3	議席番号	２１	議員名	田　中　美　穂
議案番号	区分	事業名(ﾍﾟｰｼﾞ)	要　　旨		
第１０１号	歳出	１．小中学校給食費無償化事業（概要P.８）	（１）事業の目的と内容、算出根拠（対象児童生徒の人数等）を問う。 （２）中学校全員給食の場合と、ランチボックス給食の対応について問う。 （３）アレルギー、疾病や宗教等の理由で給食が食べられない場合の代替費補助金支給事業の目的、内容について問う。		
		２．債務負担行為補正（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設整備等事業（P.12）	（１）公募中止の理由と市の対応について問う。 （２）算出根拠について問う。		

発言順位	4	議席番号	4	議員名	笹倉みどり
議案番号	区分	事業名(ﾍﾟｰｼﾞ)	要　　旨		
第１０１号	歳出	１．小中学校給食費無償化事業（概要P.８）	（１）代替費補助金支給事業の対象者「アレルギー、疾病や宗教等の理由」の等とはなにを指すのか。 （２）代替費補助金支給事業の対象者に、国立、私立、各種学校に通う子どもの保護者が含まれない理由は。 （３）不登校児童生徒の保護者が代替費補助金支給対象でない理由は。		

（９）一般質問の内容
第１回定例会

発言順位	氏　名	質　問　事　項
１	加藤真彦	1.国の「こども誰でも通園制度（仮称）」のモデル事業について 2.町田市の農業について 3.野津田公園周辺の交通対策について 4.多摩都市モノレール町田方面延伸路線について
２	吉田つとむ	1.ふるさと納税（寄附）について 2.被災した建物への対応について 3.町田市内の東京都の施設について
３	森本せいや	1.スマートシティを目指して 2.公共事業発注の在り方について 3.町田市の子育て環境について 4.市が行う指定管理者に対する適正な労働条件の確認について
４	松葉ひろみ	1.フェーズフリー教育について 2.能登半島地震を教訓にさらなる防災を考える 3.がん患者アピアランスケア用品購入費等助成について 4.５歳児健診の実施を 5.登校できないこどもたちへの支援について
５	佐藤和彦	1.環境対策について 2.学校の郷土資料について 3.移動しやすい持続可能な交通環境について
６	渡辺さとし	1.こどもの居場所づくりについて 2.市職員の事務と執行体制について 3.創業支援について 4.鶴川団地について
７	若林章喜	1.忠生地区まちづくりの推進について 2.生成ＡＩの更なる利活用について 3.能登半島地震を受けて
８	おんじょう由久	1.予防接種の助成について 2.学校の Wi-Fi 環境の整備について 3.加齢性難聴のための補聴器購入等支援について 4.道路境界図等の情報公開について（その３） 5.南町田グランベリーパーク駅周辺の諸課題について
９	佐々木智子	1.山崎団地のまちづくり施策を問う 2.いま求められる災害対策と避難施設の環境整備を求めて 3.補聴器購入費補助制度の実現を求めて
１０	笹倉みどり	1.多文化共生社会の実現に向けて 2.学校給食の質を守り続けるために 3.ジェンダー主流化に向けた課題について問う
１１	いわせ和子	1.汚水管への浸入水対策について 2.鶴川駅周辺再整備事業について

発言順位	氏　名	質　問　事　項
１２	小野寺まなぶ	1.尿漏れパットを使わざるを得ない人の現状について（その２） 2.音楽にあふれた街づくりについて 3.相原駅周辺の利便性向上について 4.都道第155号線整備について
１３	石川好忠	1.町田市における不登校児童生徒の支援について 2.選挙の投票所について 3.境川の調節池について
１４	細野龍子	1.（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設について問う 2.子どもたちに豊かな教育を保障するために 3.障がい者のタクシー補助制度の拡充を求めて
１５	渡辺厳太郎	1.鶴川５号踏切について（パート７） 2.耐震化が進む水道について
１６	秋田しづか	1.木造住宅のさらなる耐震化を進めるために 2.野津田公園整備計画について 3.ひきこもり支援について 4.障がい児の保育所入所について 5.子ども食堂補助金の仕組みについて
１７	中川幸太郎	1.町田市の公園利用について 2.災害対策について 3.町田市におけるＧＩＧＡスクールについて 4.５類に移行後の新型コロナウイルス感染症について
１８	小野りゅうじ	1.障がい者の移動・外出支援について 2.飼い主のいない猫との共生モデル地区制度の充実に向けて（その２） 3.災害時のペット対策について
１９	松岡みゆき	1.イベントごみ減量支援事業について 2.最終処分場の上部利用について
２０	藤田学	1.町田市デジタル化総合戦略で目指すもの 2.難聴（ヒアリングフレイル）と介護予防、認知症予防の取り組みについて 3.忠生スポーツ公園について
２１	佐藤伸一郎	1.バリアフリー基本構想について
２２	村まつ俊孝	1.デジタル化の推進について 2.環境先進都市「ゼロカーボンシティまちだ」について（その３） 3.町田の未来のまちづくりについて 4.自転車の安全適正利用について（その３）
２３	東友美	1.ＬＧＢＴｓについて（その10） 2.重度身体障がい者訪問入浴事業について 3.災害から市民の安全を守るために 4.食品トレイの回収について

発言順位	氏　名	質　問　事　項
２４	田中美穂	1.鶴川東地区・西地区の学校統廃合計画の凍結を求めて 2.鶴川団地センター商店街建て替えに伴う駐車場の確保を求めて 3.野津田公園の自然環境を守ることを求めて 4.生活保護利用者へのより丁寧な対応を求めて
２５	殿村健一	1.中心市街地開発推進事業について問う 2.芹ヶ谷公園パークミュージアム「一体的整備」計画について問う 3.町田都市計画道路３・３・36 号の交通について問う
２６	おぜき重太郎	1.住民主体の支え合いによる移動支援の取り組みについて 2.ホームドアの設置について（その２） 3.Nature Factory 東京町田の指定管理者制度導入後の利用状況について 4.駅や大型ショッピングセンター等での期日前投票所の設置について
２７	今村るか	1.町田市の歴史や伝統の継承について 2.市民の福祉のお困りごとへの対応について
２８	白川哲也	1.産業振興施策について 2.町田市民病院の財政について 3.団地再生について
２９	矢口まゆ	1.保護者にも、子どもにも安心安全な登下校、登降所の実現のために！ 2.保護者の経済的負担の軽減とエコの観点から、標準服・学用品等のあり方見直しを！ 3.不登校未然防止の視点と、児童生徒保護者の視点を活かした学校運営の改善を進めるために 4.学校の不審者侵入に関わる防犯対策徹底を！
３０	熊沢あやり	1.新たな学校づくりについて～本町田・藤の台・金井を中心に～ 2.安心して暮らせる町田へ～災害時に備えて～ 3.図書館について
３１	戸塚正人	1.町田市の将来に向けた市政運営について
３２	新井よしなお	1.パークミュージアム計画について 2.市内事業者への優先発注について 3.災害支援と自治体とのつながりについて 4.「子ども家庭センターガイドライン（案）」への対応について
３３	おく栄一	1.大型工事案件等のＰＦＩ事業について 2.合計特殊出生率について 3.町田市障がい者就労・生活支援センターについて 4.ごみ収集体制の働き方改革について

第２回定例会

発言順位	氏　名	質　問　事　項
１	今村るか	1. 町田市内の雇用・労働環境などについて
２	新井よしなお	1. パークミュージアム計画について 2. スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）の活用と関係機関との連携について 3. ＦＣ町田ゼルビアＪ１昇格の影響について
３	若林章喜	1.「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例」について 2. 今後のまちだの教育について問う 3. 忠生スポーツ公園（池の辺地区）について
４	渡辺さとし	1. 子どもの近視対策について 2. 子どもの学びの多様化について 3. 野津田公園について
５	松葉ひろみ	1. 視覚障がい者の情報アクセシビリティ向上に向けて（その２） 2. 高校生等の医療費助成の所得制限撤廃について（その２） 3. 医療的ケア児をとりまく環境について 4. 町田市に手話言語条例を 5. 藤の台団地における医療提供体制について
６	笹倉みどり	1. 人工的な香りに含まれる化学物質（香害）から市民を守るために 2.「子どもにやさしいまち」を目指して
７	三遊亭らん丈	1. 中心市街地のまちづくりについて－令和５年第４回定例会につづいて 2. 図書館の取組について 3. 今年の７月３日から発行される新紙幣への対応について
８	いわせ和子	1.「子どもの権利」について 2. 母子健康手帳のデジタル化について
９	戸塚正人	1. 新たな学校づくり推進事業について 2. 中心市街地開発推進事業について
１０	秋田しづか	1. 身寄りのない高齢者が安心して最期を迎えるために 2. いじめ問題について
１１	東友美	1. 発声障がいについて 2. 改正児童福祉法について 3. 会議室等の貸出を行っている公共施設の改修工事について 4. 学校飼育動物について（その３）

発言順位	氏　名	質　問　事　項
１２	小野りゅうじ	1.市内各駅のホームドアの整備について 2.生活保護受給者の住居について 3.忠生スポーツ公園について
１３	おぜき重太郎	1.相原駅前周辺まちづくりの状況について 2.「(仮称) 町田市文化芸術のまちづくり基本計画」の検討状況について 3.武蔵岡第一集会室への投票所設置について
１４	吉田つとむ	1.町田駅ペデストリアンデッキの改修、修繕、美化について 2.年齢別の個人市民税額や納税義務者 1 人あたりの個人市民税額が公表されない理由 3.理事者の議会会派に対するあいさつについて 4.教育におけるあいさつについて
１５	細野龍子	1.新たな学校づくり推進計画のあり方について問う 2.心身障がい者通院交通費助成制度の早急な改善を求めて 3.英語スピーキングテスト ESAT－J について問う
１６	松岡みゆき	1.町田市農業振興事業補助金について 2.「小１の壁」の対策について
１７	熊沢あやり	1.新たな学校づくりについて～町田・金井・忠生～ 2.子どもの居場所づくりについて
１８	田中美穂	1.鶴川駅周辺再整備に伴う北口バスロータリーについて 2.学校給食について 3.学校プールの存続を求めて 4.金井中と薬師中の統廃合計画について
１９	森本せいや	1.公共施設整備の予算及び契約等について 2.障がい児・者への幅広い支援について 3.鶴川地区の交通環境の改善について
２０	村まつ俊孝	1.中心市街地のまちづくりについて 2.経済産業について 3.町田市民間提案制度について 4.障がい者雇用について
２１	石川好忠	1.流域治水について 2.ごみの減量について 3.「(仮称) 町田市子どもマスタープラン 25－34」及び前期行動計画「(仮称) コドマチ計画 (プラン) 25－29」の策定状況について
２２	小野寺まなぶ	1.窓口で聞き取りにくくて、困らないための環境づくりについて 2.ごみ分別の現状について 3.非認知能力向上を目指す取り組みを支援する「とうきょうすくわくプログラム推進事業」について 4.相原・大戸地域のにぎわいについて（その２）

発言順位	氏　名	質　問　事　項
２３	加藤真彦	1.中学校部活動について 2.鶴川団地のセンター街区について 3.都道の拡幅について（その２）
２４	白川哲也	1.財政援助団体等監査の結果について 2.下水道事業会計について 3.町田市役所食堂の再開について
２５	おく栄一	1.町田市障がい者プラン 21－26 について 2.クーリングシェルターについて 3.介護支援専門員（ケアマネジャー）の現状について 4.誰もが投票しやすい環境づくりを求めて（その２）
２６	佐々木智子	1.今夏における熱中症対策を問う 2.町田市役所の窓口対応について問う 3.藤の台団地におけるクリニックの休院について問う 4.木曽山崎コミュニティセンター休館時の利用者対応を問う
２７	殿村健一	1.町田駅周辺再開発と住民参加のまちづくりについて問う 2.芹ヶ谷公園パークミュージアム「一体的整備」計画について問う
２８	藤田学	1.「町田市感染症予防計画」について 2.地域周産期母子医療センター（町田市民病院）について 3.町田市考古資料室について
２９	佐藤伸一郎	1.パークミュージアム推進事業について 2.宅地造成及び特定盛土等規制法について 3.町田市バイオエネルギーセンターで生成するバイオガスについて 4.複雑化・複合化した福祉の困りごとを抱えている方の支援について
３０	矢口まゆ	1.小中学校における学校選択制について 2.子どもを取り巻く環境でおこるさまざまな事態に、迅速かつ的確な対応ができる体制構築を！ 3.学校及び部活動における熱中症の予防と緊急時の対応について 4.水泳授業における命を守るための教育と、家庭の負担軽減について
３１	中川幸太郎	1.町田市内の交通手段について 2.待機児童について（その２） 3.空き家対策について（その２）
３２	おんじょう由久	1.学校図書館への新聞配備について 2.子ども・若者総合相談支援について 3.空き家対策について 4.詐欺対策について 5.地域活動を支える Wi-Fi 環境整備について

第３回定例会

発言順位	氏　名	質　問　事　項
１	森本せいや	1.「2025 年度市政運営の基本的な考え方」について 2.「令和７年度（2025 年度）予算編成方針」について 3.災害時における協力事業者の車両運行について 4.胃がん検診の在り方について
２	佐々木智子	1.非核平和都市宣言をしている町田市の取り組みを問う 2.住民の移動権を保障する地域交通の改善・充実を求めて 3.生涯学習センターの事業について問う
３	おんじょう由久	1.高齢者の聞こえの問題の解消に向けて 2.健康づくりに向けた取組強化について 3.障がい者の移動支援の充実について 4.非常時に備えた人工呼吸器等のための電力源について 5.新たな学校づくりにおける地域の活動拠点づくりについて
４	吉田つとむ	1.産業支援複合施設と商工会議所の関係 2.町田市防災会議のメンバーにまだ土木建設の現業団体は加えられないのか 3.水防や防災訓練で出動する団体や個人にはどのような費用対応が行われているか 4.職員の不手際と処分について 5.南地区のイベントごみの収集分別について
５	佐藤和彦	1.今後の超高齢社会への対応策について
６	白川哲也	1.町田市の財政について 2.町田市産業振興計画 19-28 の取り組み状況について 3.市有財産（土地・建物）について
７	松葉ひろみ	1.市民サービス向上のために 2.学びの充実のために 3.子ども発達センターにおける医療的ケア児の受け入れについて 4.高齢者の安心のために（その４）
８	中川幸太郎	1.町田駅周辺公共施設再編構想について 2.町田市における植樹帯について 3.住所整理事業について 4.持続性のある地域活動について
９	いわせ和子	1.鶴川駅周辺再整備事業について 2.学童保育クラブ事業について 3.町田児童相談所（仮称）について
１０	今村るか	1.まちだ健康づくり推進プラン 24-31 について 2.第３次町田市環境マスタープランについて

発言順位	氏　名	質　問　事　項
１１	秋田しづか	1. 市民・民間企業・行政による共創のまちづくりについて 2. ゼロカーボンシティまちだについて 3. 高齢者の社会参加について 4. 教員を支える人的支援について 5. 支援が必要なひとり親および離婚を考えている方への対応について
１２	細野龍子	1. 義務教育における不登校児童、生徒の居場所づくり・教育保障について問う 2. 学校統廃合により大規模化する学童保育クラブについて課題を問う 3. 猛暑から市民を守る対応について問う
１３	藤田　学	1. 民間事業者との協働による高齢者の生活への支援について 2. 医療的ケアを必要とする重度障がい児・者の地域包括ケアシステムの構築について 3. 上小山田リニア非常口周辺の生活環境整備と未利用地活用について
１４	三遊亭らん丈	1. 町田市デジタル化総合戦略 2023 の改定について 2. 孤独・孤立対策推進法について 3. 退職した町田市職員の再採用について
１５	矢口まゆ	1. 学校風土の把握と改善で、不登校やいじめ等の諸課題へアプローチを！ 2. 学校と学童における防犯対策の徹底を！ 3. いじめ重大事態発生時の、学校やいじめ問題対策委員会における対応及び調査のより良い進め方について
１６	村松としたか	1. ＤＸの推進について 2. 環境先進都市「ゼロカーボンシティまちだ」について（その４） 3. 移動販売について 4. 困難な状態にある若者の居場所について
１７	小野寺まなぶ	1. 小山田地区の道路整備について 2. 災害時のトイレ対策について 3. 認知症の人の家族に対する支援について 4. フリーランスの方が安心して働ける環境づくりについて
１８	渡辺さとし	1. 環境政策について 2. 子どもの学びの多様化について（その２） 3. 学童保育クラブについて
１９	松岡みゆき	1. 町田市の人権教育―北朝鮮による拉致問題について 2. 学校給食の無償化について 3. 「小１の壁」の対策について（その２）
２０	加藤真彦	1. 持続可能な町田市であり続けるために 2. 中学校給食センターでの市内産農産物の使用について 3. 町田市の農業について

発言順位	氏　名	質　問　事　項
２１	熊沢あやり	1.新たな学校づくりについて 2.避難施設の適正配置について 3.中学校給食について
２２	佐藤伸一郎	1.待機児童解消地域の民間保育施設のあり方について 2.町田市における子ども視点のまちづくりについて 3.町田市第５次環境配慮行動計画について
２３	笹倉みどり	1.困難な問題を抱える女性への支援について（その２） 2.野津田公園の環境保全を求めて
２４	新井よしなお	1.パークミュージアム計画について 2.全国学力テストの結果について 3.飼い主のいない猫の対策について 4.高齢者の日常生活支援、地域助け合いについて
２５	若林章喜	1.生成ＡＩの利活用について 2.公園管理について 3.職員の働き方について
２６	小野りゅうじ	1.相原駅駅舎と自由通路について 2.高齢者等の移動困難者への買い物支援について（その２） 3.民地や道路に越境する樹木の剪定について
２７	東　友美	1.ＬＧＢＴＱ＋について（その１１） 2.職員の兼業（副業）について 3.職員からの公益通報と内部告発について 4.重度身体障がい者訪問入浴事業について
２８	おぜき重太郎	1.下水道事業におけるウォーターＰＰＰの導入について 2.民間事業者との移動販売の実施に関する連携について 3.相原駅西口交通広場における一般車両の滞留問題について
２９	田中美穂	1.「新たな学校づくり推進計画」の見直しについて 2.市民に身近な公立図書館を求めて 3.生物多様性を守る野津田公園を求めて 4.市民の多様な生き方を保障する町田へ
３０	殿村健一	1.「町田市街路樹更新計画」について問う 2.町田三中・山崎中統合新設中学校候補地の変更について問う 3.「町田駅周辺開発推進計画」について問う 4.芹ヶ谷公園パークミュージアム「一体的整備」計画について問う
３１	おく栄一	1.条件付一般競争入札における入札参加者の資格要件について 2.公衆浴場の有用性について（その２） 3.透析予防のための糖尿病治療中断者受診勧奨事業について（その２）
３２	戸塚正人	1.公共施設再編計画及び町田駅周辺開発推進計画の取組みについて 2.相原駅東口整備計画について

第４回定例会

発言順位	氏　名	質　問　事　項
１	若林章喜	1. 町田市公共施設再編計画について 2. 介護者に対する支援について
２	森本せいや	1. 子ども・子育て施策の考え方について 2. 公共事業における市内経済の活性化について 3. （仮称）町田市地域公共交通計画について
３	渡辺さとし	1. 雑木林の管理について 2. 歩道の整備について 3. 期日前投票制度について 4. 詐欺被害対策について
４	三遊亭らん丈	1. 中心市街地のまちづくりについて－令和６年第２回定例会につづいて 2. 町田市の防災体制について改めて問う 3. 亡くなられた方の手続きについて－令和５年第４回定例会につづいて
５	吉田つとむ	1. 国際版画美術館と町田市民文学館の企画展について 2. 町田市の観光大使になりたいと言う声について 3. 町田式新農法-水耕栽培メロンの普及拡大について 4. 電子投票の取り組みについて 5. 介護保険事業の現状について
６	秋田しづか	1. 高齢者の見守りについて 2. ひきこもりの若者支援について 3. 小学校給食調理室の暑さ対策について 4. 子育て中のママががんになった時の支援について 5. 子どもの虐待・ヤングケアラーについて 6. 市職員と市民の信頼関係の構築のために
７	佐藤和彦	1. スポーツ振興について
８	松岡みゆき	1. 相次ぐ闇バイト強盗の対策について 2. 衆議院選挙の投票について 3. 今後の猛暑対策について
９	石川好忠	1. 新たな学校づくり推進計画の一部修正について 2. 職員の休業・休職について 3. 「町田市職員人材育成基本方針」の改定について
１０	細野龍子	1. 介護事業所の充実を求めて 2. 加齢性難聴者の補聴器購入助成制度の早期実現を求めて 3. 防災対策の充実を求めて
１１	いわせ和子	1. 部活動の地域連携・地域移行について 2. 町田市の施策にデジタル技術の活用を 3. 市庁舎等の有効活用について

発言順位	氏　名	質　問　事　項
１２	佐々木智子	1. マイナ保険証の一本化について問う 2. 高齢者等のごみ出し支援について問う 3. 町田市役所の会計年度任用職員の処遇改善を求めて
１３	笹倉みどり	1. 多文化共生社会の実現に向けて（その２） 2. ジェンダー主流化に向けた課題について問う（その２）
１４	矢口まゆ	1. 児童生徒が安心して通える学校環境のために！ 2. いじめ重大事態発生時の対応と、第三者調査の進め方について、緊急時に迷わず正しい判断ができるよう万全の準備を！
１５	おく栄一	1. 先の衆議院選挙での投票所入場整理券遅配について 2. 急傾斜地崩壊対策について 3. ＨＰＶワクチンの推進について
１６	今村るか	1. チルドレンファーストのまちづくりについて 2. 働きやすい町田について 3. 選挙権・被選挙権の権利保障について
１７	藤田　学	1. 外部の視点に基づく行政経営の推進について 2. 市内公園におけるスケートボードができる環境について 3. 地域・地元事業者と協働で市民の生命と財産、尊厳を守る取り組みを 4. 公園の危険木対策について
１８	田中美穂	1. 小野路の民家における気泡と湧水の発生について 2. 町田市の新たな学校づくりにおける「地域活用型学校」について 3. 野津田公園スケートパーク整備について 4. 子どもたちを性暴力の被害者、加害者にさせないための取り組みを求めて
１９	熊沢あやり	1. 新たな学校づくりについて～本町田・藤の台・金井～ 2. 有償ボランティアについて 3. ふるさと納税について
２０	（欠番）	
２１	佐藤伸一郎	1. 町田市における学びの多様化に係る事業の進捗について 2. 「ビジネスに、働く人に、心地よいまち」を目指してについて 3. 空家対策のこれまでとこれからについて
２２	村松としたか	1. ＤＸの進捗について 2. 労務費の適切な転嫁等について 3. 防犯対策について 4. ふるさと納税について
２３	松葉ひろみ	1. 災害時の個別避難計画について 2. 最期まで自分らしく生きるために 3. 耳で聴くハザードマップについて 4. 登校できないこどもたちへの支援について（その２）

発言順位	氏　名	質　問　事　項
２４	おぜき重太郎	1.（仮称）町田市文化芸術のまちづくり計画策定における近隣美術大学との連携及び地域住民との交流について 2.「Nature Factory 東京町田」の指定管理者制度導入後の利用状況について（その２） 3.民間事業者との移動販売の実施に関する連携について（その２）
２５	東　友美	1.乳幼児健診について 2.ケアラー支援について（その３） 3.野津田公園スケートパークについて
２６	新井よしなお	1.パークミュージアム計画について 2.野津田公園スケートパーク計画について 3.小学校設置基準の「運動場の面積」について
２７	白川哲也	1.財務の見える化について 2.産業支援複合施設について
２８	小野りゅうじ	1.個別避難計画について 2.公園における草刈りについてー忠生スポーツ公園を中心としてー 3.トクリュウ（匿名・流動型犯罪グループ）対策について
２９	小野寺まなぶ	1.公共工事で工事請負業者を支える環境整備について 2.「マイナ保険証」の普及と利用促進等について 3.小山田地区の道路整備について（その２）
３０	おんじょう由久	1.高齢者の聞こえの問題の解消に向けて（その２） 2.防災・減災の取り組み状況について 3.地域活動を支えるWi-Fi環境の整備状況について 4.2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO2027）について
３１	中川幸太郎	1.町田市における街路樹について 2.町田市の保育について 3.市内の公園の電波状況について
３２	殿村健一	1.芹ヶ谷公園パークミュージアム「一体的整備」計画について問う 2.公立図書館の役割とさるびあ図書館の存続について問う 3.町田駅周辺開発推進計画について問う
３３	戸塚正人	1.今後の市立図書館と学校図書館の連携について 2.町田市の少子化対策について

４．委員会の概要

（１）各委員会の開催状況

委員会名	開催日数	付託案件		付託案件（参考送付含む）	行政報告	行政視察（自治体数）
		議案	請願	陳情		
総務常任委員会	8	23	0	1	26	3
健康福祉常任委員会	8	31	5	0	16	3
文教社会常任委員会	12	36	14	0	40	4
建設常任委員会	8	34	0	0	42	3
議会運営委員会	27	0	0	0	0	3
第１７期町田市議会改革調査特別委員会	6	0	0	0	0	0

５．その他の会議の概要

（１）全員協議会・法外委員会の開催状況

委員会名	開催日数
全員協議会	2
災害対策委員会	1

６．　会議の傍聴者

（１）令和６年傍聴者数

会期別	本会議	総務常任委員会	健康福祉常任委員会	文教社会常任委員会	建設常任委員会	議会運営委員会	第17期町田市議会改革調査特別委員会	全員協議会	災害対策委員会
第１回定例会	135	0	14	71	2	0	－	0	0
第２回定例会	96	0	8	22	0	1	4	－	－
第３回定例会	126	3	38	63	14	5	3	－	－
第４回定例会	81	0	9	37	11	0	2	0	－
会期外	－	－	－	－	－	6	6	－	－
計	438	3	69	193	27	12	15	0	0

７．視察受入団体一覧

月　日	来訪団体名	人数	視　察　事　項
1月31日	那須塩原市議会	6	「南町田拠点創出まちづくりプロジェクト」について
2月6日	彦根市議会	4	町田市バイオエネルギーセンターについて
2月8日	西尾市議会	4	町田市バイオエネルギーセンターについて
4月22日	亀岡市議会	10	議会改革の取組について
4月26日	東大阪市議会	11	・町田市新たな学校づくり推進計画について ・まちだ若者大作戦について
5月1日	堺市議会	5	・南町田拠点創出まちづくりプロジェクトについて ・町田市デジタル化総合戦略2023とスマートシティについて
5月8日	宇治市議会	11	町田市バイオエネルギーセンターについて
5月9日	山形市議会	5	高校生と議員の意見交換会について
5月14日	京都市議会	3	・子どもにやさしいまちづくり事業について ・デジタルサービスポータルサイト「まちドア」について ・ジェネレーティブＡＩの取組について
5月15日	伊勢市議会	9	自治体DXの取り組みについて
5月16日	岡崎市議会	10	子どもの参画推進事業について
5月21日	長崎市議会	2	・新地方公会計制度について ・バス停への上屋・ベンチの設置促進について
5月22日	いなべ市議会	3	子どもにやさしいまちづくり事業について
5月23日	枚方市議会	5	学校温水プール設置の経緯と運営について
7月2日	石垣市議会	8	・町田市の新たな学校づくりに関する取り組み ・南町田拠点創出まちづくりプロジェクトについて
7月5日	沖縄市議会	3	・町田市子どもにやさしいまち条例について ・町田市不登校支援（対策）について
7月23日	多摩市議会	7	町田市の認知症施策、Ｄカフェについて
7月30日	小牧市議会	10	新たな学校づくりに関する取組について
8月5日	前橋市議会	1	教材費等学校徴収金公会計化について
8月7日	八王子市議会	10	町田市新たな学校づくり推進計画について
8月8日	日光市議会	11	議会改革について

月　日	来訪団体名	人数	視　察　事　項
8月14日	千葉市議会	1	業務デジタル化の総合戦略について （町田市デジタル化総合戦略2023）
10月1日	桐生市議会	6	議会改革の取組について
10月30日	久留米市議会	14	議会改革の取組について
10月31日	佐倉市、酒々井町清掃組合議会	18	一般廃棄物処理施設について バイオガス化施設の運転状況について
11月6日	甲府市議会	8	一般廃棄物資源化基本計画に基づく施策について
11月7日	大村市議会	13	議会改革(活性化)の取組について
11月8日	芦屋市議会	1	学校徴収金について
11月11日	越谷市議会	1	芝生広場「町田シバヒロ」について
11月12日	松原市議会	13	新たな学校づくり推進計画について
11月13日	高知市議会	11	町田市バイオエネルギーセンターについて
11月14日	八王子市議会	8	町田市立病院NICUについて
11月15日	高松市議会	10	シティプロモーションの推進について
11月18日	大空町議会	8	町田市バイオエネルギーセンターについて
合計		250	

８．会期外の主な動き

諸　報　告

議　会　活　動　状　況

自　２０２３年　　１２月　２３日
至　２０２４年　　　２月　２１日

１２月　２３日	・町田市立町田第五小学校６０周年記念式典が、市立町田第五小学校で開催され、議長が出席。
２４日	・Ｆリーグ２０２３－２０２４ディビジョン１ファイナルシーズン町田ラウンド　ＡＳＶペスカドーラ町田ホームゲームが、市立総合体育館で開催され、副議長が出席。
２６日	・多摩都市モノレール町田方面延伸促進協議会役員会が、町田市役所で開催され、議長が出席。
２９日	・町田市消防団歳末特別警戒が実施され、議長が出席。
１月　４日	・町田市役所仕事始め式が、町田市役所で開催され、議長・副議長が出席。
５日	・町田商工会議所新年賀詞交歓会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
６日	・東京消防出初式が、東京ビッグサイト東棟屋外臨時駐車場で開催され、副議長が出席。
	・第１０回新春いけばなの集いが、和光大学ポプリホール鶴川で開催され、議長が出席。
	・南大沢警察署武道始式・懇親会が、南大沢警察署で開催され、副議長が出席。
	・町田市医師会新年会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
７日	・第１１回新春茶会が、和光大学ポプリホール鶴川で開催され、副議長が出席。
	・町田警察署武道始式・警察協力三団体主催懇親会が、町田警察署で開催され、議長が出席。
８日	・町田市青少年健全育成「第３７回どんど焼き」が、市立町田第一小学校で開催され、議長が出席。
	・町田市成人式「二十祭まちだ」２０２４が、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
１１日	・町田青年会議所賀詞交歓会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
１２日	・町田市老人クラブ連合会第２４回輪投げ大会が、サン町田旭体育館で開催され、議長が出席。
１３日	・町田市歯科医師会新春の集いが、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
１４日	・町田市消防団出初式が、市立町田第一小学校で開催され、議長が出席。

１月　１４日	・第６３回小・中学生書初展授賞式が、町田市民ホールで開催され、議長が出席。
１５日	・南多摩市議会議長会第２回事務局長連絡会が、町田市役所で開催され、議長が出席。
	・町田労働基準協会新年賀詞交歓会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
１６日	・三多摩上下水及び道路建設促進協議会第３委員会が、東京自治会館で開催され、委員が出席。
１７日	・町田パークアベニュー商店会新年会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
１８日	・町田地区保護司会「令和６年新春の集い・表彰状伝達式」が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
１９日	・議会運営委員会を開催。
	・南多摩市議会議長会第２回総会が、町田市役所で開催され、議長が出席。
	・全日本不動産協会東京都本部町田支部令和６年新年賀詞交歓会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
	・町田市体育協会新年会が、ホテル町田ヴィラで開催され、議長が出席。
２０日	・町田華道協会新年会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
	・東京都行政書士会町田支部・東京行政書士政治連盟町田支部新年賀詞交歓会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
	・東京土建一般労働組合町田支部『新春旗びらき』が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
２２日	・東京都三多摩地区消防運営協議会第二部会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。
	・令和６年町田消防協働五団体合同賀詞交歓会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
２３日	・次世代サービス振興会２０２４年新年賀詞交歓会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
	・町田市商店会連合会『新年賀詞交歓会』が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
２４日 ～	・令和５年度東京都十一市競輪事業組合議会行政視察が、日本競輪選手養成所外で開催され、組合議会議員が出席。
２５日	
２６日	・町田地区更生保護女性会「令和６年新春の集い」が、ホテル町田ヴィラで開催され、議長が出席。
	・南大沢交通安全協会賀詞交歓会が、八王子日本閣で開催され、副議長が出席。
	・原町田六丁目町内会六生会賀詞交歓会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
２７日 ～	・第６９回伊豆大島椿まつり前日懇親会・オープニングセレモニーが、大島町役場横外で開催され、議長が出席。
２８日	

１月	２７日	・町田市文化協会新年賀詞交歓会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、副議長が出席。
	２８日	・ジャワ民族芸能ワークショップが、和光大学ポプリホール鶴川で開催され、副議長が出席。
	２９日	・町田茶道会新年会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
		・東京土地家屋調査士会町田支部、東京公共嘱託登記土地家屋調査士協会町田支所、東京土地家屋調査士政治連盟町田地区「三団体合同新年会」が、レストランペダラーダで開催され、議長が出席。
	３０日	・三多摩上下水及び道路建設促進協議会第２委員会が、東京自治会館で開催され、委員が出席。
		・東京都六市競艇事業組合議会行政視察が、ボートレース江戸川外で開催され、組合議会議員が出席。
２月	１日	・三多摩上下水及び道路建設促進協議会第１委員会が、東京自治会館で開催され、委員が出席。
	２日	・令和６年第１回東京都十一市競輪事業組合議会定例会が、京王閣で開催され、組合議会議員が出席。
		・令和６年第１回東京都六市競艇事業組合議会定例会が、京王閣で開催され、組合議会議員が出席。
	３日	・第２４回まちだ男女平等フェスティバルが、町田市民フォーラムで開催され、議長が出席。
	４日	・東京都飲食業生活衛生同業組合町田支部新年会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
	５日	・第６２回東京都市議会議員研修会が、府中の森芸術劇場で開催され、議長・副議長・議員が出席。
	６日	・令和６年第１回南多摩斎場組合議会定例会が、南多摩斎場で開催され、組合議会議員が出席。
	７日	・令和５年度第２回日本赤十字社東京都支部評議員会が、日本赤十字社東京都支部で開催され、副議長が出席。
		・町田市中央地区商業振興対策協議会令和６年「新春の集い」が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
	９日	・市議会議員共済会第１２７回代議員会が、都市センターホテルで開催され、副議長が出席。
		・令和６年第１回多摩ニュータウン環境組合議会定例会が、多摩ニュータウン環境組合で開催され、組合議会議員が出席。
		・町田市技能功労者・永年勤続従業員表彰式典が、町田市文化交流センターで開催され、議長が出席。
	１１日	・第４２回町田市郷土芸能まつりが、町田市民ホールで開催され、議長が出席。
		・町田青年会議所茶道同好会「青心会」初釜が、宗保院で開催され、議長が出席。
	１３日	・東京都市議会議長会定例総会が、東京自治会館で開催され、副議長が出席。
		・栄通り商店会新年賀詞交歓会が、ホテル町田ヴィラで開催され、副議長が出席。
	１５日	・議会運営委員会を開催。

２月　１５日	・第６５回東京都農業委員会・農業者大会受賞者祝賀会が、ホテル町田ヴィラで開催され、議長が出席。
１６日	・自衛隊東京地方協力本部募集相談員連絡協議会町田支部懇親会が、町田市民ホールで開催され、議長が出席。
１７日	・町田市建設業協会令和６年新春賀詞交歓会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
２１日	・令和６年第１回東京たま広域資源循環組合議会定例会が、東京自治会館で開催され、組合議会議員が出席。

諸　報　告

議　会　活　動　状　況

自　２０２４年　　３月　２８日
至　２０２４年　　６月　　４日

３月　２８日	・令和６年第１回東京都十一市競輪事業組合議会臨時会が、東京自治会館で開催され、組合議会議員が出席。
	・令和６年第１回東京都六市競艇事業組合議会臨時会が、東京自治会館で開催され、組合議会議員が出席。
	・町田商工会議所第７０回通常議員総会が、町田市文化交流センターで開催され、議長が出席。
	・町田市立鶴川第二中学校・町田市立鶴川第二小学校合同合唱演奏会が、町田市民ホールで開催され、副議長が出席。
３０日	・２０２４町田さくらまつり尾根緑道会場開会式が、常盤公園で開催され、副議長が出席。
	・２０２４町田さくらまつり交流都市歓迎セレモニーが、芹ヶ谷公園で開催され、議長・副議長が出席。
	・２０２４町田さくらまつり交流市町村昼食会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長・副議長が出席。
４月　　１日	・町田市消防団辞令交付式が、町田市役所で開催され、議長が出席。
６日	・町田デザイン＆建築専門学校令和６年度入学宣誓式が、レンブラントホテル東京町田で開催され、副議長が出席。
	・令和６年「春の全国交通安全運動出陣式」が、八王子市中郷公園で開催され、議長が出席。
７日	・２０２４年度町田市民春季軟式野球大会開会式が、町田市民球場で開催され、議長が出席。
	・町田市民春季ソフトボール大会開会式が、町田市民球場で開催され、議長が出席。
	・町田フィルハーモニー交響楽団第９１回定期演奏会が、町田市民ホールで開催され、副議長が出席。
１２日	・「町田市スポーツ協会名称変更記念式典」並びに「第７７回都民体育大会春季大会町田市代表選手団結団式」が、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
１３日	・明治安田生命Ｊ１リーグ第８節・ヴィッセル神戸戦が、国立競技場で開催され、議長が出席。
１４日	・町田市少年少女発明クラブ第２０期開講式が、ひなた村で開催され、議長が出席。

４月	１５日	・２０２４年度東京都赤十字協賛委員町田市地区協議会が、町田市役所で開催され、議長が出席。
	１７日	・東京都市議会議長会臨時総会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。
	１９日	・議会運営委員会を開催。
		・議員研修会『防災と議員の役割』を開催。
	２０日	・米海軍厚木航空施設春祭り・航空機展示レセプションが、米海軍厚木航空施設で開催され、議長・副議長が出席。
	２１日	・令和６年度町田消防少年団卒入団式が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
		・第５５回町田市青少年の日スポーツ柔道大会が、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
		・府中市市制施行７０周年記念式典が、府中の森芸術劇場で開催され、議長が出席。
	２３日～２４日	・行政視察（町田市自然休暇村等）を実施。
	２５日	・第９０回関東市議会議長会定期総会が、ロイヤルパインズホテル浦和で開催され、議長が出席。
		・町田地区保護司会懇親会が、町田市民ホールで開催され、副議長が出席。
	２７日	・西園にて新緑と楽しむ茶会が、町田薬師池公園四季彩の杜で開催され、議長が出席。
５月	８日～１０日	・総務常任委員会が行政視察を実施。（桑名市、八尾市、岡山市）
	９日	・令和６年第１回多摩ニュータウン環境組合臨時会が、多摩ニュータウン環境組合で開催され、組合議会議員が出席。
	１０日	・町田地区更生保護女性会総会が、町田市役所で開催され、議長が出席。
		・町田市老人クラブ連合会２０２４年度第６１回定期総会が、わくわくプラザ町田で開催され、議長・健康福祉常任委員長が出席。
	１１日	・ＡＳＶペスカドーラ町田「２０２４－２０２５シーズン新体制発表会」が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
	１２日	・２０２４年町田市表彰式が、町田市文化交流センターで開催され、議長が出席。
		・第５２回川上村山菜まつりが、川上村高登谷高原野外ステージで開催され、副議長が出席。
		・第３８回フェスタまちだ２０２４開会式が、原町田大通りで開催され、議長が出席。
		・第３８回フェスタまちだ２０２４懇親会が、町田市文化交流センターで開催され、議長が出席。
	１４日	・全国自治体病院経営都市議会協議会第５２回定期総会が、都市センターホテルで開催され、議長が出席。

５月　１４日～１６日	・文教社会常任委員会が行政視察を実施。（糸魚川市、富山市、射水市、黒部市）
１６日	・第４５回町田市戦没者遺族会総代会が、町田市役所で開催され、議長が出席。
１７日	・自衛隊東京地方協力本部募集相談員連絡協議会町田支部懇親会が、町田市民ホールで開催され、議長が出席。
１８日	・２０２４年度町田市立中学校ＰＴＡ連合会第６６期定期総会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、副議長が出席。
	・町田市身体障害者福祉協会令和６年度第６６回定期総会が、町田市健康福祉会館で開催され、議長が出席。
１９日	・町田市町内会・自治会連合会２０２４年度定期総会が、町田市民フォーラムで開催され、議長が出席。
	・町田市町内会・自治会連合会２０２４年度懇親会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
２０日～２２日	・建設常任委員会が行政視察を実施。（津市、明石市、三島市）
２１日	・令和６年度町田防火防災協会・町田危険物安全協会・町田防火管理者研究会合同懇親会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
２２日	・全国市議会議長会第１００回定期総会が、東京国際フォーラムで開催され、議長が出席。
	・令和６年第２回十一市競輪事業組合議会臨時会が、京王閣で開催され、組合議会議員が出席。
	・令和６年第２回六市競艇事業組合議会臨時会が、京王閣で開催され、組合議会議員が出席。
２３日	・第４２回町田市主催女子ゲートボール大会が、木曽山崎グラウンドで開催され、議長が出席。
２６日	・東村山市市制施行６０周年記念式典が、東村山市立中央公民館で開催され、議長が出席。
２８日	・議会運営委員会を開催。
	・三多摩上下水及び道路建設促進協議会理事会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。
	・第６２回三多摩上下水及び道路建設促進協議会総会が、東京自治会館で開催され、議長・委員が出席。
２９日	・２０２４年度第１回町田市防災会議が、町田市役所で開催され、議長・各常任委員長・災害対策委員長が出席。
	・東京都市議会議長会理事会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。
	・東京都市議会議長会定例総会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。
３１日	・東京都三多摩地区消防運営協議会通常総会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。

５月　３１日	・町田市緑化協会第１３回定時社員総会懇親会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。 ・令和６年度町田市消防団歓送迎会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。

諸　報　告

議　会　活　動　状　況

自　２０２４年　　６月　２９日
至　２０２４年　　８月　２６日

６月　２９日	・町田ダリア園開園式が、町田ダリア園で開催され、副議長が出席。
	・町田市文化協会令和６年度定時社員総会・懇親会が、町田市民ホールで開催され、議長が出席。
７月　　２日	・令和６年度（２０２４年度）南多摩ニュータウン協議会東京都への要望書提出が、新宿ＮＳビルで開催され、議長が出席。
３日	・町田市立鶴川第二小学校創立６０周年記念式典が、市立鶴川第二小学校で開催され、議長が出席。
５日	・町田市立町田第六小学校開校６０周年記念式典が、市立町田第六小学校で開催され、議長が出席。
	・第５６回東京都市町村総合スポーツ大会「出場選手結団式」・「選手激励会」が、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
６日～	・町田市消防団幹部視察研修が、静岡県焼津市で開催され、議長・災害対策委員長が出席。
７日	
８日～	・健康福祉常任委員会が行政視察を実施。（岡谷市、諏訪市、長野市）
１０日	
１４日	・第１８回ジュニア育成地域推進事業柔道競技会兼第３７回町田市小・中・高等学校柔道大会が、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
	・町田市消防団長を励ます会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
１７日～	・議会運営委員会が行政視察を実施。（加賀市、亀岡市、和泉市）
１９日	
２０日	・ＡＳＶペスカドーラ町田ホームゲームが、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
	・ＦＣ町田ゼルビアホームゲームが、国立競技場で開催され、副議長が出席。
２２日	・議会運営委員会を開催。
	・第１７期町田市議会改革調査特別委員会を開催。
	・町田市・相模原市議員交流事業が、宮ケ瀬ダム水とエネルギー館外で開催され、議長・副議長・議員が出席。

７月	２３日～２４日	・東京都六市競艇事業組合議会議員行政視察が、ボートレーサー養成所外で開催され、組合議会議員が出席。
	２３日	・三多摩上下水及び道路建設促進協議会第２委員会正副委員長会議が、東村山市議会で開催され、委員が出席。
		・第５６回三鷹・立川間立体化複々線促進協議会及び第４３回多摩地域都市モノレール等建設促進協議会合同総会が、ホテルエミシア東京立川で開催され、議長・建設常任委員長が出席。
	２５日	・南多摩市議会議長会第１回総会が、日野市役所で開催され、議長が出席。
	２６日	・「第７４回社会を明るくする運動」町田大会が、町田市民ホールで開催され、議長が出席。
		・三多摩上下水及び道路建設促進協議会第３委員会が、東京自治会館で開催され、委員が出席。
	２８日	・第４５回観蓮会が、薬師池公園で開催され、議長・副議長が出席。
	３０日	・議員研修会『町田市の財政全般について』を開催。
	３１日	・三多摩上下水及び道路建設促進協議会第２委員会が、東京自治会館で開催され、委員が出席。
		・ＭＡＣＨＩＤＡＣｉｔｙＣｕｐ２０２４国際親善試合が、町田ＧＩＯＮスタジアムで開催され、議長が出席。
８月	１日	・三多摩上下水及び道路建設促進協議会第１委員会が、東京自治会館で開催され、委員が出席。
	７日	・東京都市議会議長会理事会・定例総会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。
	８日	・第６２回東京河川改修促進連盟総会及び促進大会が、調布市グリーンホールで開催され、議長・議員が出席。
		・町田市都市農政推進協議会第５３回通常総会が、町田市農業協同組合ＪＡ町田ビルで開催され、副議長が出席。
	１２日	・昭島市市制施行７０周年記念式典が、ＦＯＳＴＥＲホール（昭島市民会館）で開催され、議長が出席。
	２０日	・議会運営委員会を開催。
		・第１７期町田市議会改革調査特別委員会を開催。
	２２日	・令和６年度三多摩上下水及び道路建設促進協議会陳情行動が、東京都庁外で開催され、委員が出席。
	２３日	・東京都建築士事務所協会町田支部令和６年度支部納涼会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
	２４日～２５日	・第６９回沖縄全島エイサーまつりが、沖縄市コザ総合運動公園で開催され、議長が出席。
	２５日	・第４８回全国町田ピアノコンクールが、町田市民ホールで開催され、副議長が出席。

諸　報　告

議　会　活　動　状　況

自　２０２４年　　１０月　　１日
至　２０２４年　　１１月　２７日

１０月	３日	・第２９回町田市主催シルバー親善ゲートボール大会が、木曽山崎グラウンドで開催され、議長が出席。
	４日	・町田市立小山田中学校創立４０周年記念式典が、市立小山田中学校で開催され、副議長が出席。
	９日～１０日	・第１９回全国市議会議長会研究フォーラムｉｎ盛岡が、トーサイクラシックホール岩手で開催され、議長が出席。
	１２日	・ＡＳＶペスカドーラ町田ホームゲームが、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
	１３日	・相原ふれあいフェスティバル２０２４が、相原中央公園で開催され、副議長が出席。
		・町田市柔道連盟創立６０周年記念・一般財団法人町田市スポーツ協会名称変更記念「第６７回町田市民スポーツ柔道大会」が、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
	１５日	・関東市議会議長会第１回理事会が、アピオ甲府で開催され、議長が出席。
	１７日～１８日	・第８６回全国都市問題会議が、アクリエひめじで開催され、議長・副議長が出席。
	１９日	・２０２４成瀬コミュニティセンターまつりが、成瀬コミュニティセンターで開催され、議長が出席。
		・「第６回鶴川市民センターまつり」開会式が、鶴川市民センターで開催され、議長が出席。
		・ＡＳＶペスカドーラ町田ホームゲームが、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
	２０日	・町田茶道会月例茶会が、町田市文化交流センターで開催され、議長が出席。
	２１日	・北京市区人民代表大会友好代表団歓迎夕食会が、ホテル椿山荘東京で開催され、議長が出席。
	２２日	・第３５回東京都道路整備事業推進大会が、砂防会館で開催され、議長・建設常任委員長・建設常任副委員長が出席。
	２３日	・令和６年度東京都赤十字大会が、明治神宮会館で開催され、議長が出席。
	２４日	・令和６年度町田市戦没者追悼式が、町田市民ホールで開催され、議長が出席。

１０月	２４日	・議会運営委員会を開催。
		・一般財団法人町田市スポーツ協会名称変更記念加盟団体代表者情報交換会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
	２６日	・「第６回なるせ駅前市民センターまつり」開会式が、なるせ駅前市民センターで開催され、議長が出席。
		・第２６回ゆうゆう版画美術館まつり開会式が、市立国際版画美術館で開催され、副議長が出席。
	２７日	・富士川町制施行１５周年記念山車巡行祭りが、県道４２号（富士橋西交差点～青柳五丁目交差点）で開催され、議長が出席。
	２９日	・令和６年第２回東京たま広域資源循環組合議会定例会が、東京自治会館で開催され、組合議会議員が出席。
	３０日	・第１８回地域医療政策セミナーが、都市センターホテルで開催され、副議長・議員が出席。
		・第３７回厚木基地騒音対策協議会が、ロイヤルホールヨコハマで開催され、議長が出席。
１１月	１日	・町田市立成瀬台小学校創立５０周年記念式典が、市立成瀬台小学校で開催され、副議長が出席。
		・沖縄市市制施行５０周年記念式典・祝賀会が、沖縄アリーナで開催され、議長が出席。
	２日	・第５１回町田市障がい者スポーツ大会が、市立総合体育館で開催され、副議長が出席。
		・２０２４年度町田市社会福祉協議会表彰式が、町田市文化交流センターで開催され、議長が出席。
	３日	・第４６回町田市民文化祭茶会が、町田市民ホールで開催され、議長が出席。
		・令和６年第４６回「町田市民文化祭」記念式典が、町田市民ホールで開催され、議長が出席。
		・国分寺市制施行６０周年記念式典が、国分寺市役所で開催され、議長が出席。
		・第７回高校生と町田市議会議員の意見交換会が、町田市議会で開催され、副議長・議員が出席。
	４日	・町田時代祭り２０２４が、芹ヶ谷公園で開催され、議長が出席。
		・ＡＳＶペスカドーラ町田ホームゲームが、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
	５日	・令和６年第２回南多摩斎場組合議会定例会が、南多摩斎場で開催され、組合議会議員が出席。
	６日	・全国市議会議長会第２３８回理事会・第１１８回評議員会合同会議が、都市センターホテルで開催され、議長が出席。
	８日	・町田市立南第一小学校創立１５０周年記念式典が、市立南第一小学校で開催され、議長が出席。
		・令和６年第２回多摩ニュータウン環境組合議会定例会が、多摩ニュータウン環境組合で開催され、組合議会議員が出席。
		・町田市老人クラブ連合会第４６回作品展表彰式が、市立国際版画美術館で開催され、副議長が出席。

１１月	８日	・令和６年第２回東京都十一市競輪事業組合議会定例会が、京王閣で開催され、組合議会議員が出席。
		・令和６年第２回東京都六市競艇事業組合議会定例会が、京王閣で開催され、組合議会議員が出席。
	９日	・町田市立相原小学校開校１５０周年記念式典が、市立相原小学校で開催され、議長が出席。
	１０日	・「一般財団法人名称変更記念すぽーつ祭まちだ２０２４」開会式が、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
		・町田市消防団第３分団第３部消防団器具置場竣工式・竣工祝賀会が、新消防団器具置場で開催され、副議長が出席。
		・「第１２回キラリ☆まちだ祭２０２４」開会式が、原町田大通りで開催され、議長が出席。
	１１日 ～	・多摩ニュータウン環境組合議会議員視察研修が、広島市環境局中工場外で開催され、組合議会議員が出席。
	１２日	
	１２日 ～	・令和６年度東京都十一市競輪事業組合議会行政視察が、前橋競輪場外で開催され、組合議会議員が出席。
	１３日	
	１６日	・町田市美術工芸館型入式が、町田市美術工芸館で開催され、副議長が出席。
		・ＡＳＶペスカドーラ町田ホームゲームが、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
	１８日	・南多摩市議会議長会視察研修が、日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設外で開催され、議長が出席。
	１９日	・町田市老人クラブ連合会第２３回グランドゴルフ大会が、木曽山崎グラウンドで開催され、健康福祉常任委員長が出席。
	２１日	・議会運営委員会を開催。
		・町田市市民栄誉彰贈呈式が、町田市役所で開催され、議長が出席。
	２３日	・第３２回高ヶ坂・成瀬地区ソフトバレーボール大会が、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
		・グローイングアップ映画祭鶴川ショートムービーコンテスト２０２４が、和光大学ポプリホール鶴川で開催され、議長が出席。
	２４日	・２０２４年度米作り農業体験「収穫祭」式典が、七国山ファーマーズセンターで開催され、議長が出席。
	２６日	・東京都市議会議長会理事会・定例総会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。

９.資　料

（１）歴代の正・副議長

代	議長	在職期間	代	副議長	在職期間
1	夏目　文吉	S33. 3.22 34. 3.10	1	渋谷　市十郎	33. 3.22 34. 3.10
2	夏目　文吉	34. 3.10 35. 3.11	2	菊谷　武平	34. 3.10 35. 3.11
3	熊澤　重治	35. 3.11 36. 3.14	3	内田　政光	35. 3.11 36. 3.14
4	笠原　道一	36. 3.14 37. 3. 8	4	小川　源之助	36. 3.14 37. 3. 8
5	夏目　文吉	37. 3.16 38.11.27	5	河合　暁	37. 3.16 39. 3.13
6	河合　暁	39. 3.13 41. 3. 8	6	平本　實	39. 3.13 41. 3. 8
7	熊澤　重治	41. 3.18 43. 3.11	7	青木　豊富	41. 3.18 43. 3.12
8	平本　實	43. 3.12 45. 3. 8	8	斉藤　照男	43. 3.13 45. 3. 8
9	森町　三之助	45. 3.17 47. 3.10	9	笠原　邦雄	45. 3.17 47. 3.12
10	加藤　二郎	47. 3.12 48. 3.13	10	加藤　忠男	47. 3.12 48. 3.16
11	森町　三之助	48. 3.16 49. 3. 8	11	細野　了	48. 3.16 49. 3. 8
12	木目田　良一	49. 3.13 51. 3. 1	12	細野　喜代松	49. 3.13 51. 3. 3
13	内田　博	51. 3. 3 53. 3. 8	13	笠原　邦雄	51. 3. 3 52. 3.18
14	吉岡　行雄	53. 3. 9 55. 3. 6	14	長沼　房雄	52. 3.22 53. 3. 8
15	小山　貴光	55. 3. 7 57. 3. 8	15	小山　七平	53. 3.10 55. 3. 7
16	押田　正	57. 3. 9 59. 3. 7	16	花形　英一	55. 3. 8 57. 3. 8
17	中里　誠作	59. 3. 8 61. 3. 8	17	木美　貢	57. 3.10 59. 3. 8
18	渋谷　軍治	61. 3.11 63. 3. 3	18	小竹　金次	59. 3. 9 61. 3. 8
19	佐藤　光平	63. 3. 3 H元. 9.21	19	小川　忠男	61. 3.11 63. 3. 3
20	小山　貴光	元. 9.21 2. 3. 8	20	小林　章	63. 3. 4 2. 3. 8
21	八木　邦治	2. 3.12 4. 3. 3	21	茂木　朱実	2. 3.12 4. 3. 5
22	金森　貢	4. 3. 5 6. 3. 8	22	岩下　正充	4. 3. 5 6. 3. 8
23	熊沢　洋	6. 3. 9 8. 3. 1	23	和田　国吉	6. 3. 9 8. 3. 1

代	議長	在職期間	代	副議長	在職期間
24	渋谷　佳久	8. 3. 1 10. 3. 8	24	志村　賢藏	8. 3. 1 10. 3. 8
25	渋谷　敏顕	10. 3. 9 12. 3. 1	25	谷沢　和夫	10. 3. 9 12. 3. 2
26	中里　猪一	12. 3. 2 14. 3. 8	26	伊藤　泰人	12. 3. 2 14. 3. 8
27	長村　敏明	14. 3.11 16. 3. 1	27	佐藤　常雄	14. 3.11 16. 3. 1
28	大塚　信彰	16. 3. 1 18. 3. 8	28	中山　勝子	16. 3. 2 18. 3. 8
29	黒木　一文	18. 3. 9 20. 2.27	29	田中　修一	18. 3. 9 20. 2.28
30	井上　正行	20. 2.28 22. 3. 8	30	友井　和彦	20. 2.28 22. 3. 8
31	川畑　一隆	22. 3. 9 24. 2.27	31	吉田　つとむ	22. 3. 9 24. 2.27
32	田中　修一	24. 2.27 26. 3. 8	32	藤田　学	24. 2.27 26. 3. 8
33	上野　孝典	26. 3.10 28. 2.25	33	大西　宣也	26. 3.10 28. 2.25
34	佐藤　伸一郎	28. 2.25 28.10. 4	34	殿村　健一	28. 2.26 30. 3. 8
35	吉田　つとむ	28.10. 4 30. 3. 8			
36	若林　章喜	30. 3. 9 R2. 2.21	35	佐藤　和彦	30. 3. 9 2. 2.21
37	熊沢　あやり	2. 2.21 3.12.22	36	おく　栄一	2. 2.25 4. 3. 8
38	佐藤　伸一郎	3.12.22 4. 3. 8			
39	戸塚　正人	4. 3. 9 6. 2. 22	37	いわせ　和子	4. 3. 9 6. 2. 22
40	木目田　英男	6. 2. 22	38	山下　てつや	6. 2. 22

（２）歴代の正・副常任委員長

期別	名称 / 任期	総務		厚生		産業経済		建設	
		委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長
第1期	33. 3.24～34. 3.11	小島 海三	笠原 道一	小山 省治	鬼頭 玄定	内田 政光	高尾 英輔	熊澤 重治	菊谷 武平
	34. 3.11～35. 3.11	井上 茂留	内田 博	高尾 英輔	鈴木 喜市	小川源之助	斎藤 照男	河合 暁	笠原 道一
	35. 3.11～36. 3.14	前田 忠三	加藤 二郎	青木 豊富	平本 實	笠原 道一	臼井 嘉市	合志 数馬	佐藤 長一
	36. 3.14～37. 3. 8	平本 實	三沢 四郎	名越覚十郎	臼井 嘉市	堤 嘉明	中金 義男	佐藤善治郎	加藤 二郎
第2期	37. 3.17～39. 3.13	久保田政雄	中村 義高	井上 茂留	堤 時彦	熊澤 重治	佐藤 長一	青木 豊富	城田 賢蔵
	39. 3.13～41. 3. 8	加藤 二郎	池田 正盛	堤 時彦	加藤 忠男	高尾 英輔	宇田川 孝	森町三之助	渋谷 守生
	39.12.19～41. 3. 8					宇田川 孝	市川 四郎		
第3期	41. 3. 9～43. 3.13	渋谷 守生	森町三之助	加藤 忠男	堤 時彦	平本 實	長沼 房雄	加藤 二郎	城田 賢蔵
	43. 3.13～45. 3. 8	吉岡 行雄	諸澄 福治	名越覚十郎	守屋 三郎	堤 時彦	堀山 武一	渋谷 守生	井上 昇
	44. 3.14～45. 3. 8							井上 昇	森町三之助

期別	名称 / 任期	総務		文教社会		衛生産業（50. 6.10まで） 環境企業（50. 6.11から）		建設	
		委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長
第4期	45. 3.18～47. 3.17	諸澄 福治	福本 爽	守屋 三郎	光安百太郎	長沼 房雄	細野 総一	堀山 武一	仲沢 逸雄
	47. 3.18～49. 3. 8	大沢 伊助	小竹 金次	宇田川 孝	押田 正	小林 章	小山 貴光	内田 博	渡辺 勝広
第5期	49. 3.14～51. 3.13	小山 貴光	長沼 房雄	押田 正	小林 章	市田 康	田中 年男	渡辺 勝広	細野 英雄
	51. 3.15～53. 3. 8	小山 七平	中里 誠作	光安百太郎	小原 祥夫	三沢 義雄	佐藤 松子	大沢 伊助	高野 和洋
第6期	53. 3. 9～57. 3.11	中里 誠作	長沼 房雄	広田 幾造	渡辺 勝広	茂木 朱実	渋谷 軍治	中金 義男	仲沢 逸雄
	55. 3.13～57. 3. 8	小竹 金次	小川 忠男 (55.3.13のみ)	小林 章	萩原 康好	佐藤 光平	倉成 美敏	小原 祥夫	今村 直
	55. 3.14～57. 3. 8		小山 七平						
第7期	57. 3.10～59. 3.10	渋谷 軍治	小川 忠男	今村 直	井上 博行	倉成 美敏	谷沢 和夫	仲沢 逸雄	林 郁男
	59. 3.10～61. 3. 8	林 郁男	山下 七郎	須崎 卓司	茂木 朱美	萩原 康好	稲葉 孝紀	小川 忠男	井上 正行

期別	名称 / 任期	総務		文教社会		環境企業		建設	
		委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長
第8期	61. 3.12～63. 3.11	八木 邦治	倉成 美敏	和田 国吉	金森 貢	佐藤 松子	岩下 正充	須崎 卓司	盛永 勝也
	63. 3.14～ 2. 3. 8	盛永 勝也	渋谷 敏顕	岩瀬 雄二	倉成 美敏	山下 七郎	井上 正行	志村 賢蔵	熊沢 洋
第9期	2. 3.13～ 4. 3.12	熊沢 洋	佐藤 常雄	稲葉 孝紀	中里 猪一	古宮杜司男	鱒沢 サト	斎藤 勇	谷沢 和夫
	4. 3.13～ 6. 3. 9	谷沢 和夫	中里 猪一	佐藤 松子	伊藤 泰人	中山 勝子	彦坂 恵子	井上 正行	渋谷 佳久
	5. 6. 7～ 6. 3. 9					佐藤 常雄			
第10期	6. 3. 9～ 8. 3. 8	渋谷 佳久	伊藤 泰人	中山 勝子	黒木 一文	進木 忠	殿村 健一	齋藤 稔	戸塚 雅夫
	8. 3.11～10. 3. 8	黒木 一文	友井 和彦	戸塚 雅夫	井上 勉	小宮晟太郎	吉田 勉	岩下 正充	片山 光代
第11期	10. 3.10～12. 3. 5	吉田 勉	今村 路加	伊藤 泰人	大塚 信彰	長村 敏明	中西佳代子	佐藤 常雄	井上 勉
	名称 / 任期	企画	総務	保健	福祉	文教	生活	都市	環境
		委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長
	12. 3. 6～14. 3. 8	井上 勉	中西佳代子	彦坂 恵子	藤田 学	大塚 信彰	川畑 一隆	友井 和彦	田中 修一
	13. 6. 1～14. 3. 8			谷沢 和夫					
	13.12. 3～14. 3. 8	岩瀬 雄二							
第12期	14. 3.12～16. 3.11	藤田 学	友井 和彦	川畑 一隆	田中 修一	今村 路加	細野 龍子	大西 宣也	高嶋 均
	15. 1.29～15.12. 3	渋谷 敏顕							
	15.12. 4～16. 3.11	大塚 信彰							
	16. 3.12～18. 3. 8	大西 宣也	高嶋 均	殿村 健一	石井 恵子	川島 龍子	佐藤 洋子	田中 修一	若林 章喜
	17. 2.28～18. 3. 8				佐藤伸一郎				

期別	名称 / 任期	企画総務		保健福祉		文教生活		都市環境	
		委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長
第13期	18. 3.10～20. 3. 9	新井　克尚	佐藤伸一郎	渋谷　武己	あさみ美子	上野　孝典	佐々木智子	熊沢あやり	宮坂けい子
	20. 3.10～20. 3.31	あさみ美子	金子ひろのり	若林　章喜	吉村こずえ	宮坂けい子	河辺康太郎	細野　龍子	いわせ和子
	名称 / 任期	総務		健康福祉		文教社会		建設	
		委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長
	20. 4. 1～22. 3. 8	あさみ美子	金子ひろのり	若林　章喜	吉村こずえ	宮坂けい子	河辺康太郎	細野龍子	いわせ和子
	21. 4. 8～22. 3. 8							高嶋　均	
第14期	22. 3.10～24. 3.11	河辺康太郎	佐藤　洋子	おく　栄一	齋藤　祐善	佐々木智子	いわせ和子	三遊亭らん丈	戸塚　正人
	24. 3.12～	戸塚　正人	渋谷　武己	佐藤　洋子	わたべ真実	齋藤　祐善	三遊亭らん丈	山下てつや	佐藤　和彦
	24. 6.19～			上野　孝典					
	25. 4.12～		宮坂けい子						
	25.11.28～26. 3. 8					三遊亭らん丈	森本せいや		
第15期	26. 3.11～28. 3.10	森本せいや	渡辺厳太郎	佐藤　和彦	松岡みゆき	いわせ和子	白川　哲也	わたべ真実	池川　友一
	28. 3.11～	松岡みゆき	石井くにのり	池川　友一	木目田英男	市川　勝斗	おぜき重太郎	白川　哲也	石川　好忠
	29. 3.28～30. 3. 8			森本せいや		三遊亭らん丈			
第16期	30. 3.12～	渡辺厳太郎	吉田つとむ	石川　好忠	ちだ　伸也	木目田英男	松葉ひろみ	おぜき重太郎	森本せいや
	30. 3.20～ R2. 3.17	いわせ和子							
	R2. 3.18～	ちだ　伸也	星だいすけ	松葉ひろみ	東　友美	おぜき重太郎	おんじょう由久	渡辺厳太郎	深沢ひろふみ
	R3. 6. 7～R4. 3. 8		若林　章喜						
第17期	R4. 3.10～ R6. 3.10	おんじょう由久	白川　哲也	石川　好忠	森本せいや	東　友美	新井よしなお	渡辺厳太郎	村まつ　俊孝
	R6. 3.11～	村松としたか	中川幸太郎	松岡みゆき	笹倉みどり	佐々木智子	渡辺さとし	森本せいや	新井よしなお

（３）歴代の正・副議会運営委員長

期　別	任　　期	委　員　長	副 委 員 長
第 9 期	H 3.12.20～ 4. 3.12	和田　国吉	大西　宣也
	4. 3.13～ 6. 3. 8	渋谷　敏顕	
	4. 3.13～ 5. 5.25		佐藤　常雄
	5. 5.25～ 6. 3. 8		稲葉　孝紀
第 10 期	H 6. 3.10～ 8. 3. 4	中里　猪一	佐藤　常雄
	8. 3. 4～10. 3. 8	茂木　朱実	長村　敏明
第 11 期	H10. 3.10～12. 3. 6	黒木　一文	小宮晟太郎
	12. 3. 6～14. 3. 8	岩瀬　雄二	田中　修一
第 12 期	H14. 3.12～16. 3. 1	吉田つとむ	中山　勝子
	16. 3. 2～17.12.22	藤田　　学	
	16. 3. 2～18. 3. 8		熊沢あやり
	17.12.22～18. 3. 8	黒木　一文	
第 13 期	H18. 3.10～20. 2.27	友井　和彦	高嶋　　均
	20. 2.28～22. 3. 8	渋谷　武己	
	20. 2.28～21. 4.28		新井　克尚
	21. 5.26～22. 3. 8		伊藤　泰人
第 14 期	H22. 3.10～24. 2.27	田中　修一	細野　龍子
	24. 2.28～26. 3. 8	おく　栄一	森本せいや
第 15 期	H26. 3.11～28. 2.28	市川　勝斗	戸塚　正人
	28. 2.29～28. 3.10	若林　章喜	山下てつや
	28. 3.11～30. 3. 8	若林　章喜	山下てつや
第 16 期	H30. 3.12～R2. 2.24	三遊亭らん丈	戸塚　正人
	2. 2.25～ 2. 3.17	森本せいや	松岡みゆき
	2. 3.18～	森本せいや	松岡みゆき
	3. 6. 7～ 4. 3. 8		木目田英男
第 17 期	R 4. 3.10～R 6. 2.25	山下てつや	佐藤　和彦
	R 6. 2.26～R 6. 3.10	東　　友美	加藤　真彦
	R 6. 3.11～	東　　友美	加藤　真彦

（4）歴代の正・副特別委員長

	名　　称	設　置　期　間	定数	任　　期	委員長	副委員長
第1期	ガ　ス　誘　致 (36.3「ガス」と改称)	33. 3.24～37. 3. 8	15	33. 3.24～34. 3.11 34. 3.11～35. 3.11 35. 3.11～36. 3.20 36. 3.20～37. 3. 8	細野　信正 久保田政雄 鬼頭　玄定 加藤　二郎	久保田政雄 臼井　嘉市 名越覚十郎 臼井　嘉市
	首都圏整備対策	33. 3.24～37. 3. 8	15	33. 3.24～34. 3.11 34. 3.11～35. 3.11 35. 3.11～36. 3.21 36. 3.21～37. 3. 8	堀江　　卓 大谷喜代志 今岡七五郎 竹内　武雄	竹内　武雄 佐藤　長一 榎本　　熙 鈴木　喜市
	アジビラ調査	36. 4.20～36. 9.21	11	36. 5.13～36. 7. 8 36. 7. 8～36. 9.21	熊澤　重治 河合　　暁	内田　政光 内田　政光
	オリンピック馬術競技場誘致	36. 8. 1～36. 9.21	10	36. 8. 4～36. 9.21	夏目　文吉	三沢　四郎
第2期	ガ　　ス	37. 3.17～37. 9.20	12	37. 3.17～37. 9.20	高尾　英輔	佐藤　長治
	首都圏整備対策	37. 3.17～37. 9.20	13	37. 3.17～37. 9.20	三沢　四郎	加藤　二郎
	鶴川地区飼牛環境整備対策	37. 6. 1～37. 9.20	7	37. 6. 1～37. 9.20	三沢　四郎	中村　義高
	消防署建設促進	37.10. 6～38. 6.15	10	37.10. 6～38. 6.15	河合　　暁	青木　豊富
	非行少年問題対策	38. 6.28～38.11. 8	14	38. 7.22～38.11. 8	堤　　時彦	森町三之助
	都市整備対策	38. 6.28～38. 9.12	16	38. 7.10～38. 9.12	三沢　四郎	佐藤　長治
	市街地改造 38. 9.21 ～ 40.12.21 （40.6　2・2・1　路線対策と改称）		10	38. 9.21～40.12.21	久保田政雄	加藤　二郎
	忠生区画整理対策	38. 9.21～40.12.21	10	38. 9.21～40.12.21	鈴木　喜市	守屋喜代次
	東名高速道路対策	38. 9.21～40. 6.24	10	38. 9.21～40. 6.24	井上　茂留	宇田川　孝
	市立体育館建設	39. 3.25～40. 1.15	10	39. 3.25～40. 1.15	渋谷市十郎	斉藤　照男
	横浜線複線促進	40. 3.29～41. 3. 8	10	40. 3.29～41. 3. 8	青木　豊富	斉藤　照男
	市職員の服務規律調査	40. 9.30～40.12.20	8	40.10. 5～40.12.20	斉藤　照男	細野　　了

	名　　称	設　置　期　間	定数	任　　期	委　員　長	副委員長
第3期	横浜線複線促進	41. 3.19～45. 3. 8	10	41. 3.19～43. 3.23 43. 3.23～45. 3. 8	笠原　邦雄 城田　賢蔵	諸澄　福治 河合秀二郎
	山崎市有地調査	41. 9.30～42. 3.10	7	41.10.11～42. 3.10	吉岡　行雄	名越覚十郎
	境川改修対策	41. 9.30～45. 3. 8	7	41.10.12～43. 3.16 43. 3.16～45. 3. 8	斉藤　照男 福本　　爽	福本　　爽 細野　　了
	団　地　対　策	41.12.20～45. 3. 8	8	42. 1.11～45. 3. 8	細野　総一	小山　七平
	庁　舎　建　設	42.12.16～44.12.17	13	42.12.22～44.12.17	青木　豊富	名越覚十郎
	決算（42年度）	43.12.10～43.12.18	29	43.12.10～43.12.18	加藤　二郎	井上　　昇
第4期	横浜線対策	45. 3.31～49. 3. 8	9	45. 4. 1～47. 3.18 47. 3.18～49. 3. 8	細野喜代松 吉岡　行雄	木目田良一 長沼　房雄
	境川改修対策	45. 3.31～49. 3. 8	10	45. 4.12～47. 3.18 47. 3.18～49. 3. 8	鈴木　喜市 細野喜代松	細野　　了 池田　正盛
	団地造成対策	45. 4. 2～49. 3. 8	10	45. 4. 2～47. 3.18 47. 3.18～49. 3. 8	小山　七平 仲沢　逸雄	大沢　伊助 市田　　康
	市街地再開発	46. 6.21～49. 3. 8	9	46. 6.21～47. 3.18 47. 3.18～49. 3. 8	宇田川　孝 河合秀二郎	加藤　忠男 守屋　三郎
	公有財産使用許可取り消し処分に関する審査	46. 5.14～46. 5.22	9	46. 5.14～46. 5.22	加藤　忠男	名越覚十郎
	決算（45年度）	46.12.18～47. 6.12	12	46.12.18～47. 6.12	福本　　爽	小竹　金次
	決算（46年度）	47.12.18～48. 9.12	12	47.12.18～48. 9.12	木目田良一	渡辺　勝広
第5期	土地利用対策	49. 3.25～53. 3. 8	10	49. 3.25～51. 3.15 51. 3.15～53. 3. 8	守屋　三郎 渡辺　勝広	(～51.3.4) 小林　　章 井上　博行
	交　通　対　策	49. 3.25～53. 3. 8	10	49. 3.25～51. 3.15 51. 3.15～53. 3. 8 51. 3.15～52. 3.23 52. 3.31～53. 3. 8	吉岡　行雄 花形　英一	(～51.3.4) 木美　　貢 長沼　房雄 茂木　朱実

	名　　称	設　置　期　間	定数	任　　期	委　員　長	副委員長
第5期	市街地再開発	49. 3.25～53. 3. 8	10	49. 3.25～51. 3.15 49. 3.25～51. 3. 4 51. 3.15～52. 6.17 52. 7.14～53. 3. 8 51. 3.15～51.12.14 51.12.14～53. 3. 8	河合秀二郎 河合秀二郎 細野喜代松 	 中里　誠作 大西　一也 広田　幾造
	河川改修対策	49. 3.25～53. 3. 8	10	49. 3.25～51. 3.15 51. 3.15～53. 3. 8	(～51.3.4) 高野　和洋 木美　　貢	 浅沼　武男 小峯　　璋
	決算（48年度）	49.12.14～50. 3.11	13	49.12.14～50. 3.11	吉岡　行雄	金子　喜市
	決算（49年度）	50.12.10～51. 3. 1	13	50.12.10～51. 3. 1	内田　　博	倉成　美敏
	予　　算	51. 3.16～51. 3.31	39	51. 3.16～51. 3.31	吉岡　行雄	茂木　朱実
	決算（50年度）	51.12.14～52. 3. 8	13	51.12.16～52. 3. 8	小山　貴光	小竹　金次
	委員会審査条例	52.12.22～53. 3. 8	11	52.12.22～53. 3. 8	押田　　正	金子　喜市
第6期	土地利用対策	53. 3.11～57. 3. 8	10	53. 3.11～55. 3.11 55. 3.11～57. 3. 8	小原　祥夫 仲沢　逸雄	倉成　美敏 菊地　信夫
	交通対策	53. 3.11～57. 3. 8	10	53. 3.11～55. 3.11 55. 3.11～57. 3. 8	小山　貴光 須崎　卓司	林　　郁男 渡辺　勝広
	市街地再開発	53. 3.11～56. 3. 5	10	53. 3.11～55. 3.11 55. 3.11～56. 3. 5	小竹　金次 古宮杜司男	井上　博行 小川　忠男
	河川改修対策	53. 3.11～57. 3. 8	10	53. 3.11～55. 3.11 55. 3.11～57. 3. 8	岩下　正充 林　　郁男	井上　直之 岩下　正充
	市職員の勤務に関する調査	53. 4. 1～54. 3.28	13	53. 4. 1～54. 3.28	花形　英一	小竹　金次
	決算（52年度）	53.12.13～54. 3. 6	13	53.12.13～54. 3. 6	押田　　正	菊地　信夫
	土地利用規制に関する調査	54. 9.20～56. 3.26	14	54. 9.20～56. 3.26	井上　博行	倉成　美敏
	決算（53年度）	54.12.11～55. 3.27	14	54.12.11～55. 3.27	佐藤　松子	萩原　康好

	名　　称	設　置　期　間	定 数	任　　期	委 員 長	副 委 員 長
第6期	決算（54年度）	55.12.11～56. 3. 5	14	55.12.11～56. 3. 5	小峯　璋	井上　直之
	市 街 地 対 策	56. 3.30～57. 3. 8	10	56. 4. 7～57. 3. 8	古宮杜司男	小川　忠男
	学校給食条例審査	57.12.14～57. 3. 8	15	56.12.14～57. 3. 8	大西　一也	茂木　朱実
第7期	市街地整備対策	57. 3.30～61. 3. 8	10	57. 3.30～59. 3.10 59. 3.10～61. 3. 8	吉岡　行雄 金森　貴	盛永　勝也 佐藤　松子
	交 通 輸 送 対 策	57. 3.30～61. 3. 8	10	57. 3.30～59. 3.10 59. 3.10～61. 3. 8	茂木　朱実 広田　幾造	佐藤　松子 和田　国吉
	土 地 利 用 対 策	57. 3.30～61. 3. 8	10	57. 3.10～59. 3.10 59. 3.10～61. 3. 8	志村　賢藏 岩瀬　雄二	須崎　卓司 仲沢　逸雄
	行政改革に関する	57. 3.30～59. 3. 6	10	57. 3.30～59. 3. 6	大沢　伊助	井上　正行
	決算（56年度）	57.12.15～58. 3. 8	16	57.12.15～58. 3. 8	萩原　康好	岩下　正充
	校 内 暴 力 に 関 す る 調 査	58. 3.31～59. 3. 6	16	58. 3.31～59. 3. 6	小山　貴光	稲葉　孝紀
	町田市議会議員定数に関する	58. 9.29～60. 9. 4	16	58. 9.29～59. 3.10 59. 3.10～60. 9. 4	萩原　康好 谷沢　和夫	小竹　金次 古宮杜司男
	決算（57年度）	58.12.12～59. 3. 6	16	58.12.12～59. 3. 6	広田　幾造	渡辺　勝広
	決算（58年度）	59.12. 3～59.12.25	16	59.12. 3～59.12.25	熊沢　洋	和田　国吉
	決算（59年度）	60.12. 3～60.12.24	15	60.12. 3～60.12.24	大沢　伊助	志村　賢藏
第8期	土 地 利 用 対 策	61. 3.31～ 2. 3. 8	13 63.9.12 から10	61. 3.31～63. 3. 4 63. 3. 4～ 2. 3. 8	小林　章 岩下　正充	進木　忠 斎藤　勇
	交 通 輸 送 対 策	61. 3.31～ 2. 3. 8	13 63.9.12 から10	61. 3.31～63. 3. 4 63. 3. 4～ 2. 3. 8	稲葉　孝紀 佐藤　松子	小原　祥夫 渋谷　佳久
	市街地整備対策	61. 3.31～ 2. 3. 8	13 63.9.12 から10	61. 3.31～63. 3. 4 63. 3. 4～ 2. 3. 8	広田　幾造 大西　宣也	井上　正行 進木　忠
	決算（60年度）	61.12. 2～61.12.23	15	61.12. 2～61.12.23	山下　七郎	岩下　正充
	古宮議員の言動究明に関する調査	62. 9.29～63.12.16	13	62. 9.29～63. 3.16	小竹　金次	広田　幾造
	決算（61年度）	62.12. 2～62.12.25	15	62.12. 2～62.12.25	岩瀬　雄二	斎藤　勇
	電算機導入対策	63. 3.29～元. 9. 4	10	63. 3.29～元. 9. 4	長尾　彰久	八木　邦治
	決算（62年度）	63.12. 1～63.12.23	15	63.12. 1～63.12.23	金森　貢	中山　勝子
	決算（63年度）	元.12. 1～元.12.22	15	元.12. 1～元.12.22	須崎　卓司	稲葉　孝紀

	名　　称	設　置　期　間	定数	任　　期	委　員　長	副委員長
第9期	決算（元年度）	2.12. 3～ 2.12.21	15	2.12. 3～ 2.12.21	渋谷　敏顕	長尾　彰久
	レストラン四季補助金使途調査	3. 2. 5～ 3.12.20	15	3. 2. 5～ 3.12.20	金森　　貢	進木　　忠
	庁　舎　建　設	2. 9. 2～ 5.11.26	14	2. 9. 2～ 4. 3.13 4. 3.13～ 5. 1. 4 5. 3. 2～ 5.11.26	渋谷　佳久 志村　賢藏 進木　　忠	林　　郁男 戸塚　雅夫 中里　猪一
	決算（2年度）	3.11.25～ 3.12.20	14	3.11.25～ 3.12.20	中里　猪一	佐藤　常堆
第10期	決算（5年度）	6.11.25～ 6.12.20	12	6.11.25～ 6.12.20	黒木　一文	伊藤　泰人
	決算（6年度）	7.11.27～ 7.12.21	12	7.11.27～ 7.12.21	戸塚　雅夫	岩下　正充
	決算（7年度）	8.11.25～ 8.12.19	12	8.11.25～ 8.12.19	大塚　信彰	今村　路加
	決算（8年度）	9.11.26～ 9.12.19	11	9.11.26～ 9.12.19	井上　　勉	井上　正行
第11期	決算（9年度）	10.11.25～10.12.22	12	10.11.25～10.12.22	小宮晟太郎	友井　和彦
	町田市議会の改革に関する調査	11. 3. 3～13. 9. 3	14	11. 3.12～13. 9. 3	大塚　信彰	川島　龍子
	行財政改革	11. 3.12～13.11.16	14	11. 3.29～13.11.16	井上　正行	長村　敏明
	決算（10年度）	11.11. 8～11.11.29	10	11.11. 8～11.11.29	大塚　信彰	川島　龍子
	町田市庁舎等に関する	12. 6.23～13. 9.26	12	12. 6.23～13. 12. 3	渋谷　軍治	大西　宣也
	決算（11年度）	12.11. 7～12.12. 1	11	12.11. 7～12.12. 1	中山　勝子	中西佳代子
	決算（12年度）	13.11. 6～13.12. 3	11	13.11. 6～13.12. 3	藤田　　学	進木　　忠
第12期	決算（13年度）	14. 9.27～14.10.28	10	14. 9.27～14.10.28	友井　和彦	上野　孝典
	決算（14年度）	15. 9.29～15.10.22	10	15. 9.29～15.10.22	川畑　一隆	新井　克尚
	庁舎等検討	15.12.15～16. 3.26	11	15.12.15～16. 3.26	藤田　　学	岩下　正充
	新庁舎建設等に関する調査	16. 9.13～17.12.22	10	16. 9.13～17.12.22	伊藤　泰人	佐藤伸一郎
	決算（15年度）	16. 9.14～16.10. 7	10	16. 9.14～16.10. 7	渋谷　武己	宮坂けい子
	決算（16年度）	17. 9.16～17.10.12	10	17. 9.16～17.10.12	新井　克尚	佐藤伸一郎

	名　　称	設　置　期　間	定数	任　　期	委　員　長	副委員長
第13期	決　算　（17年度）	18. 9.12～18.10. 5	10	18. 9.12～18.10. 5	若林　章喜	戸塚　正人
	議会改革調査	18. 9.12～21. 6.23	11	18. 9.12～20. 2.27	井上　正行	
				18. 9.12～20. 3. 3		若林　章喜
				20. 3.10～21. 6.23	伊藤　泰人	三遊亭らん丈
	町田市庁舎建設等に関する調査	18.10. 5～21. 3.30	10	18.10. 5～21. 3.30	佐藤伸一郎	あさみ美子
	決　算　（18年度）	19. 9.13～19.10.10	10	19. 9.13～19.10.10	佐藤伸一郎	吉村こずえ
	決　算　（19年度）	20. 9.16～20.10. 9	10	20. 9.16～20.10. 9	三遊亭らん丈	おく　栄一
	決　算　（20年度）	21. 9. 9～21.10. 6	10	21. 9. 9～21.10. 6	齋藤　祐善	市川　勝斗
第14期	決　算　（21年度）	22. 9.10～22.10. 6	10	22. 9.10～22.10. 6	山下てつや	白川　哲也
	町田市庁舎及び庁舎移転に関する調査	22. 3.30～24. 3.28	10	22. 3.30～24. 3.28	新井　克尚	戸塚　正人
	野津田公園基本計画に関する調査	23. 3.29～23. 8.30	8	23. 3.29～23. 8.30	上野　孝典	齋藤　祐善
	決　算　（22年度）	23. 9. 8～23.10. 4	10	23. 9. 8～23.10. 4	市川　勝斗	戸塚　正人
	町田市議会改革調査	23. 9. 8～25. 6. 6	8	23. 9 .8～25. 6. 6	齋藤　祐善	山下てつや
	決　算　（23年度）	24. 9.12～24.10. 5	10	24. 9.12～24.10. 5	河辺康太郎	細野　龍子
	決　算　（24年度）	25. 9.11～25.10. 8	10	25. 9.11～25.10. 8	渡辺厳太郎	いわせ和子
第15期	町田市交通政策	26. 6. 3～28. 6.24	10	26. 6. 3～28. 2.24	佐藤伸一郎	
				26. 6. 3～28. 6.24		おぜき重太郎
				28. 2.25～28. 6.24	藤田　　学	
	決　算　（25年度）	26. 9.10～26.10. 6	10	26. 9.10～26.10. 6	白川　哲也	石川　好忠
	第15期町田市議会改革調査	27. 3.27～27.12.22	9	27. 3.27～27.12.22	熊沢あやり	戸塚　正人
	決　算　（26年度）	27. 9. 8～27.10. 5	10	27. 9. 8～27.10. 5	松岡みゆき	石井くにのり
第16期	第16期町田市議会改革調査	30.12.11～R3. 3.29	10	30.12.11～R2. 3.17	藤田　　学	松葉ひろみ
				R2. 3.18～R3. 3.29	三遊亭らん丈	斉藤かつひろ
	町田市基本構想・基本計画調査	R元. 8.28～R3. 6.30	36 R2.3.18 から 10	R元. 8.28～R3. 6.30	若林　章喜	佐藤　和彦
第17期	第17期町田市議会改革調査	R4. 6.30～	10	R4. 6.30～R6. 3.10	今村　るか	村まつ俊孝
				R6. 3.11～	佐藤　和彦	小野寺まなぶ

（５）歴代の正・副法外委員長

	名　称	設　置　期　間	定数	任　　期	委　員　長	副委員長
第1期	議会運営	33. 3.24～37. 3. 8	8	33. 3.24～34. 3.11	渋谷　一郎	三沢　四郎
				34. 3.11～35. 3.11	三沢　四郎	青木　豊富
				35. 3.11～36. 3.14	三沢　四郎	渋谷　一郎
				36. 3.14～37. 3. 8	斎藤　照男	渋谷　一郎
第2期	議会運営	37. 3.17～41. 3. 8	5	37. 3.17～39. 3.13	斎藤　照男	城田　賢蔵
				39. 3.13～41. 3. 8	斎藤　照男	城田　賢蔵
第3期	議会運営	41. 3.19～45. 3. 8	7	41. 3.19～43. 3.13	斎藤　照男	城山　武一
				43. 3.13～45. 3. 8	前田　敏一	宇田川　孝
第4期	議会運営	45. 3.18～49. 3. 8	8	45. 3.18～47. 3.21	吉岡　行雄	河合秀二郎
				47. 3.27～49. 3. 8	笠原　邦堆	小山　七平
	災害対策	46. 9.25～49. 3. 8	10	46.11.22～47. 3.18	内田　博	河合秀二郎
				47. 3.28～49. 3. 8	堤　時彦	細野　了
第5期	議会運営	49. 3.14～53. 3. 8	10	49. 3.14～51. 3. 4	笠原　邦雄	内田　博
				51. 3. 5～53. 3. 8	押田　正	金子　喜市
	災害対策	49. 3.14～53. 3. 8	10	49. 5. 7～51. 3.14	小川　忠男	花形　英一
				51. 3.15～53. 3. 8	斎藤　謹也	林　郁男
第6期	議会運営	53. 3.11～57. 3. 8	8	53. 3.11～55. 3.10	大沢　伊助	金子　喜市
				55. 3.11～57. 3. 8	金子　喜市	
				55. 3.11～55. 9.17		中金　義男
				55. 9.26～57. 3. 8		井上　博行
	災害対策	53. 3.11～57. 3. 8	13	53. 3.11～55. 3.10	今村　直	
				53. 3.11～54. 2.18		田中　年男
				54. 3. 6～55. 3.10		小峯　璋
				55. 3.11～57. 3. 8	陶山　金造	谷沢　和夫
第7期	議会運営	57. 3.10～61. 3. 8	10	57. 3.10～59. 3. 9	中里　誠作	小竹　金次
				59. 3.10～61. 3. 8	今村　直	八木　邦治
	災害対策	57. 3.10～61. 3. 8	12	57. 3.10～59. 3. 9	広田　幾造	進木　忠
				59. 3.10～61. 3. 8	進木　忠	熊沢　洋
第8期	議会運営	61. 3.12～ 2. 3. 8	10	61. 3.12～63. 3.11	小竹　金次	熊沢　洋
				63. 3.14～ 2. 3. 8	茂木　朱実	金森　貢
	災害対策	61. 3.12～ 2. 3. 8	12	61. 3.12～63. 3.11	古宮杜司男	山下　七郎
				63. 3.14～ 2. 3. 8	中里　猪一	佐藤　常雄
第9期	議会運営	2. 3.13～ 3.12.18	10	2. 3.13～ 3.12.18	和田　国吉	大西　宣也
	災害対策	2. 3.13～ 6. 3. 8	11	2. 3.13～ 4. 3.12	渋谷　佳久	盛永　勝也
				4. 3.13～ 6. 3. 8	小宮晟太郎	黒木　一文
第10期	災害対策	6. 3.10～10. 3. 8	11	6. 3.10～ 8. 3. 8	小宮晟太郎	渋谷　敏頴
				8. 3.11～10. 3. 8	斎藤　勇	岩瀬　雄二

	名　称	設　置　期　間	定数	任　　期	委員長	副委員長
第11期	災害対策	10. 3.10～14. 3. 8	11	10. 3.10～12. 3.10	井上　勉	殿村　健一
				12. 3.10～14. 3. 8	藤田　学	岩下　正充
第12期	災害対策	14. 3.12～16. 3.11	10	14. 3.12～16. 3.11	高嶋　均	
				14. 3.12～15.12. 3		大塚　信彰
				15.12. 4～16. 3.11		熊沢あやり
		16. 3.12～18. 3. 8	11	16. 3.12～18. 3. 8	佐藤伸一郎	新井　克尚
第13期	災害対策	18. 3.10～22. 3. 8	10	18. 3.10～20. 3. 9	若林　章喜	佐々木智子
				20. 3.10～22. 3. 8	市川　勝斗	山下　哲也
	町田市議会５０年史編さん	19. 4.11～21. 3.30	7	19. 4.11～20. 2.27	黒木　一文	
				19. 4.11～20. 2.28		田中　修一
				20. 3.10～21. 3.30	井上　正行	友井　和彦
第14期	災害対策	22. 3.10～26. 3. 8	11	22. 3.10～24. 3.11	佐藤伸一郎	上野　孝典
				24. 3.12～26. 3. 8	上野　孝典	池川　友一
第15期	災害対策	26. 3.11～30. 3. 8	10	26. 3.11～28. 3.10	三遊亭らん丈	あさみ美子
				28. 3.11～30. 3. 8	渡辺厳太郎	石井くにのり
第16期	災害対策	30. 3.12～R4. 3. 8	10 30.9.26 から 11	30. 3.12～R2. 3.17	松葉ひろみ	わたべ真実
				R2. 3.18～R4. 3. 8	木目田英男	おぜき重太郎
第17期	災害対策	R4. 3.10～	12	R4. 3.10～R6. 3.10	今村　るか	佐々木智子
				R6. 3.11～	藤田　学	小野寺まなぶ

（６）議員・市長等の報酬等月額一覧

（単位：円）

改定年月日	議　長	副議長	議　員	市　長	副市長	教　育　長
S.33. 2. 1	－	－	－	－	－	40,000以上
33. 3. 9	23,000	20,000	18,000	－	－	－
33. 4. 1	－	－	－	60,000	40,000～50,000	－
36. 4. 1	－	－	－	75,000～85,000	60,000～70,000	60,000以上
37. 4. 1	40,000	35,000	30,000	80,000～90,000	65,000～75,000	65,000以上
38. 4. 1	－	－	－	105,000	90,000	75,000
38. 7. 1	45,000	40,000	35,000	－	－	－
39. 4. 1	－	－	－	120,000	100,000	85,000
40. 4. 1	70,000	60,000	50,000	135,000	115,000	100,000
43. 9. 1	83,000	73,000	65,000	175,000	145,000	120,000
46. 4. 1	120,000	100,000	90,000	－	180,000	155,000
48. 4. 1	150,000	130,000	120,000	－	240,000	220,000
49. 4. 1	175,000	145,000	135,000	340,000	310,000	280,000
50. 4. 1	210,000	180,000	170,000	410,000	360,000	330,000
51.10. 1	250,000	220,000	210,000	470,000	420,000	400,000
53. 4. 1	300,000	270,000	250,000	540,000	480,000	460,000
54. 9. 1	320,000	290,000	275,000	570,000	510,000	490,000
55.10. 1	350,000	320,000	300,000	590,000	530,000	510,000
57. 6. 1	380,000	350,000	330,000	650,000	580,000	555,000
59.12. 1	405,000	375,000	355,000	690,000	610,000	570,000
61.10. 1	440,000	405,000	385,000	745,000	655,000	610,000
63. 4. 1	467,000	430,000	410,000	790,000	695,000	647,000
H. 2.10. 1	515,000	474,000	452,000	870,000	760,000	707,000
4.10. 1	570,000	525,000	500,000	950,000	830,000	770,000
7. 4. 1	596,000	549,000	523,000	993,000	867,000	804,000
9. 1. 1	640,000	580,000	550,000	1,060,000	900,000	820,000

※特例条例による減額等は含まず。

（７）議員の期末手当率一覧

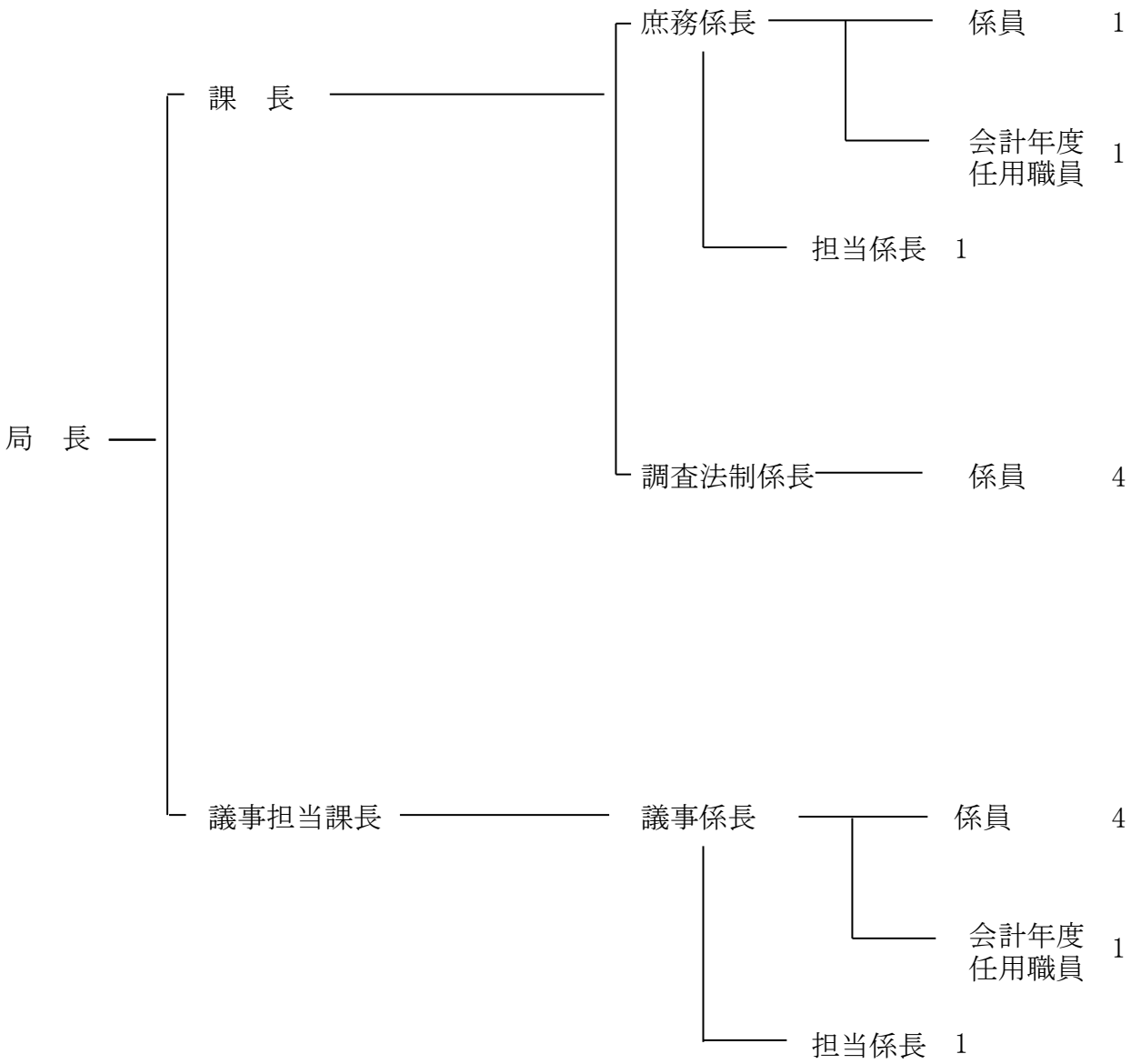
年	3月期	6月期	12月期	年	3月期	6月期	12月期
Ｓ３３		0.5	1.0	4	0.55	2.2	2.7
３４		1.0	1.0	5	0.5	2.2	2.6
３５		1.0	1.5	6	0.5	2.2	2.6
３６		2.0	3.0	7	0.4	2.2	2.5
３７		1.43	2.0	8	0.5	2.2	2.5
３８		1.5	2.5	9	0.5	2.2	2.5
３９		1.8	3.0	１０	0.5	2.2	2.5
４０		1.4	2.2	１１	0.5	2.2	2.5
４１		1.8	2.7	１２	0.2	2.2	2.5
４２		1.5	3.0	１３	0.5	2.2	2.5
４３		2.0	3.0	１４	0.5	2.2	2.5
４４		2.0	3.0	１５	0.5	2.2	2.5
４５		2.0	3.01	１６	0.5	2.2	2.5
４６		2.05	3.1	１７	0.5	2.2	2.5
４７		2.11	3.2	１８	0.5	2.2	2.5
４８		2.3	3.4	１９	0.5	2.2	2.5
４９		2.5	3.89	２０	0.5	2.2	2.5
５０		2.4	3.2	２１	0.5	2.2	2.5
５１		2.2	3.2	２２	0.5	2.2	2.5
５２		2.25	3.2	２３	0.5	2.2	2.5
５３		2.22	3.2	２４	0.5	2.2	2.5
５４		2.2	3.13	２５	0.5	2.2	2.5
５５		2.0	3.24	２６	0.5	2.1	2.4
５６		2.225	2.95	２７	0.4	2.1	2.4
５７		2.185	2.95	２８	0.4	2.1	2.4
５８		2.17	2.82	２９	0.4	2.1	2.4
５９		2.08	2.72	３０	0.4	2.1	2.4
６０		2.01	2.64	R元	0.4	2.1	2.4
６１		1.9	2.55	2	0.4	2.45	2.45
６２		1.9	2.5	3		2.45	2.45
６３		1.9	2.5	4		2.45	2.45
H元		1.9	2.5	5		2.45	2.45
2		2.2	2.6	6		2.45	2.45
3	0.55	2.2	2.7				

※平成２年６月期からは、報酬の月額及び報酬の月額に２０％を乗じて得た金額の合計に、それぞれの割合を乗じた額

（８）議会事務局組織

（令和６年１２月３１日現在）

正規職員１７人　　会計年度任用職員２人



町田市議会議員の政治活動における虚礼廃止に関する要綱

平成元年12月１日制定
平成２年２月１日改正

この要綱は、「町田市議会議員の政治活動における虚礼廃止に関する決議」（平成元年12月１日決議）に基づき、公職選挙法の規定にかかわらず、すべてにわたり清潔な政治活動を行うことにより市民の信託に応えるために制定するものである。

記

１．企業・団体からの金品等の寄附は受けない。
２．資金集めを目的としたパーティー・事業等は行わない。
３．町内会・自治会、その他市の財政援助団体並びに公的行事への金品等の提供及び祝電・弔電は行わない。
４．新聞等への個人名刺広告の掲載は行わない。
５．答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞状、暑中見舞状その他これに類するあいさつ状（電報その他これに類するものを含む。）は廃止する。

附　則

この要綱は、平成元年１２月１日から適用する。

議　会　年　報

―令和６年議会活動状況―

発　行　令和７年３月
編　集　町田市議会事務局
所在地　町田市森野2-2-22
電　話　(042)724-2171（直）
刊行物番号　２４－７３
印　刷　［庁内印刷］